

大網白里市
子ども・子育て支援に関する調査
結果報告書（速報版）

令和6年3月
大網白里市

目 次

I. 調査の概要.....	0
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査対象.....	1
(3) 調査方法と時期.....	1
(4) 報告書の見方と注意点.....	1
II. 調査結果.....	2
1 未就学児童（0～6歳）の保護者.....	2
(1) お住まいの地域について.....	2
(2) お子さんご家族の状況について.....	3
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	5
(4) お子さんの保護者の就労状況について.....	9
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	14
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	22
(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	25
(8) 病気の際の対応について.....	28
(9) 「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	31
(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	35
(11) 職場の両立支援制度について.....	41
(12) 大網白里市の子育て環境や支援について.....	48
2 小学生児童の保護者.....	51
(1) お住まいの地域について.....	51
(2) お子さんご家族の状況について.....	52
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について.....	53
(4) お子さんの保護者の就労状況について.....	58
(5) お子さんの病気の際の対応について.....	63
(6) お子さんの放課後の過ごし方について.....	66
(7) 大網白里市の子育て環境や支援について.....	77

I. 調査の概要

(1) 調査目的

第3期大網白里市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、子ども・子育て支援の現状や子育て中の保護者の利用希望などを把握し、計画に反映させるために調査を行った。

(2) 調査対象

大網白里市内在住の未就学児童の保護者：1,262 世帯

大網白里市内在住の小学生児童の保護者：750 世帯

(3) 調査方法と時期

未就学児の保護者へは、保育施設での配布または郵送配布のいずれかで配布し、回収は郵送またはオンラインでの回答。

小学生児童の保護者へは、通っている小学校で配布し、回収は郵送またはオンラインでの回答。

調査期間は、令和5年11月1日（水）から令和5年11月30日（木）の30日間。

回収状況は、下記のとおりである。

	未就学児童（0～6歳）の保護者	小学生児童の保護者
対象数	1,262 世帯	750 世帯
回収数	822 票	514 票
回収率	65.1 %	68.5 %

(4) 報告書の見方と注意点

- ・ グラフ中の「N=〇〇」はサンプル数を表す。表示のないものは、未就学児童（0～6歳）の保護者では有効回答数N=822、小学生児童の保護者では有効回答数N=514 となっている。グラフ内数値や表の単位は、特に断りのない限り「%」である。
- ・ 本文グラフ及び表では、複数回答のクロス集計以外は「無回答」を含んで集計した。
- ・ 単数回答の単純集計結果を表す本文グラフの中で、百分率の内訳数値は、四捨五入の結果、合計が100.0にならない場合もある。
- ・ 本文中の設問の選択肢について、長いものは簡略化している場合がある。
- ・ 自由回答式の設問については、原則として回答者の記入したとおりに引用・掲載しているが、明らかな誤字・脱字等については修正してある。

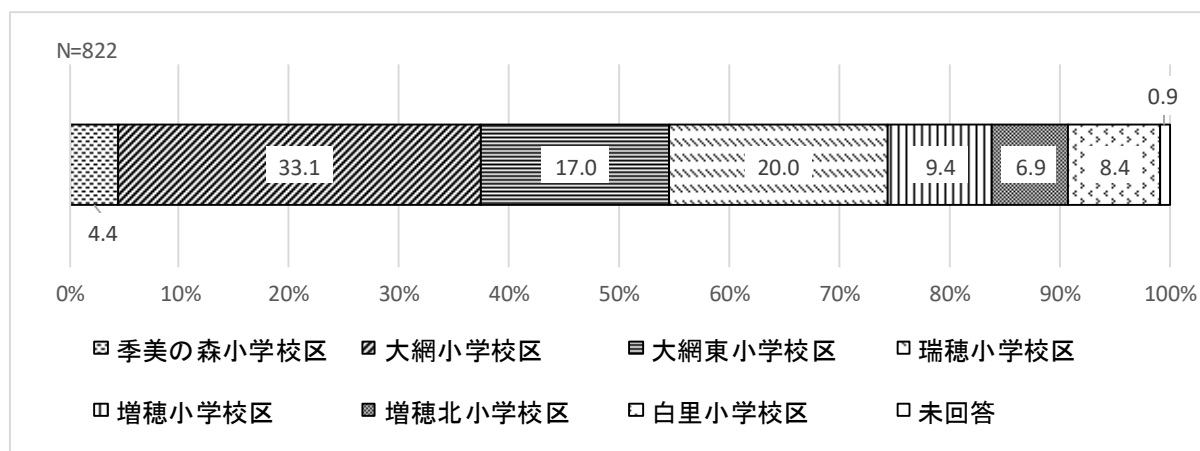
II. 調査結果

1 未就学児童（0～6歳）の保護者

（１） お住まいの地域について

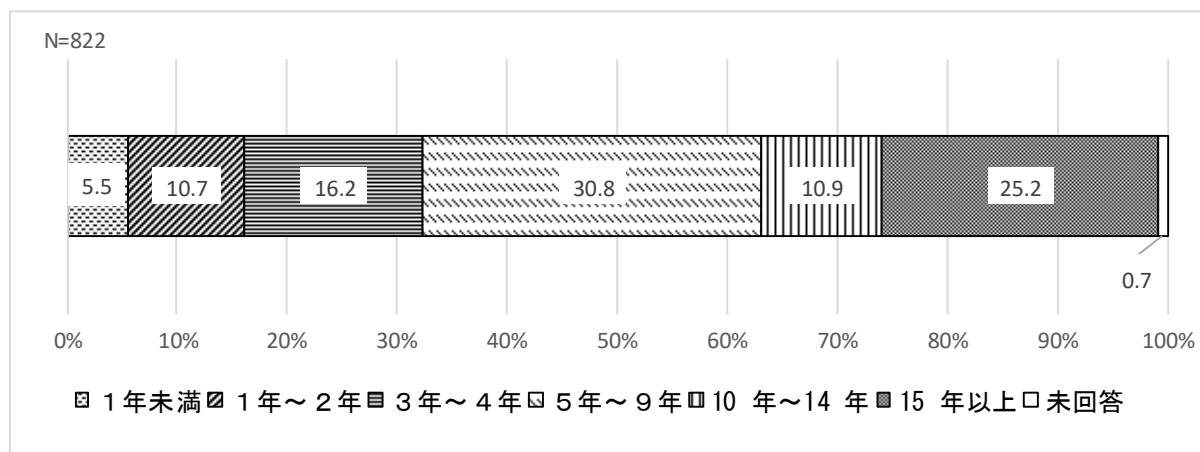
問１ お住まいの地域はどこですか。

回答者の居住地域は、「大網小学校区」（33.1%）が最も多く、次いで「瑞穂小学校区」、「大網東小学校区」の順に多くなっている。



問２ 大網白里市に住んでどのくらいになりますか。

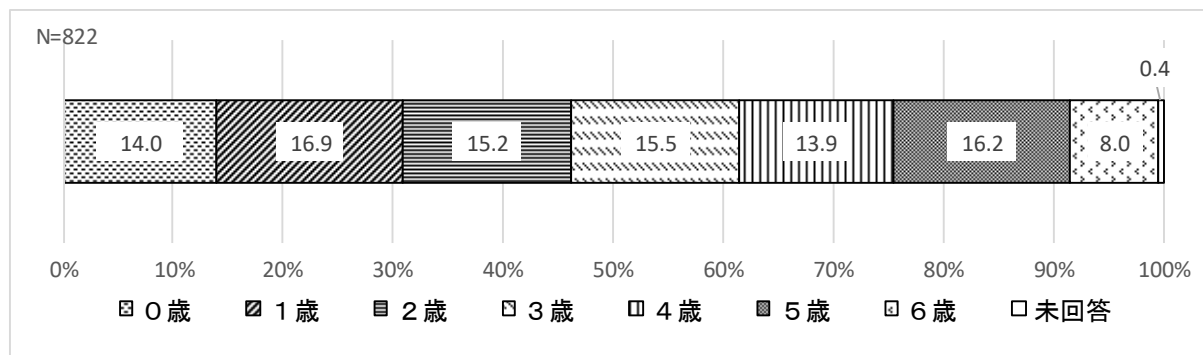
回答者の居住年数は、「5年～9年」（30.8%）が最も多く、次いで「15年以上」、「3～4年」の順に多くなっている。



(2) お子さんご家族の状況について

問3 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

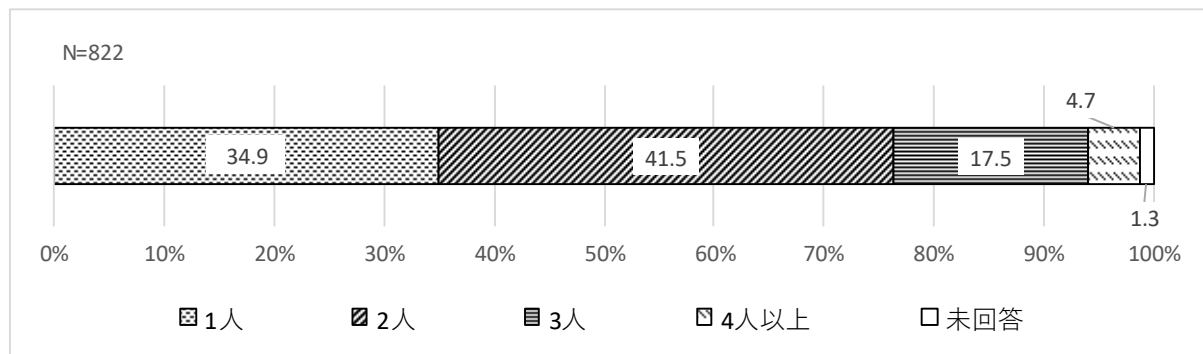
子どもの年齢は、「1歳」(16.9%)が最も多く、次いで「5歳」、「3歳」が多くなっている。



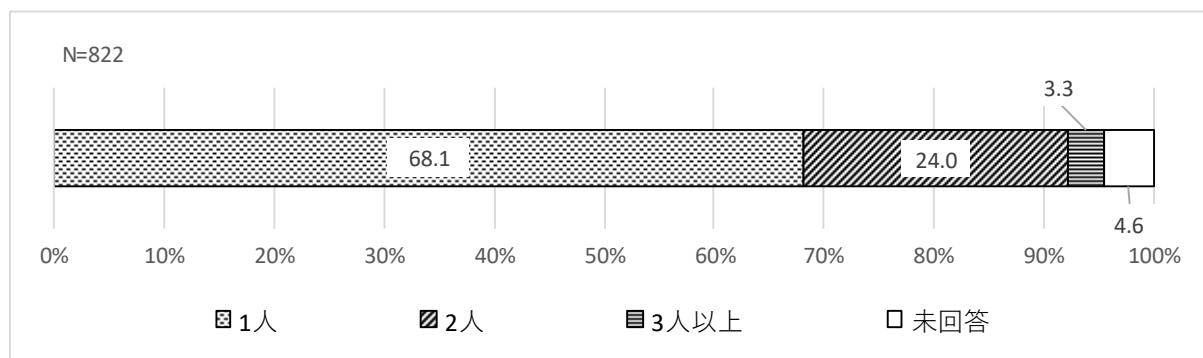
問4 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。そのうち未就学児のお子さんは何人ですか。

きょうだいの人数については、「2人」(41.5%)が最も多く、次いで「1人」、「3人」の順に多くなっている。また、そのうち未就学児の人数については、「1人」(68.1%)が最も多く、次いで「2人」が多くなっている。

■きょうだいの人数

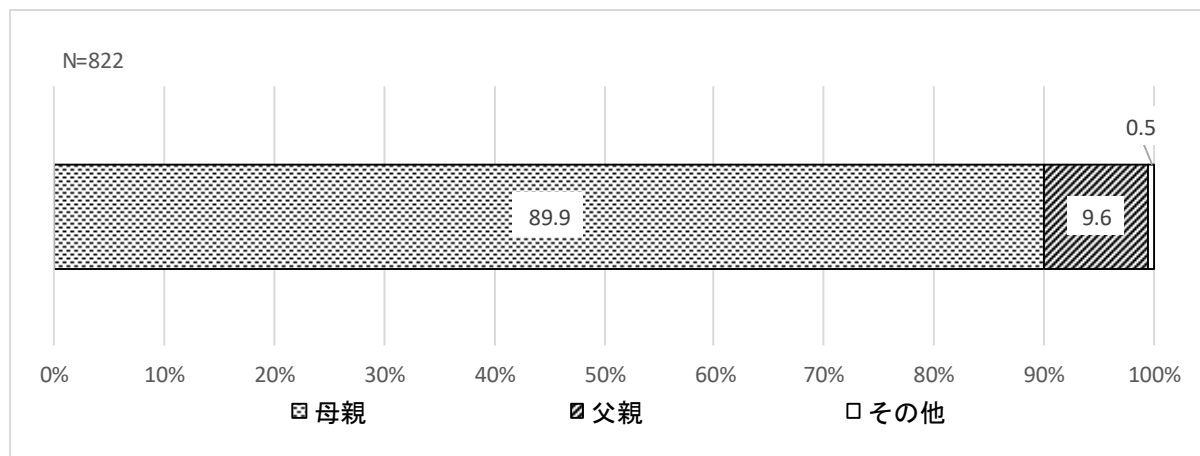


■そのうち未就学児の人数



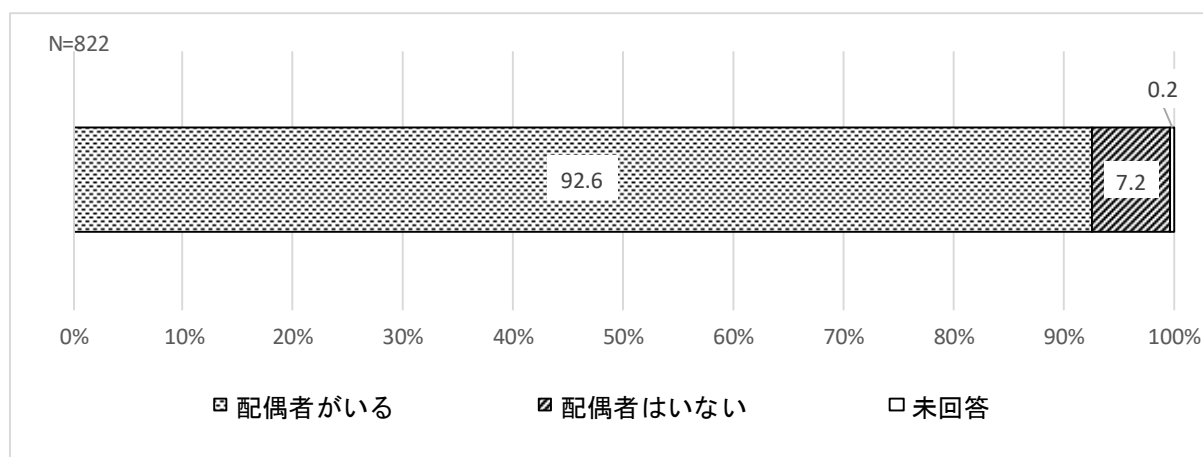
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

回答者の続柄は、「母親」が89.9%、「父親」が9.6%、「その他」が0.5%となっている。



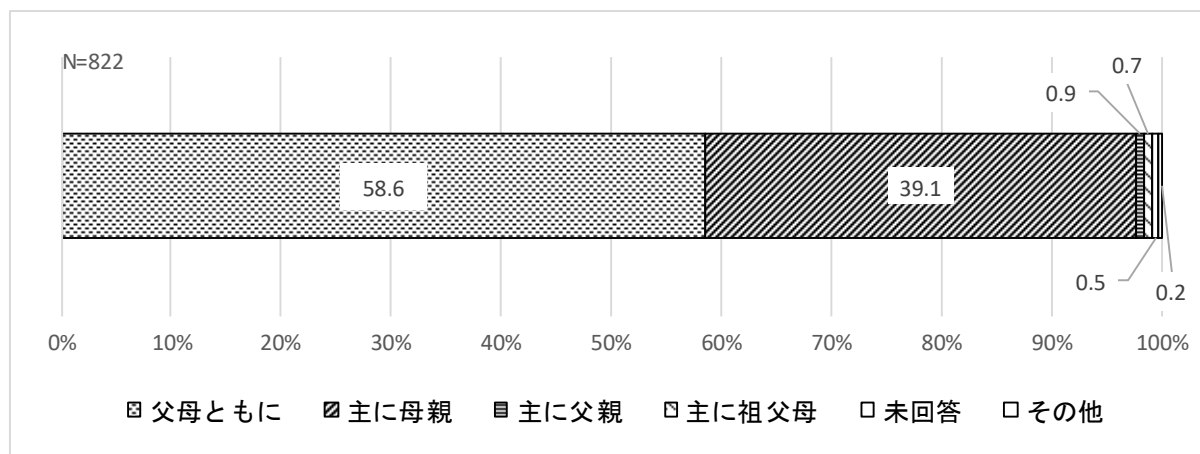
問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が92.6%、「配偶者がいない」が7.2%となっている。



問7 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

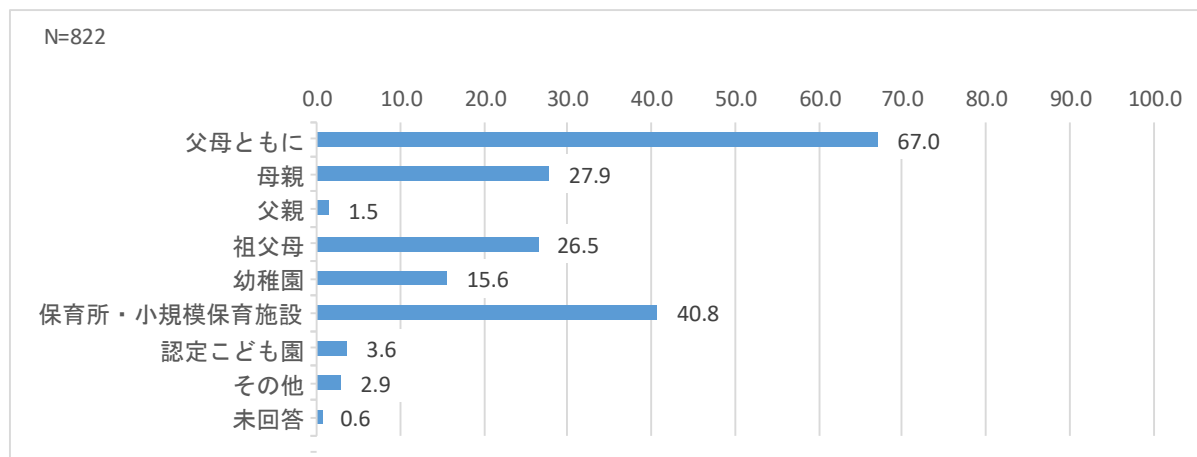
子育てを主に行っているのは、「父母ともに」(58.6%)が最も多く、次いで「主に母親」(39.1%)が多くなっている。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

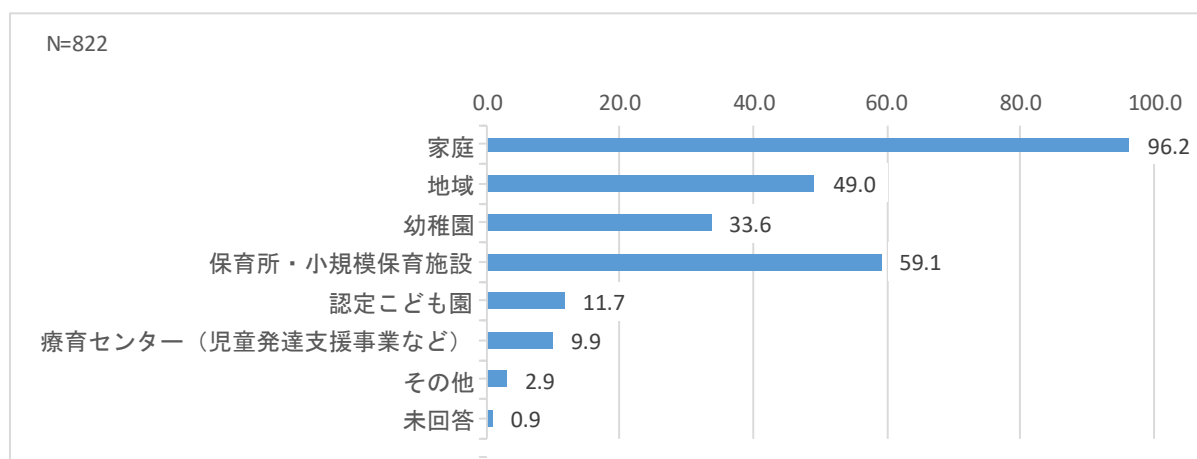
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。

子育てに日常的に関わっているのは、「父母ともに」（67.0%）が最も多く、次いで「保育所・小規模保育施設」、「母親」の順に多くなっている。



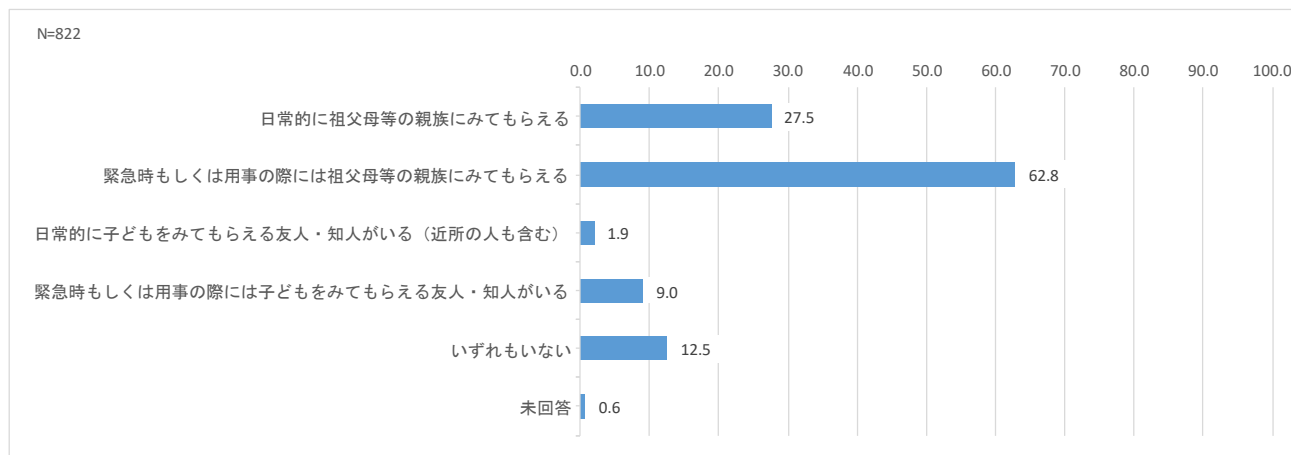
問9 お子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

子育てに影響すると思われる環境は、「家庭」（96.2%）が最も多く、次いで「保育所・小規模施設」、「地域」の順に多くなっている。



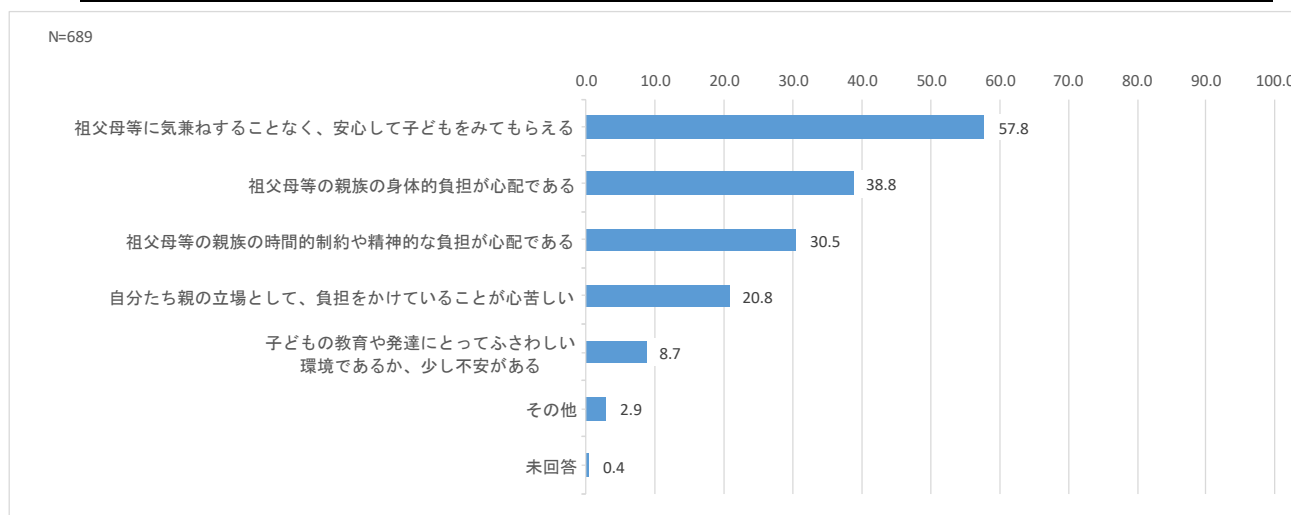
問 10 保育所等施設の通所の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(62.8%) が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が多くなっている。



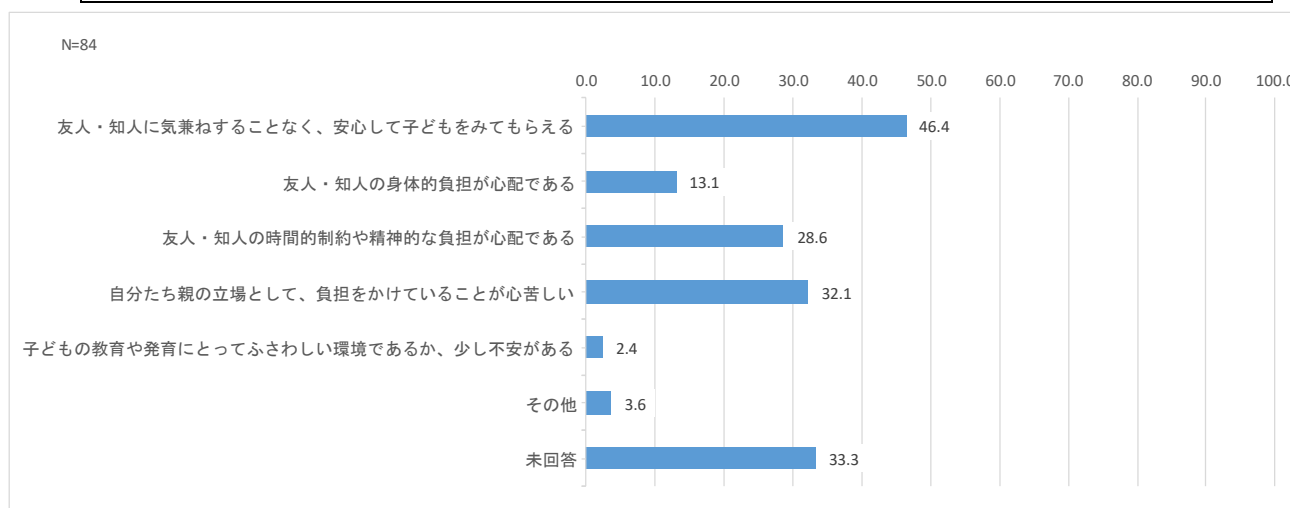
問 10-1 問 10 で「日常的に祖父母の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

祖父母の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等に気兼ねすることなく、安心して子どもをみてもらえる」(57.8%) が最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」の順に多くなっている。



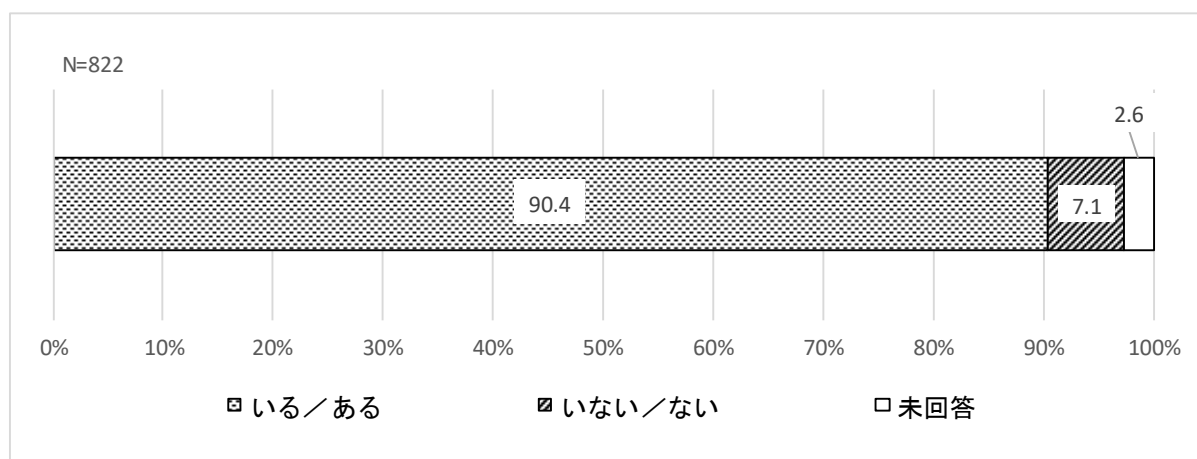
問 10-2 問 10 で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる（近所の人も含む）」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人（近所の人も含む）にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人に気兼ねすることなく、安心して子どもをみてもらえる」（46.4%）が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が心配である」の順に多くなっている。



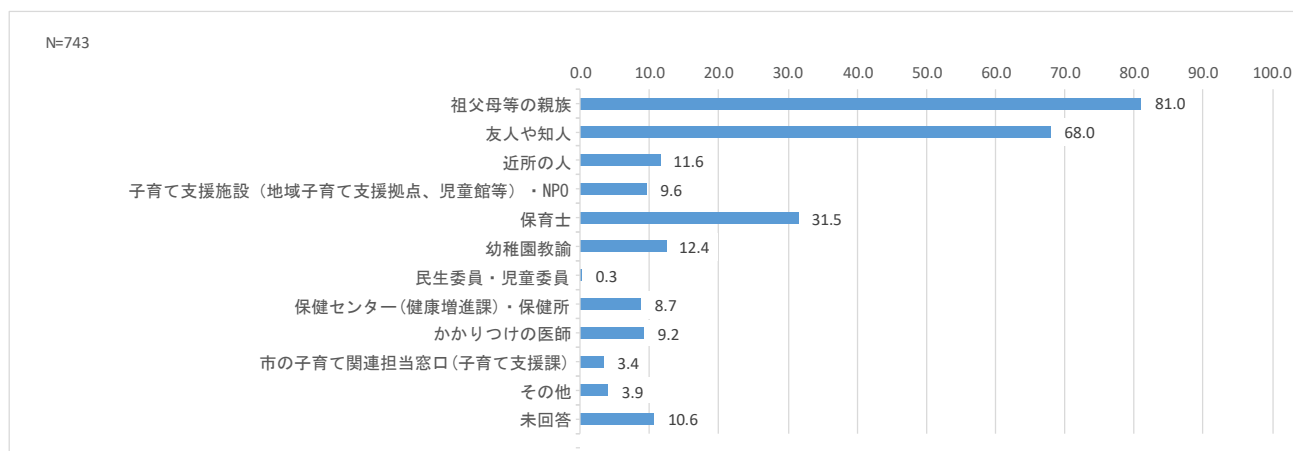
問 11 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。

お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人・場所は、「いる／ある」が 90.4%、「いない／ない」が 7.1%となっている。



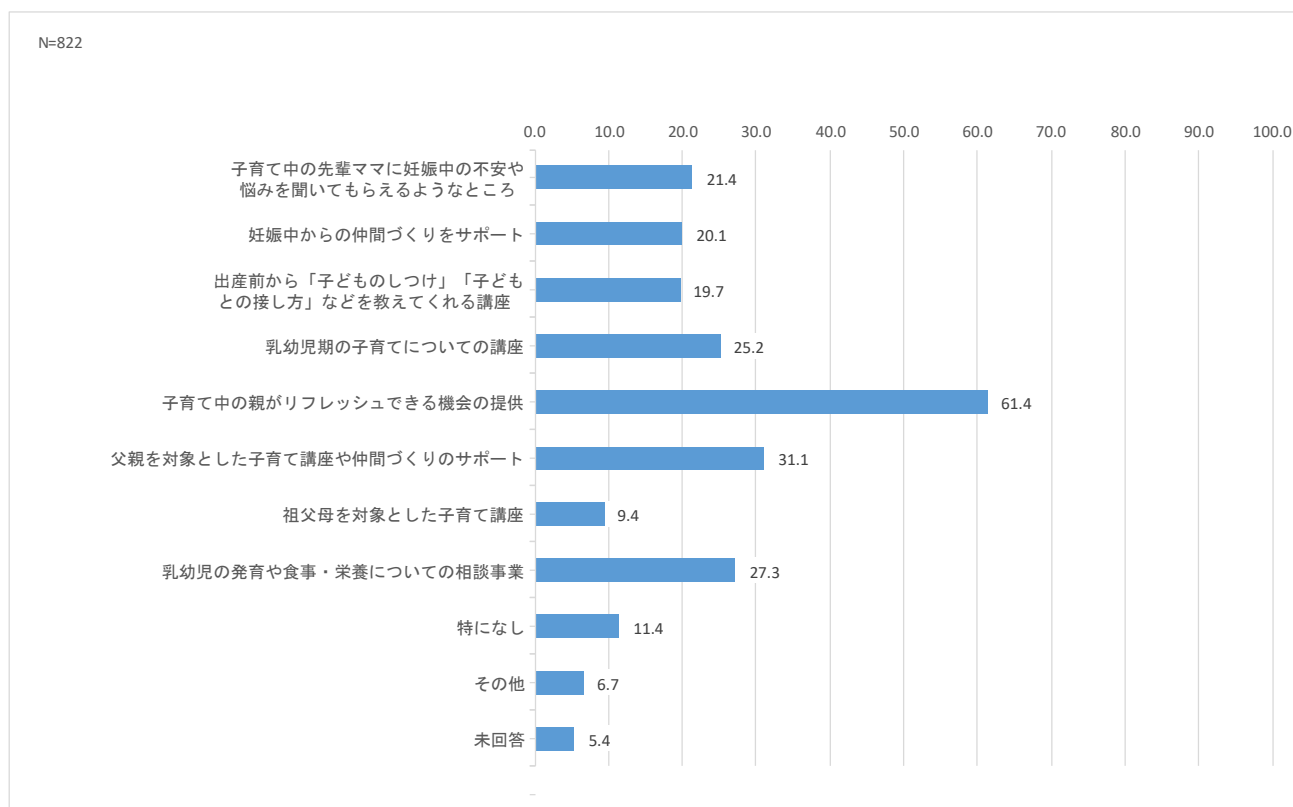
問 11-1 問 11 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

子どもの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先としては、「祖父母等の親族」（81.0%）が最も多く、次いで「友人や知人」、「保育士」の順に多くなっている。



問 12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。

子育てをする上で周囲に期待するサポートとしては、「子育て中の親がリフレッシュできる機会の提供」（61.4%）が最も多く、次いで「父親を対象とした子育て講座や仲間づくりのサポート」、「乳幼児の発育や食事・栄養についての相談事業」の順に多くなっている。



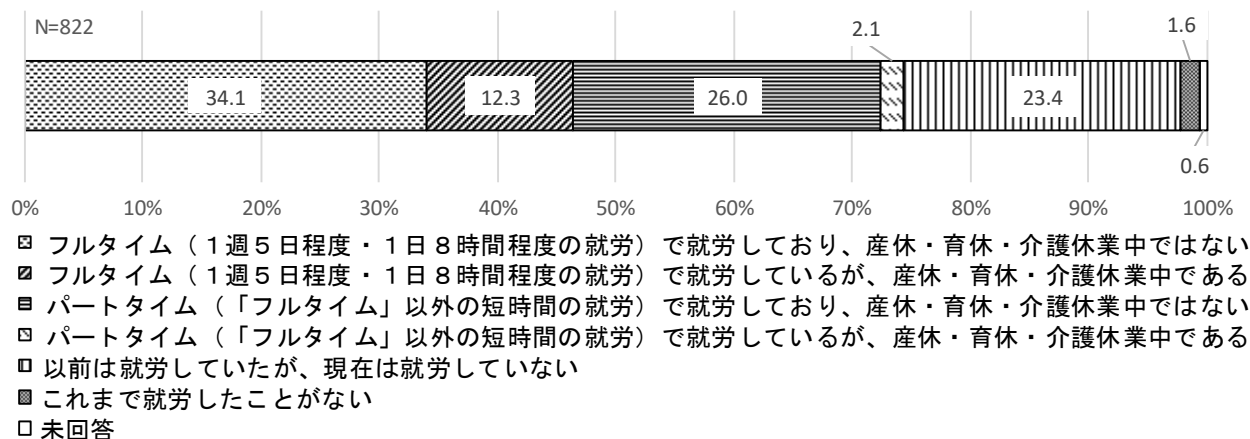
(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 13 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※雇用形態ではなく、1日の労働時間でお答え下さい。

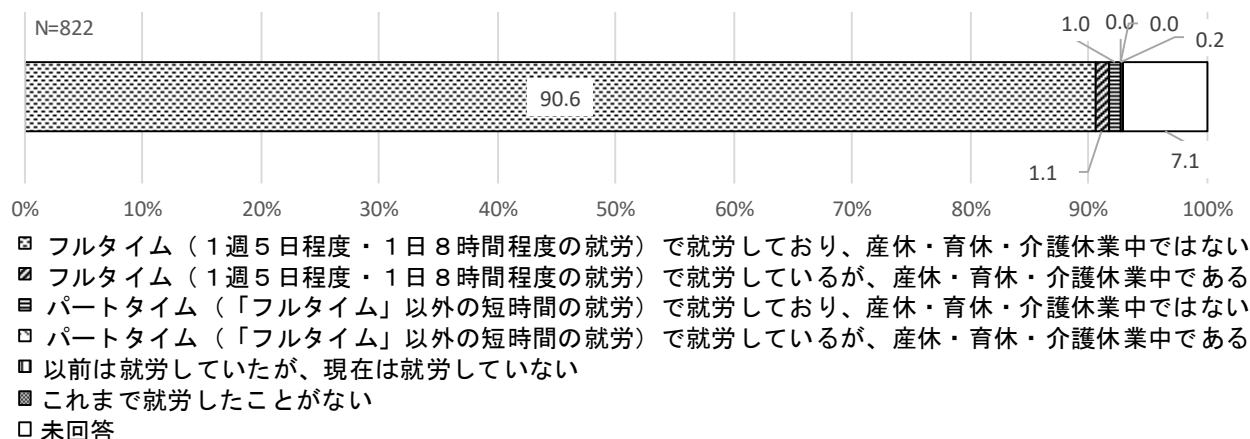
(1) 母親

現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(34.1%) が最も多く、次いで「パートタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の順に多くなっている。



(2) 父親

現在の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 90.6%となっている。

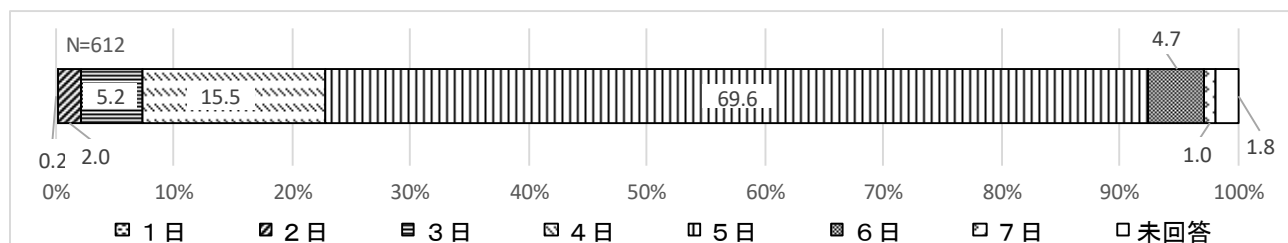


問 13-1 問 13 で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

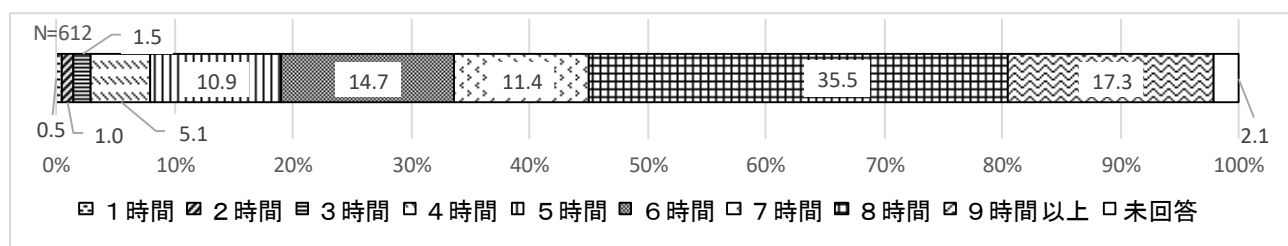
(1) 母親

- ・ 週当たりの就労日数は、「週 5 日」(69.6%) が最も多く、次いで「4 日」、「3 日」の順に多くなっている。
- ・ 1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）は、「8 時間」(35.5%) が最も多く、次いで「9 時間以上」、「6 時間」の順に多くなっている。

■ 1 週当たりの就労日数



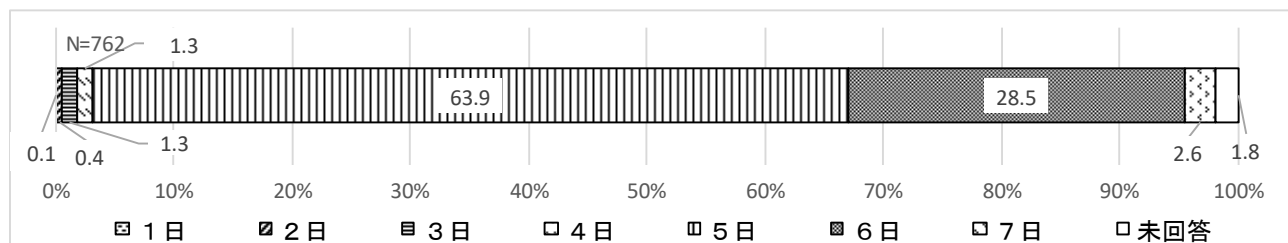
■ 1 日当たりの就労時間



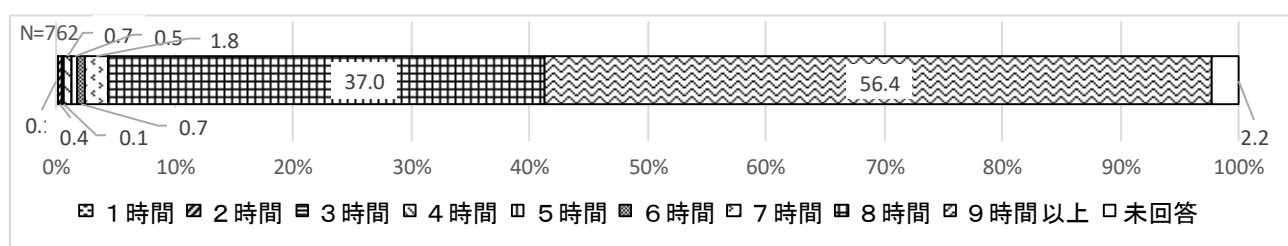
(2) 父親

- ・ 週当たりの就労日数は、「5 日」(63.9%) が最も多く、次いで「6 日」、「7 日」の順に多くなっている。
- ・ 1 日当たりの就労時間（残業時間を含む）は、「9 時間以上」(56.4%) が最も多く、次いで「8 時間」、「7 時間」の順に多くなっている。

■ 1 週当たりの就労日数



■ 1 日当たりの就労

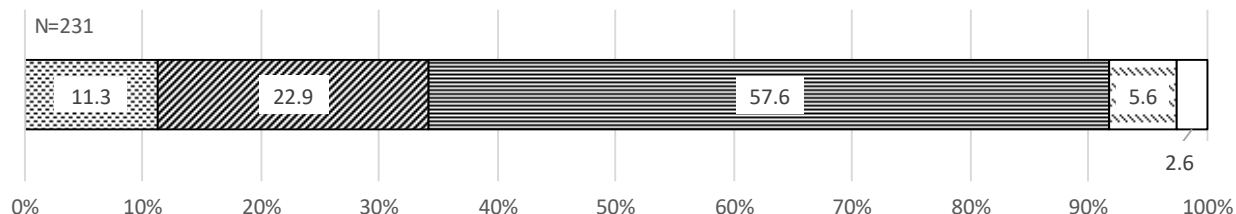


問 14 問 13 で「パートタイムで就労している」に○をつけた方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親

現在パートタイムで就労中の方のうち、フルタイムへの転換希望があるかについては、「パートタイムの就労を続けることを希望」(57.6%) が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が多くなっている。



- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▨ フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パートタイム（「フルタイム」以外の短時間）の就労を続けることを希望
- ▨ パートタイム（「フルタイム」以外の短時間）をやめて子育てや家事に専念したい
- 未回答

(2) 父親

現在パートタイムで就労中の方8人のうち、フルタイムへの転換希望があるかについては、4人が「パートタイムの就労を続けることを希望」と回答している。

※以下、回答数が少ないため、グラフ省略

N=8

「パートタイムの就労を続けることを希望」

4 票

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」

2 票

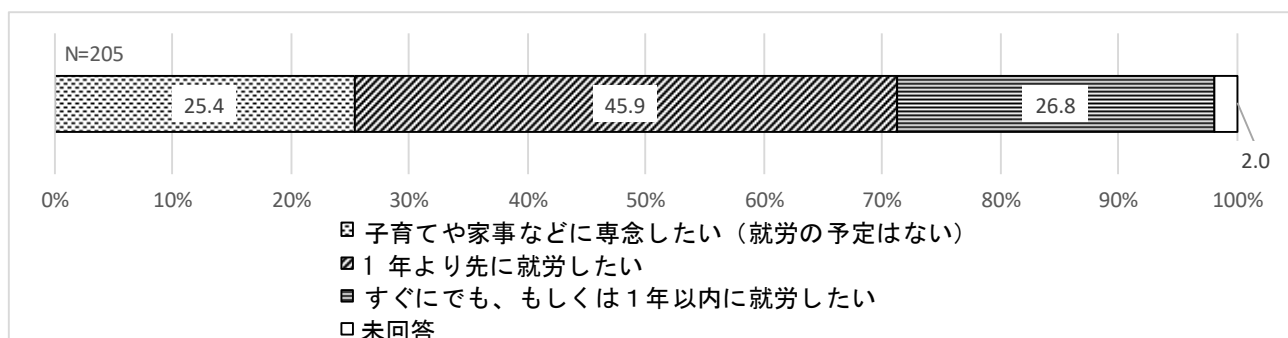
「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」

1 票

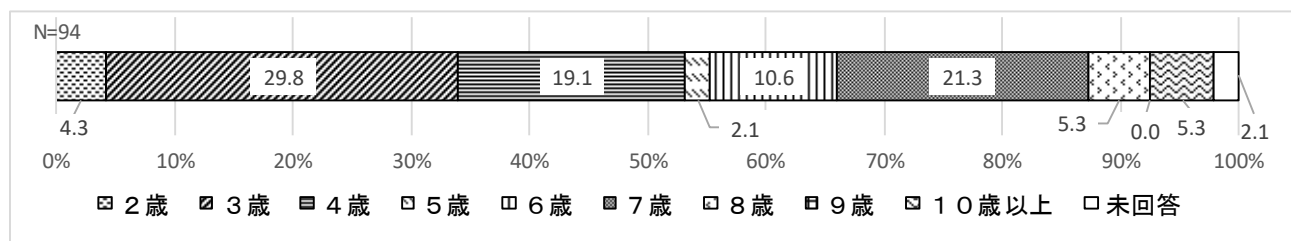
問 15 問 13 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

(1) 母親

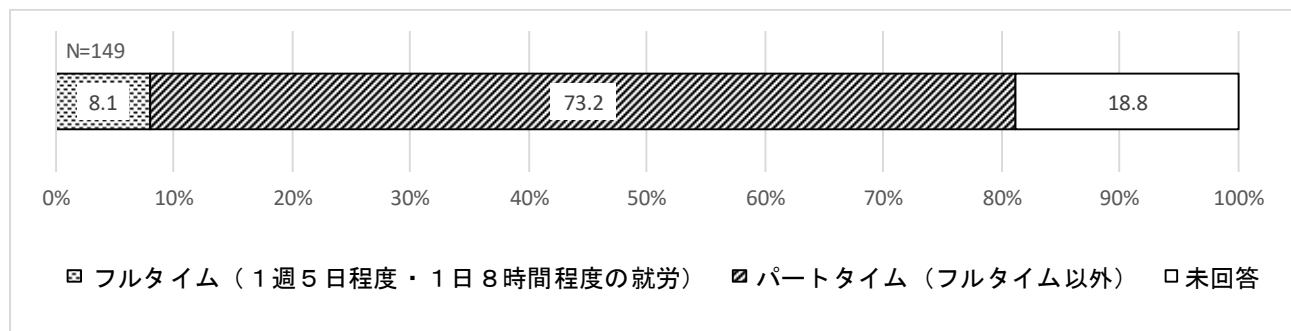
- ・ 現在就労していない方の就労希望については、「1年より先に就労したい」(45.9%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が多くなっている。
- ・ 1年より先に就労したい場合、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、「3歳」が最も多く、次いで「7歳」が多くなっている。
- ・ 希望する就労形態は「パートタイム」(73.2%)が最も多く、次いで「フルタイム」となっている。
- ・ 週当たりの希望就労日数は「4日」(44.0%)が最も多く、次いで「3日」、「5日」の順に多くなっている。
- ・ 1日当たりの希望就労時間は「5時間」(40.4%)が最も多く、次いで「4時間」、「6時間」の順に多くなっている。



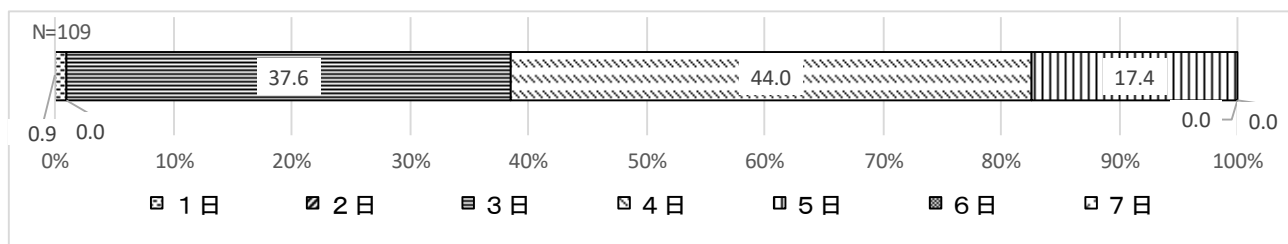
■一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか



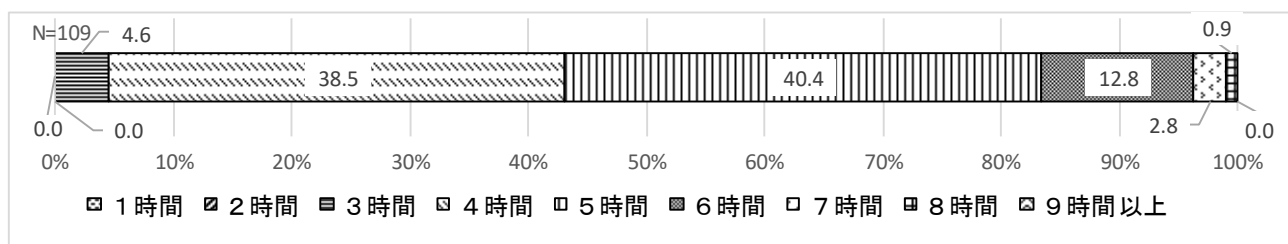
■希望する就労形態



■週当たりの希望就労日数



■1日当たりの希望就労時間



(2) 父親

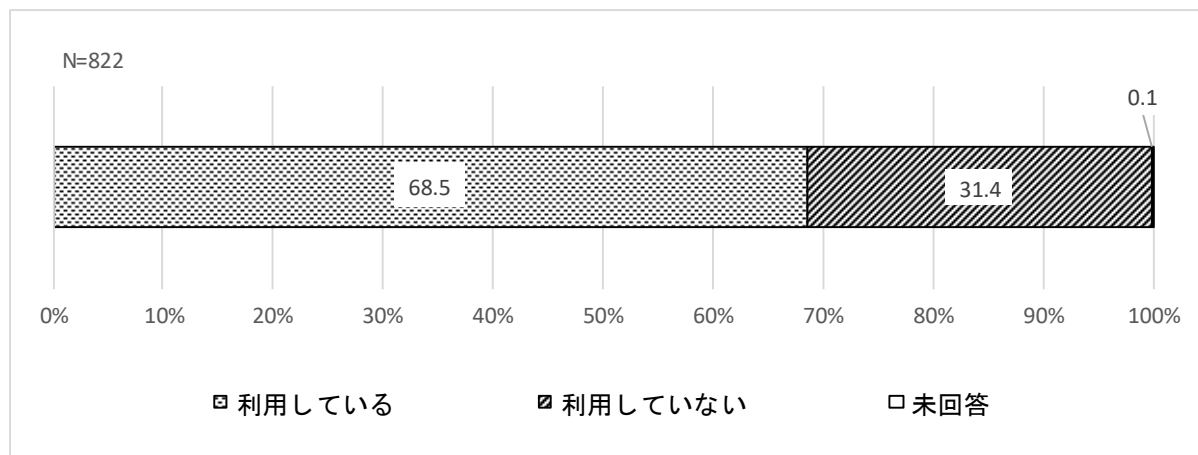
現在就労していない方（2人）の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が1人 50.0%で、1人は未回答となっている。

※以下、回答数が少ないため、グラフ省略

（５） 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

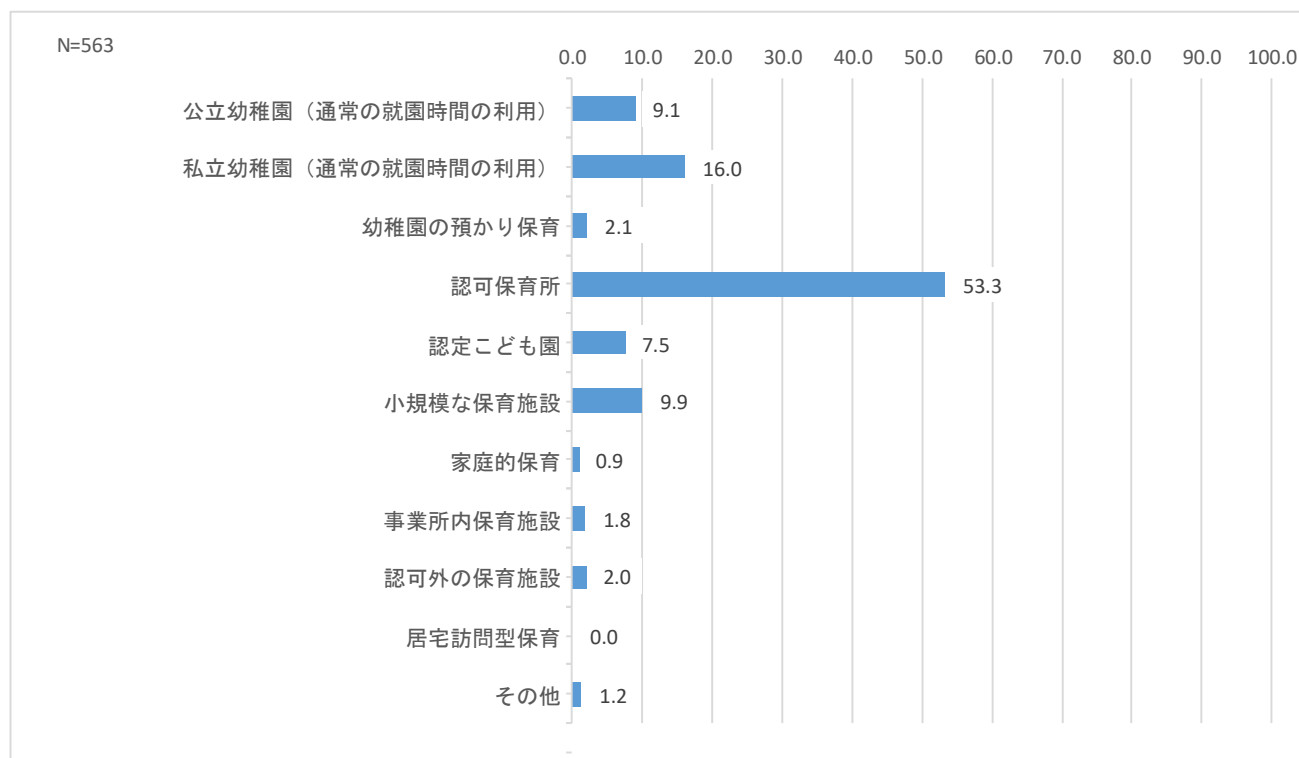
問 16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が 68.5%となっている。



問 16-1 問 16 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育のサービスを利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用しているサービスをお答えください。

年間を通じて平日に定期的に利用しているサービスとしては、「認可保育所」(53.3%) が最も多く、次いで「私立幼稚園」、「小規模な保育施設」の順に多くなっている。

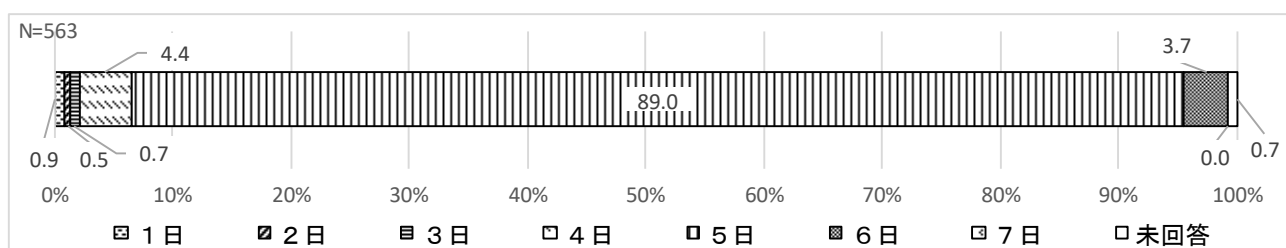


問 16-2 問 16 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。平日に定期的に利用している教育・保育のサービスについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

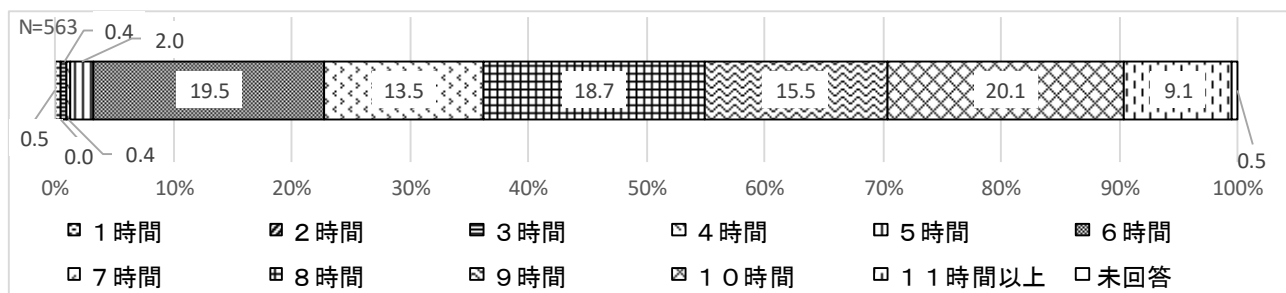
(1) 現在

- ・ 平日に定期的に利用している教育・保育サービスの利用頻度は、1 週当たり「5 日」(89.0%) が最も多く、次いで「4 日」、「6 日」の順に多くなっている。
- ・ 1 日当たりの利用時間は、「10 時間」(20.1%) が最も多く、次いで「6 時間」、「8 時間」の順に多くなっている。
- ・ 利用開始時間は、「8 時」(38.7%)、「9 時」(33.9%) が多くなっている。
- ・ 利用終了時間は、「18 時」(23.8%)、「16 時」(22.2%) が多くなっている。

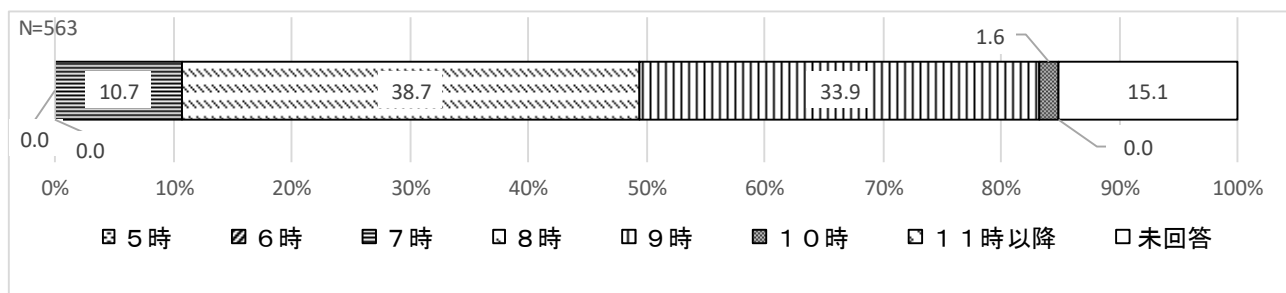
■週当たりの利用日数



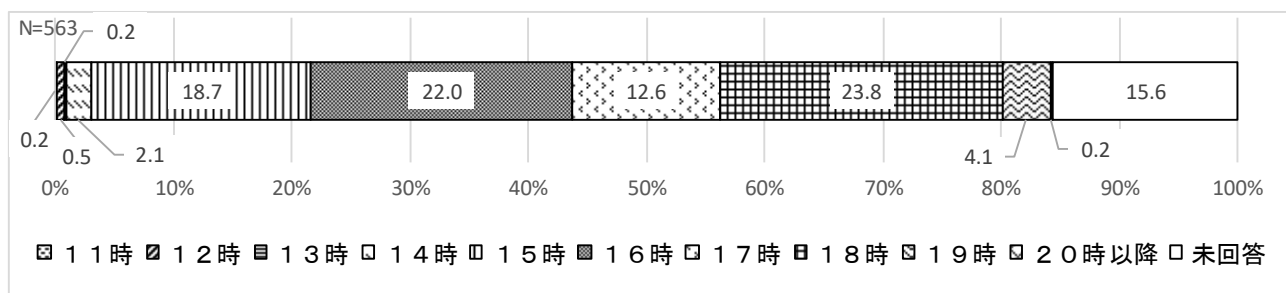
■1 日当たりの利用時間



■利用開始時間



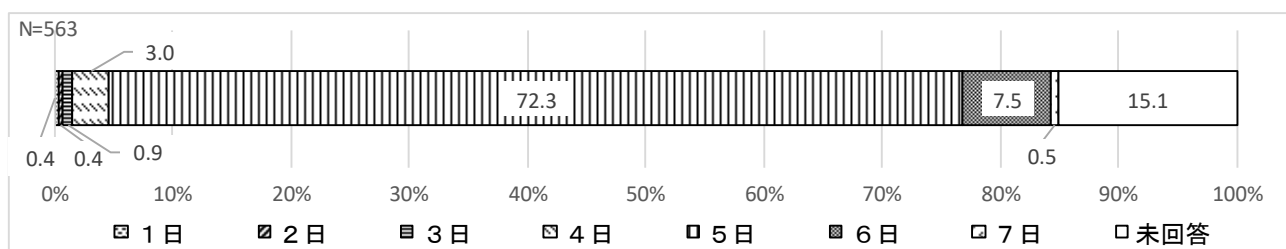
■利用終了時間



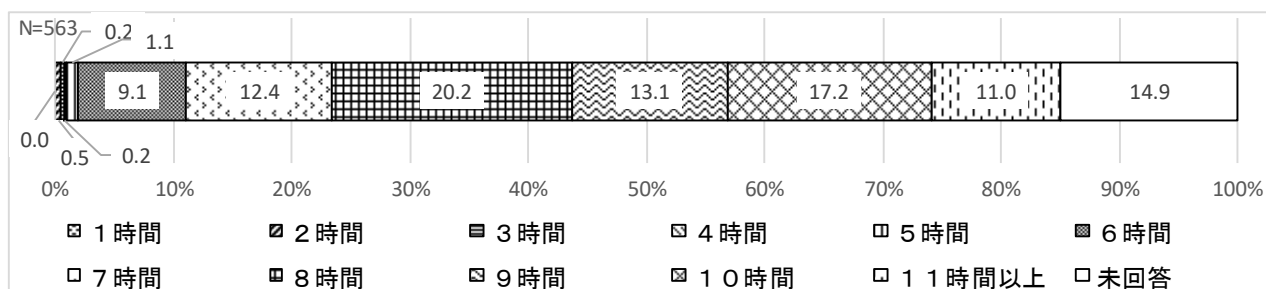
(2) 希望

- 希望する利用頻度は、1週当たり「5日」(72.3%)が最も多く、次いで「6日」、「4日」の順に多くなっている。
- 1日当たりの希望利用時間は、「8時間」(20.2%)が最も多く、次いで「10時間」、「9時間」の順に多くなっている。
- 希望利用開始時間は、「8時」(31.8%)、「9時」(24.2%)が多くなっている。
- 希望利用終了時間は、「18時」(17.4%)、「17時」(16.5%)、「16時」(16.2%)が多くなっている。

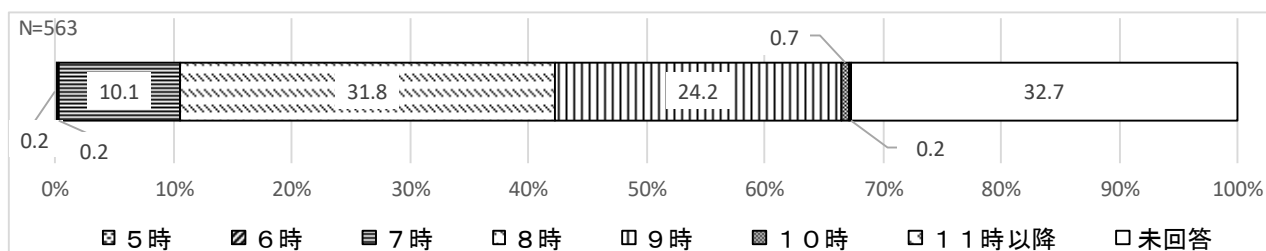
■週当たりの利用日数



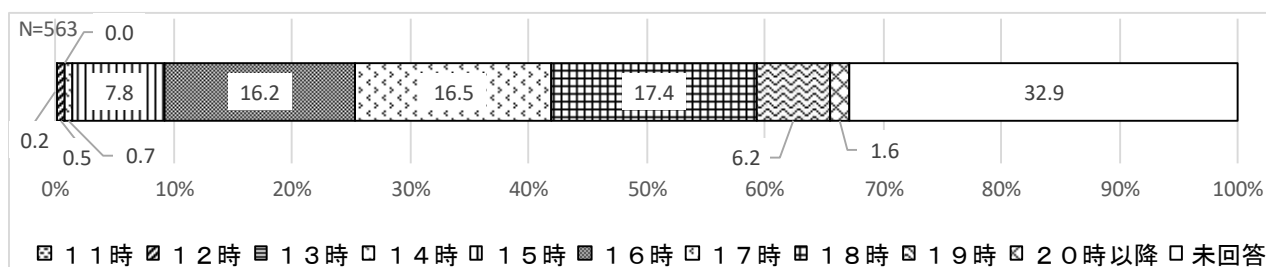
■1日当たりの希望利用時間



■希望利用開始時間

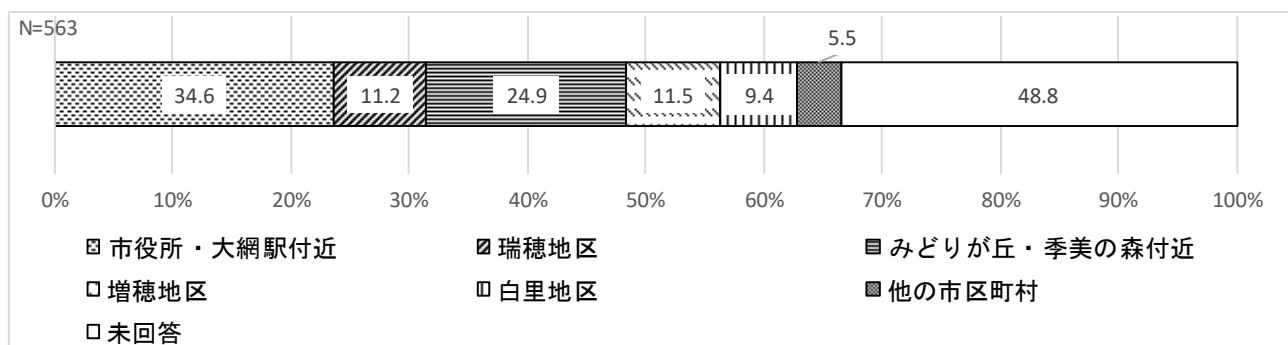


■希望利用終了時間



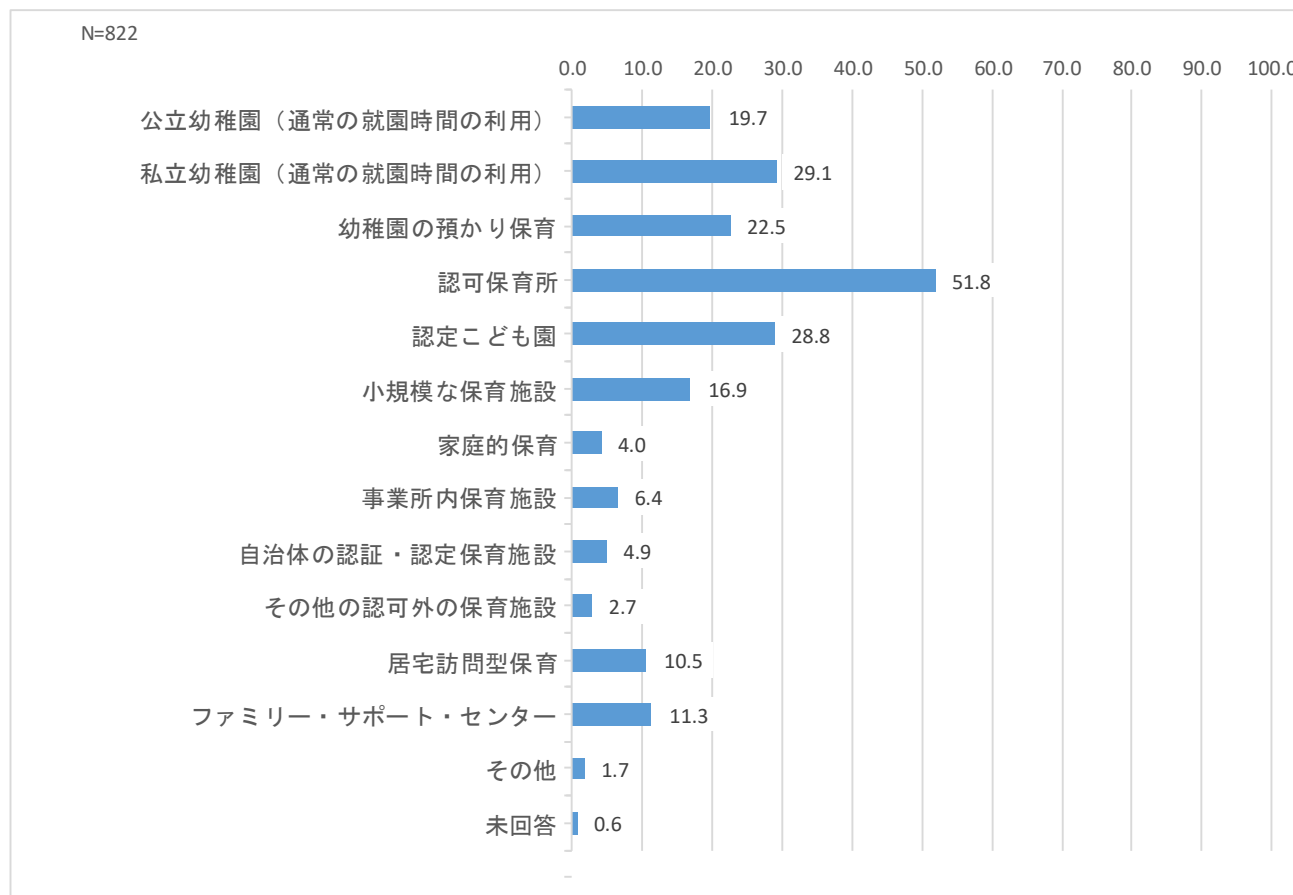
問 16-3 問 16 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育サービスの実施場所についてうかがいます。問 16-1 で2つ以上選んだ方は、主となる方の実施場所について回答して下さい。

現在利用している教育・保育サービスの実施場所は、「市役所・大網駅付近」(34.6%)が最も多く、次いで「みどりが丘・季美の森付近」、「増穂地区」の順に多くなっている。



問 17 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育のサービスとして、「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。

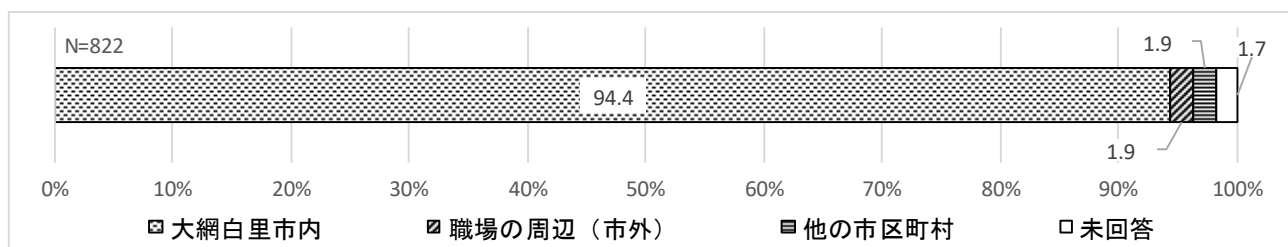
平日に定期的に利用したいと考える教育・保育サービスは、全体数でみると「認可保育所」(51.8%) が最も多く、次いで「私立幼稚園」、「認定こども園」の順に多くなっている。



選択肢	回答数	%
公立幼稚園 (通常の利用)	162	19.7
私立幼稚園 (通常の利用)	239	29.1
幼稚園の預かり保育 (通常の利用を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	185	22.5
認可保育所 (県の認可を受けた定員 20 人以上のもの)	426	51.8
認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	237	28.8
小規模な保育施設 (市の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの)	139	16.9
家庭的保育 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	33	4.0
事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	53	6.4
自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	40	4.9
その他の認可外の保育施設 (企業主導型保育事業を含む)	22	2.7
居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	86	10.5
ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	93	11.3
その他	14	1.7
未回答	5	0.6

問 17-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

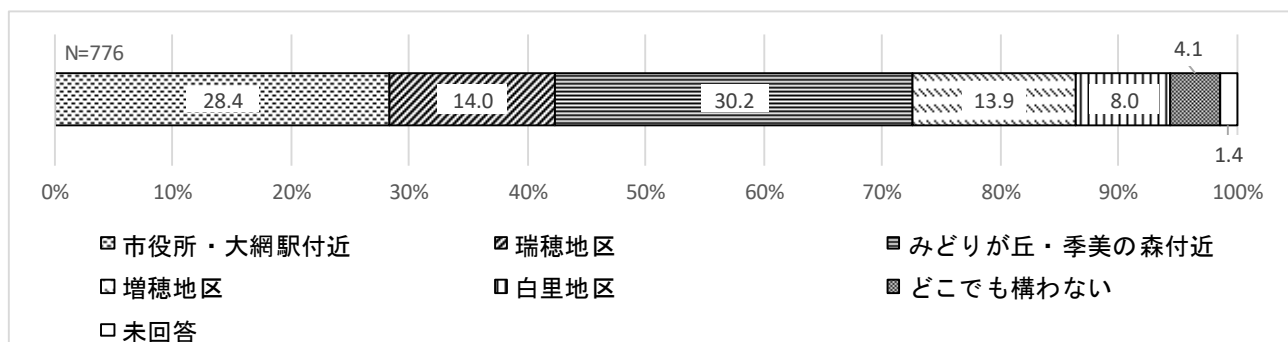
教育・保育事業を利用したい場所は「大網白里市内」(94.4%)が最も多く、次いで「職場の周辺」「他の市区町村」が同率となっている。



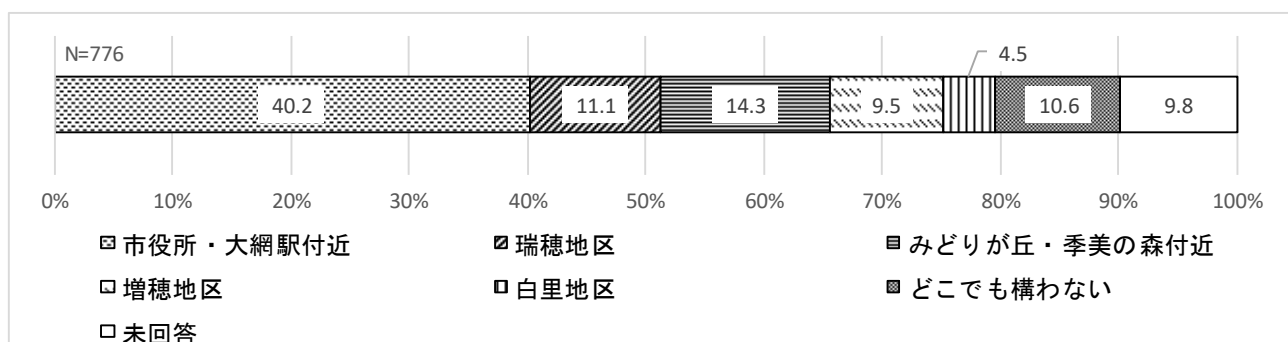
問 17-2 問 17-1 で「大網白里市内」を選んだ方にうかがいます。市内のどの地区を利用したいですか。

- ・ 市内でサービスを利用する場合に希望する地区として、第1希望としては、「みどりが丘・季美の森付近」(30.2%)が最も多く、次いで「市役所・大網駅付近」、「瑞穂地区」の順となっている。第2希望としては、「市役所・大網駅付近」(40.2%)が最も多く、次いで「みどりが丘・季美の森付近」、「瑞穂地区」が多くなっている。
- ・ 居住地域別の第1希望としては、季美の森小学校区(80.0%)と大網小学校区(72.7%)では「みどりが丘・季美の森付近」、大網東小学校区では「市役所・大網駅付近」(77.9%)、瑞穂小学校区では「瑞穂地区」(60.7%)、増穂小学校区(66.7%)と増穂北小学校区(77.6%)はともに「増穂地区」、白里小学校区では「白里地区」(86.4%)がそれぞれ最も多くなっている。
- ・ 居住地域別の第2希望としては、大網東小学校区と白里小学校区を除くすべての地域において「市役所・大網駅付近」が最も多く3～5割を占めている。大網東小学校区では「みどりが丘・季美の森付近」(22.1%)、白里小学校地区では「増穂地区」(34.8%)が最も多くなっている。

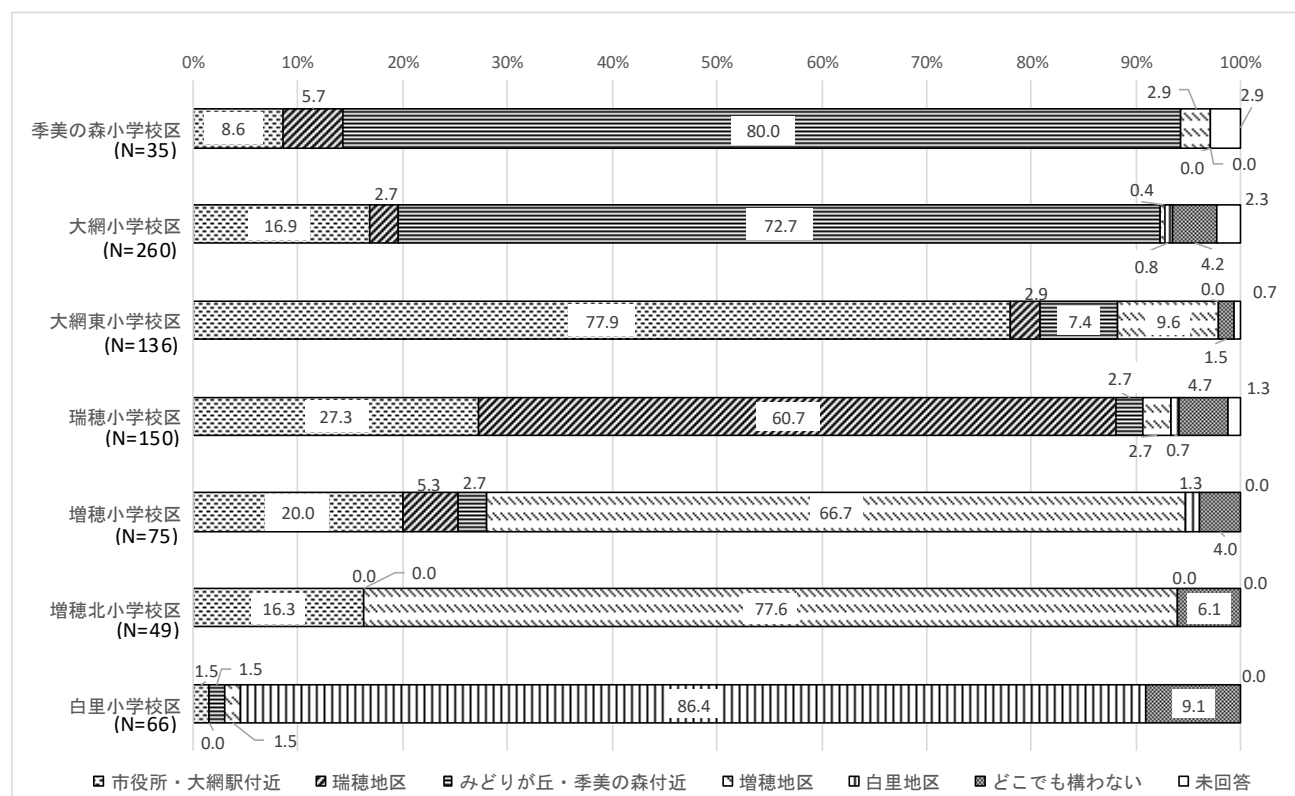
第1希望



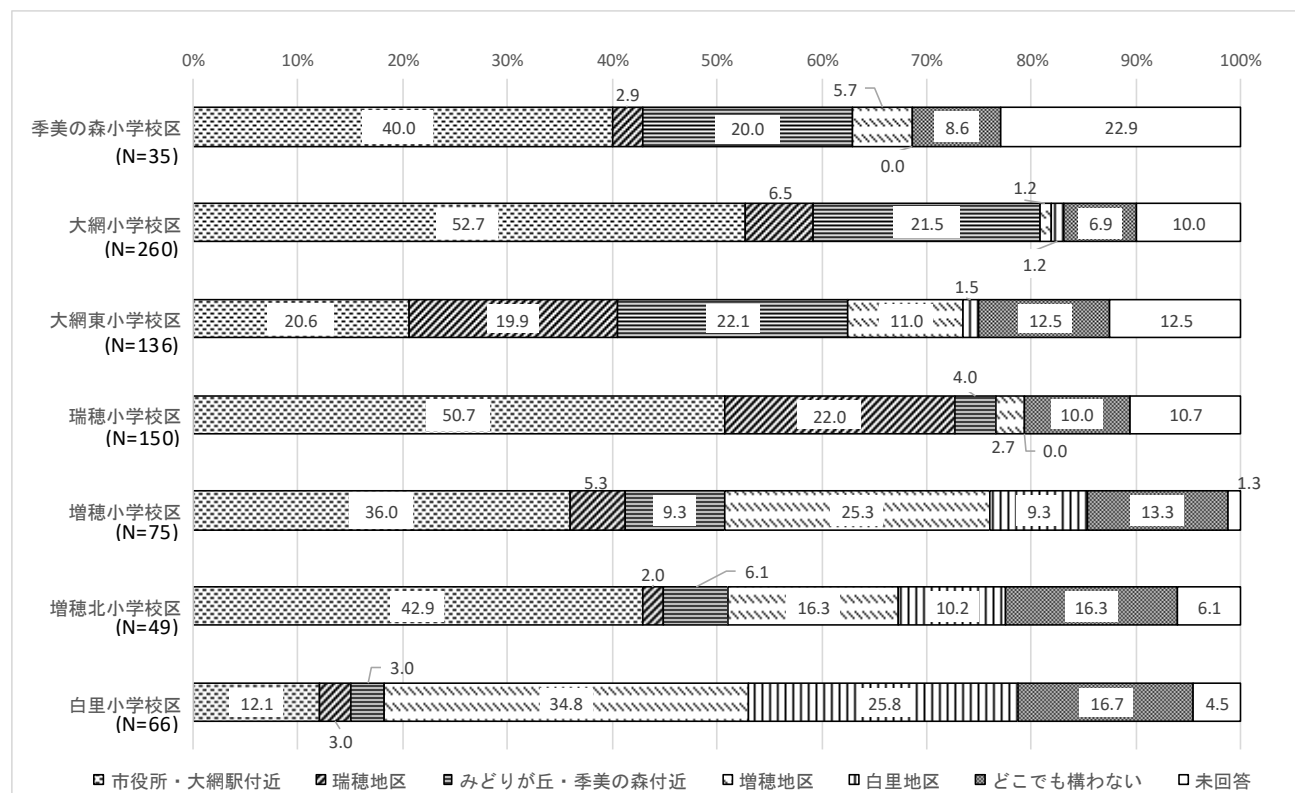
第2希望



■居住地域別 第1希望

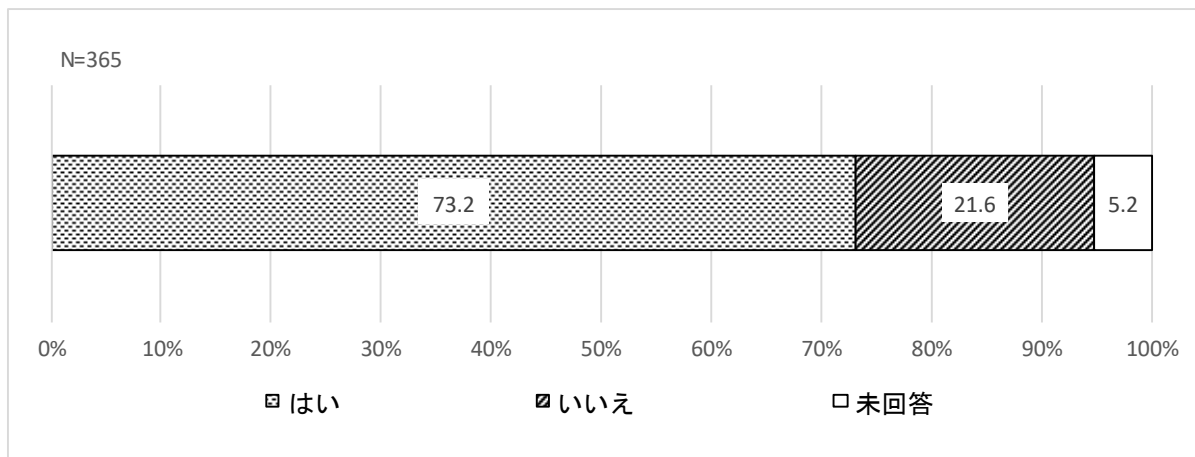


■居住地域別 第2希望



問 17-3 問 17 で「公立幼稚園」、「私立幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」を選んだ方にうかがいます。特に幼稚園の利用を強く希望しますか。

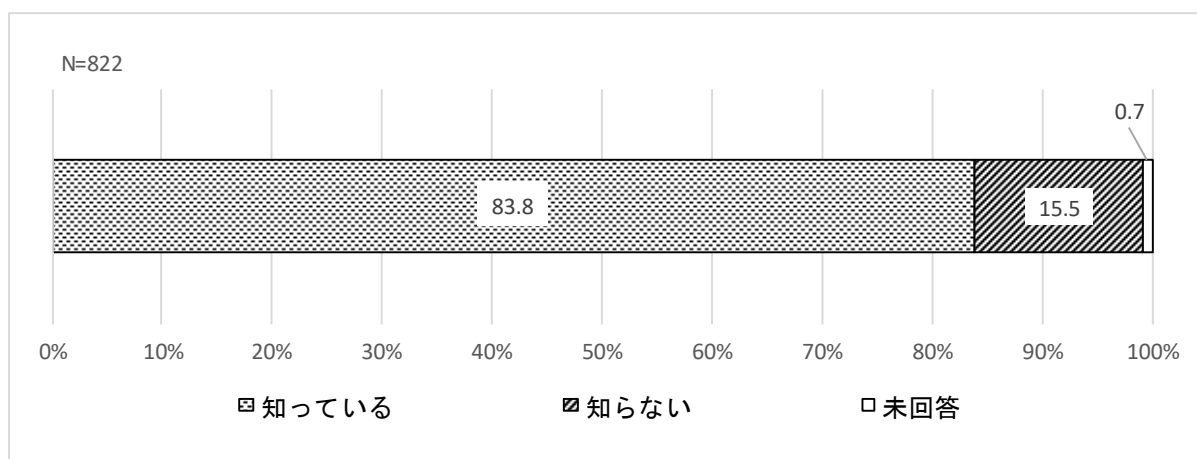
特に幼稚園の利用を強く希望するかどうかについては、「はい」が 73.2%、「いいえ」が 21.6%となっている。



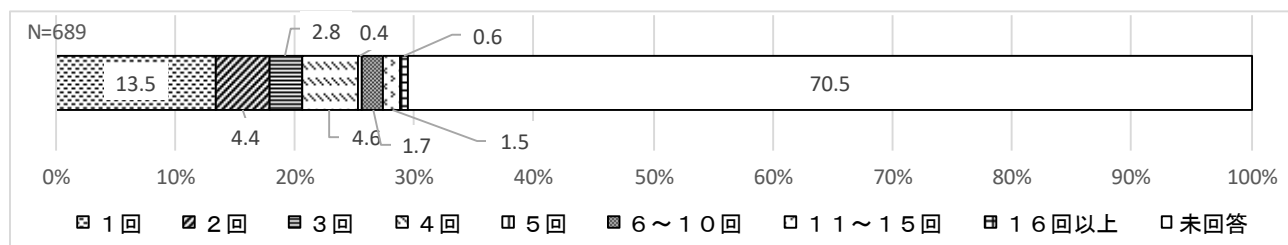
（６） 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 18 地域子育て支援センター（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）をご存知ですか。また、知っていて、利用されている場合は、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

- ・ 地域子育て支援センターの認知度については、「知っている」が 83.8%、「知らない」が 15.5%となっている。
 - ・ 利用している場合の利用回数は、「未利用」が最も多く、次いで「1 ヶ月あたり 1 回」が多くなっている。
- ※「未利用」とは、「0 回」と記入があった回答または「未回答」を指す

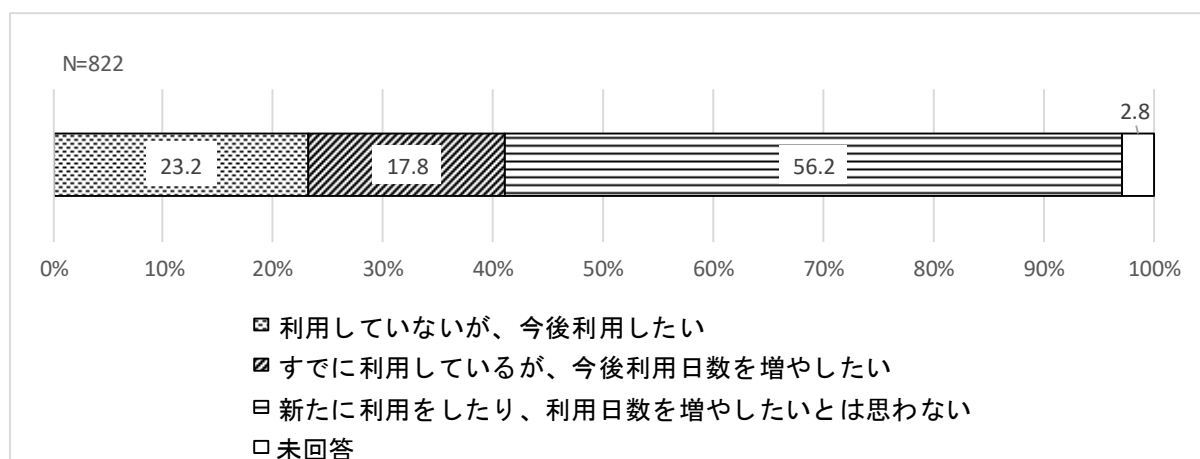


■ 1 ヶ月当たりの利用回数

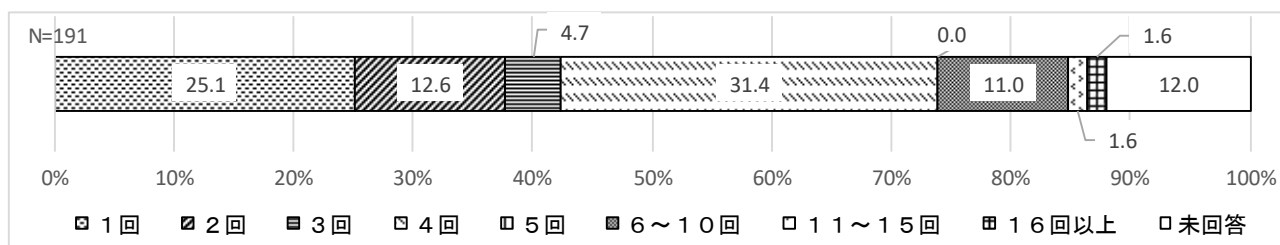


問 18-1 問 18 のような地域子育て支援センターについて、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

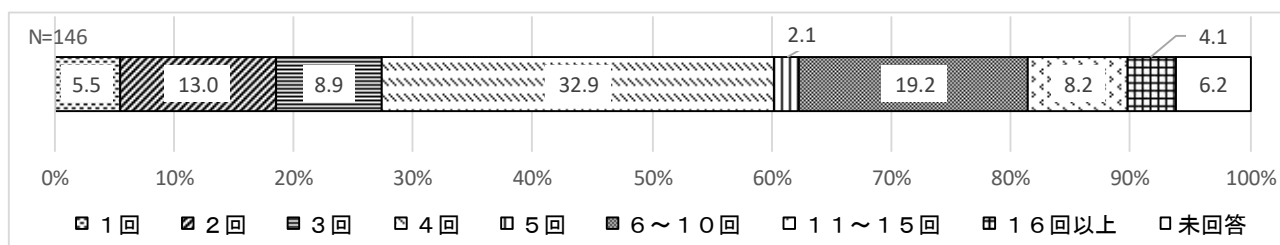
- ・ 地域子育て支援センターの利用意向については、「新たに利用をしたり、利用日数を増やしたいとは思わない」(56.2%) が最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(23.2%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(17.8%) の順に多くなっている。
- ・ 今後利用したい場合の希望利用日数については、1 ヶ月あたり「4 回」(31.4%) が最も多くなっている。
- ・ すでに利用していて、今後利用日数を増やしたい場合の希望利用日数については、1 ヶ月あたり「4 回」(32.9%) が最も多くなっている。



■今後利用したい場合の希望利用日数



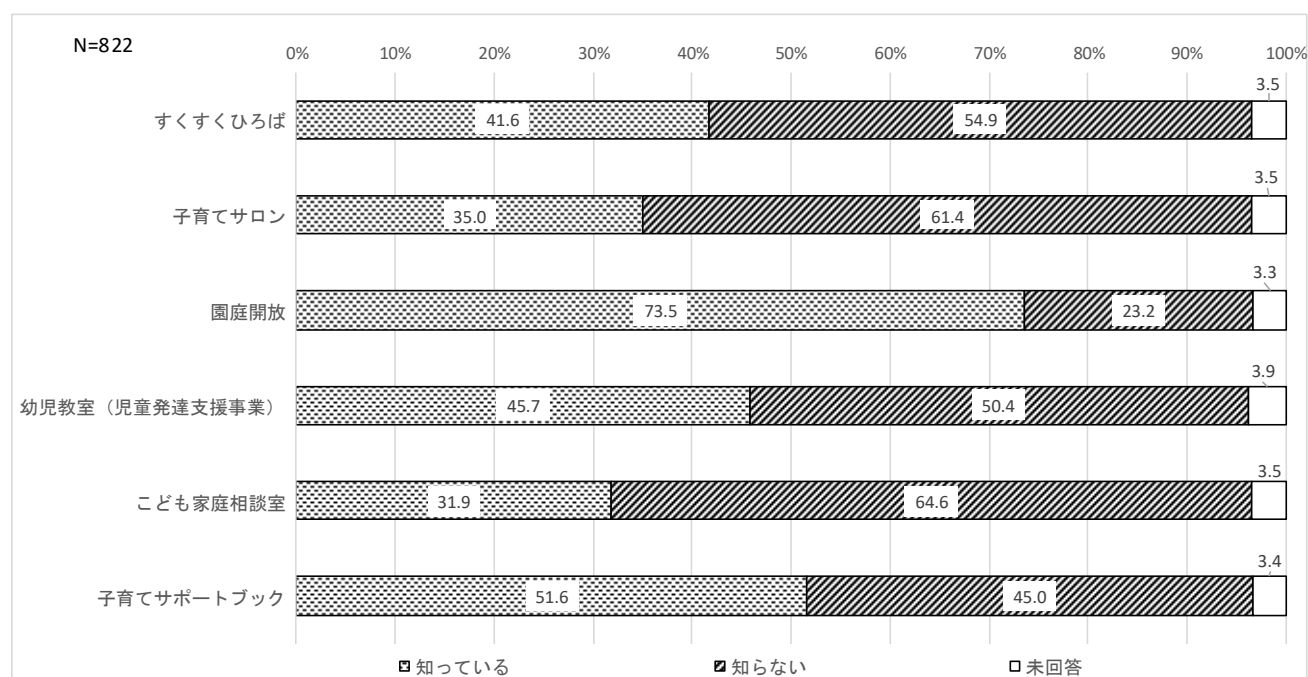
■今後利用日数を増やしたい場合の希望利用日数



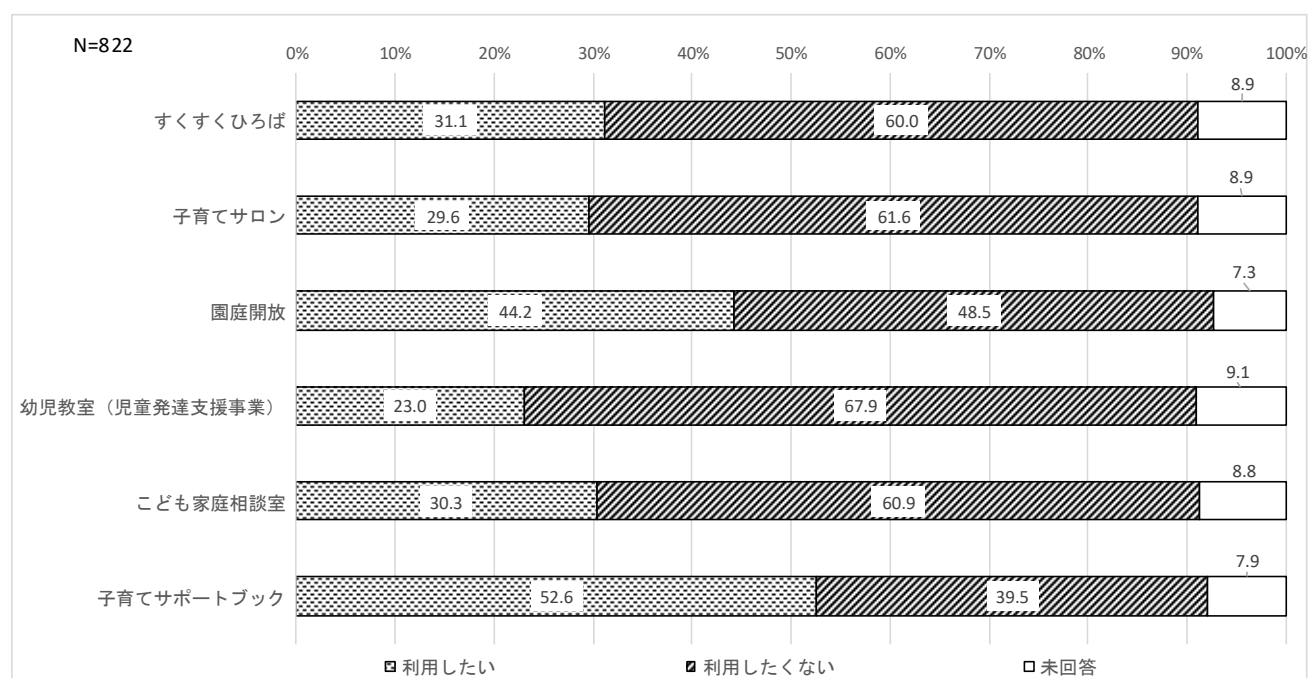
問 19 下記の事業で知っているものや、今後、利用したいと思うものをお答えください。

- ・ 子育て支援事業の認知度については、「園庭開放」(73.5%)が最も高く、「こども家庭相談室」(31.9%)が最も低くなっている。
- ・ 子育て支援事業の利用意向については、「子育てサポートブック」(52.6%)が最も多く、次いで「園庭開放」が多くなっている。

■子育て支援事業の認知度



■利用についての意向

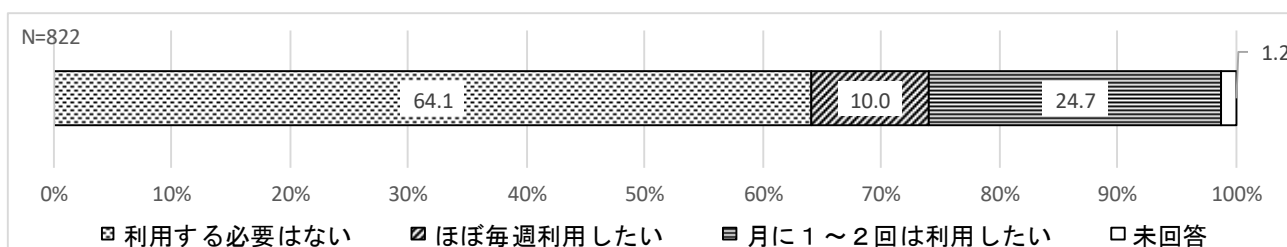


(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

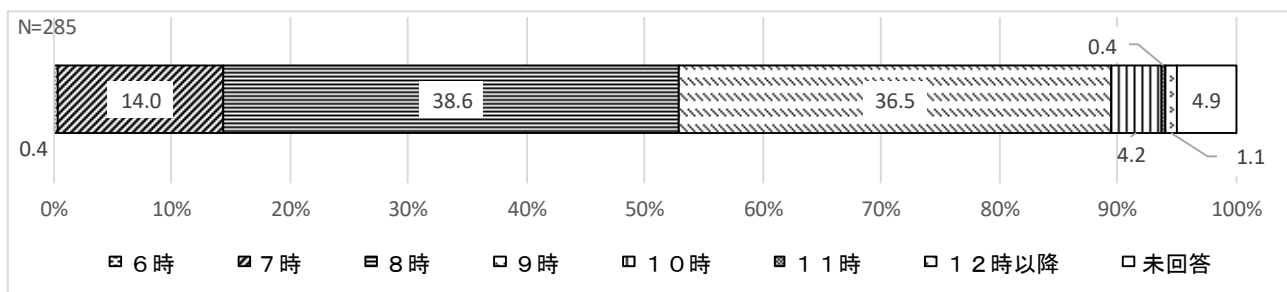
問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

(1) 土曜日

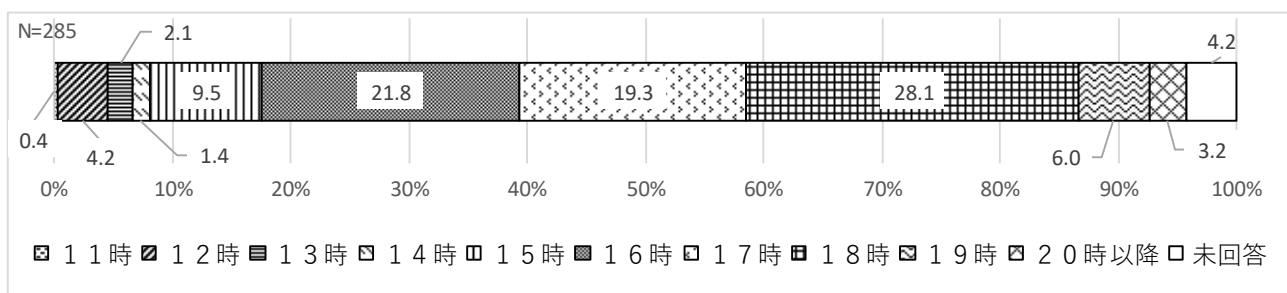
- ・ 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」(64.1%) が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が多くなっている。また、『利用したい』（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計）は34.7%となっている。
- ・ 『利用したい』場合、希望利用開始時間は「8時」(38.6%) が最も多く、次いで「9時」が多くなっている。また、利用終了時間は「18時」(28.1%) が最も多く、次いで「16時」が多くなっている。



■希望利用開始時間

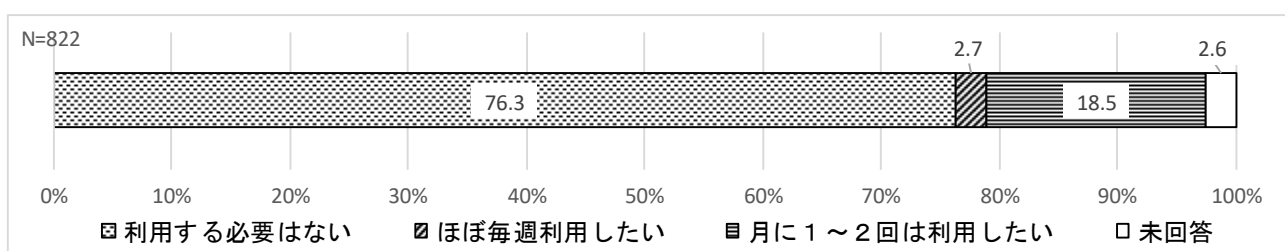


■希望利用終了時間

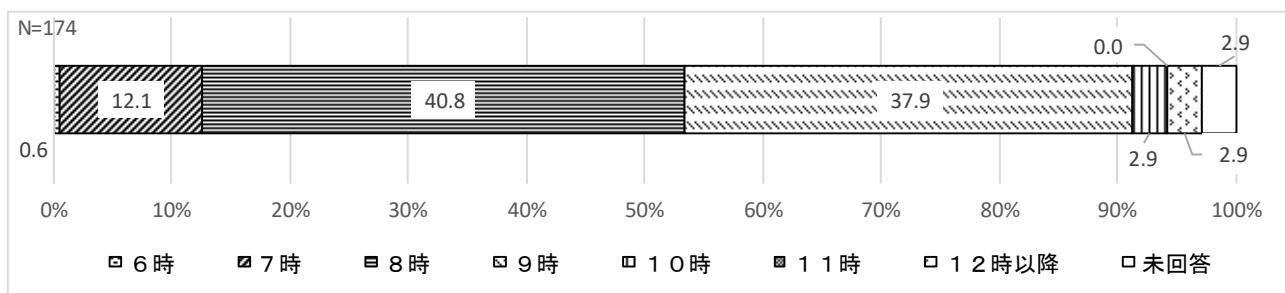


(2) 日曜日・祝日

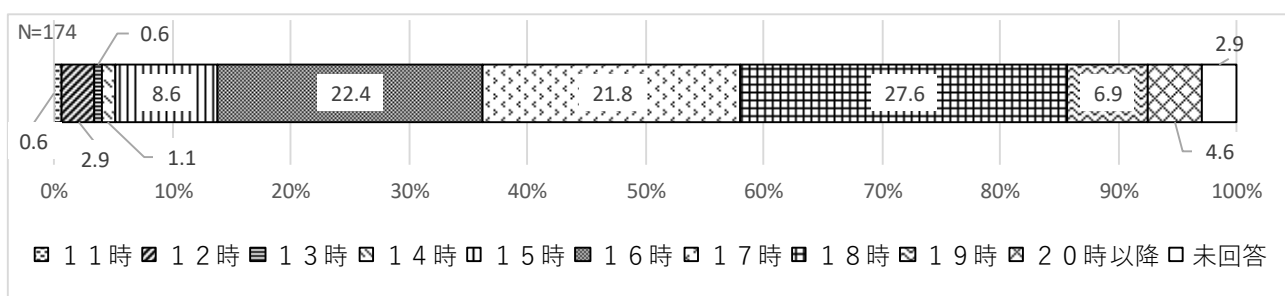
- ・ 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」(76.3%) が最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」が多くなっている。また、『利用したい』(「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計)は21.2%となっている。
- ・ 『利用したい』場合、希望利用開始時間は「8時」(40.8%) が最も多く、次いで「9時」が多くなっている。また、希望利用終了時間は「18時」(27.6%) が最も多く、次いで「16時」が多くなっている。



■希望利用開始時間

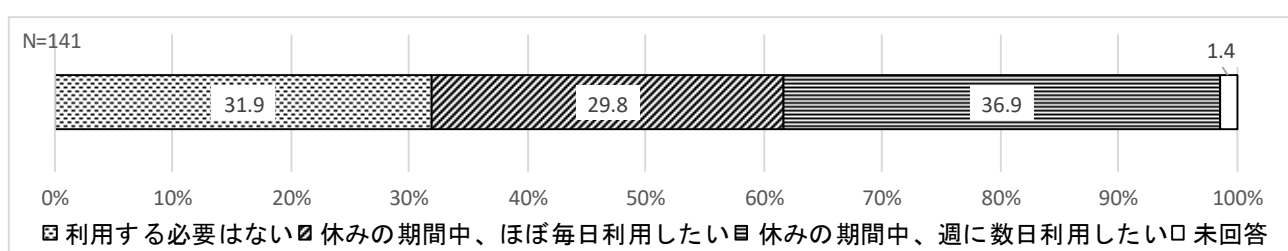


■希望利用終了時間

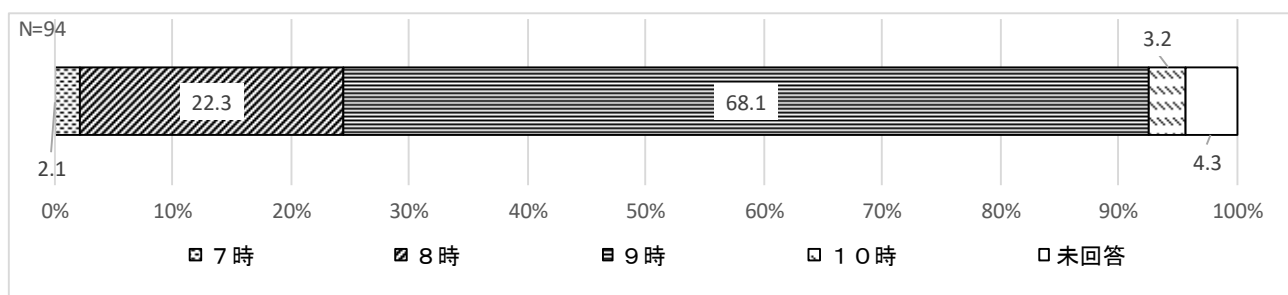


問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育のサービスの利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

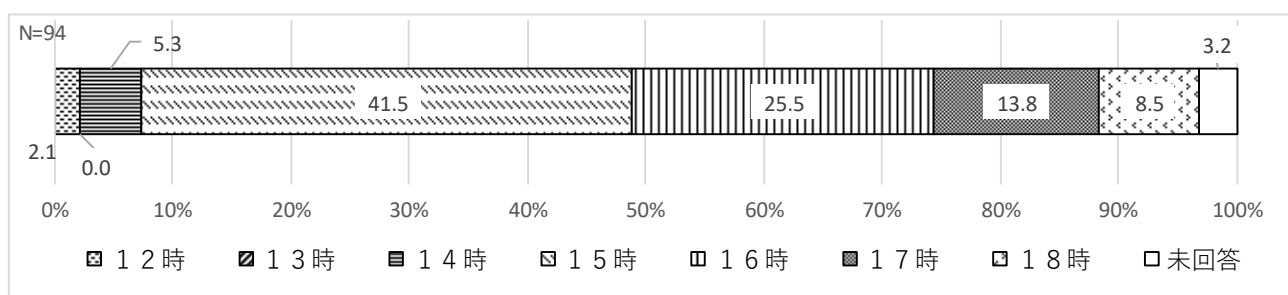
- ・ 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望については、「休みの期間中、週に数日利用したい」(36.9%)が最も多く、次いで「利用する必要はない」が多くなっている。また、『利用したい』(「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」の合計)は66.7%となっている。
- ・ 『利用したい』場合、希望利用開始時間は「9時」(68.1%)が最も多く、次いで「8時」が多くなっている。また、希望利用終了時間は「15時」(41.5%)が最も多く、次いで「16時」が多くなっている。



■ 希望利用開始時間



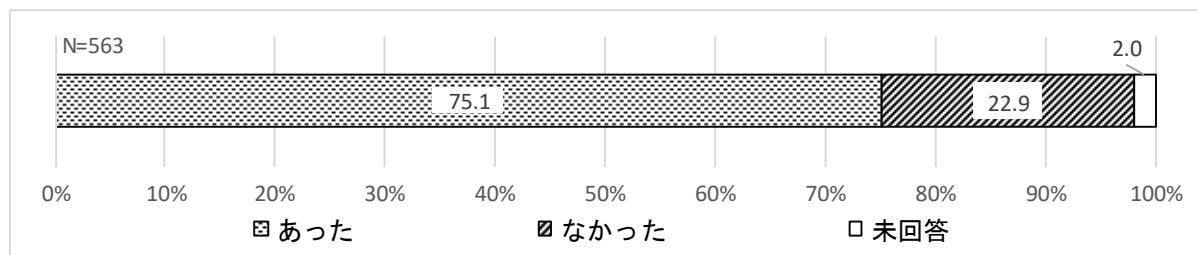
■ 希望利用終了時間



（８） 病気の際の対応について

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 16 で「利用している」に○をつけた方）にうかがいます。この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

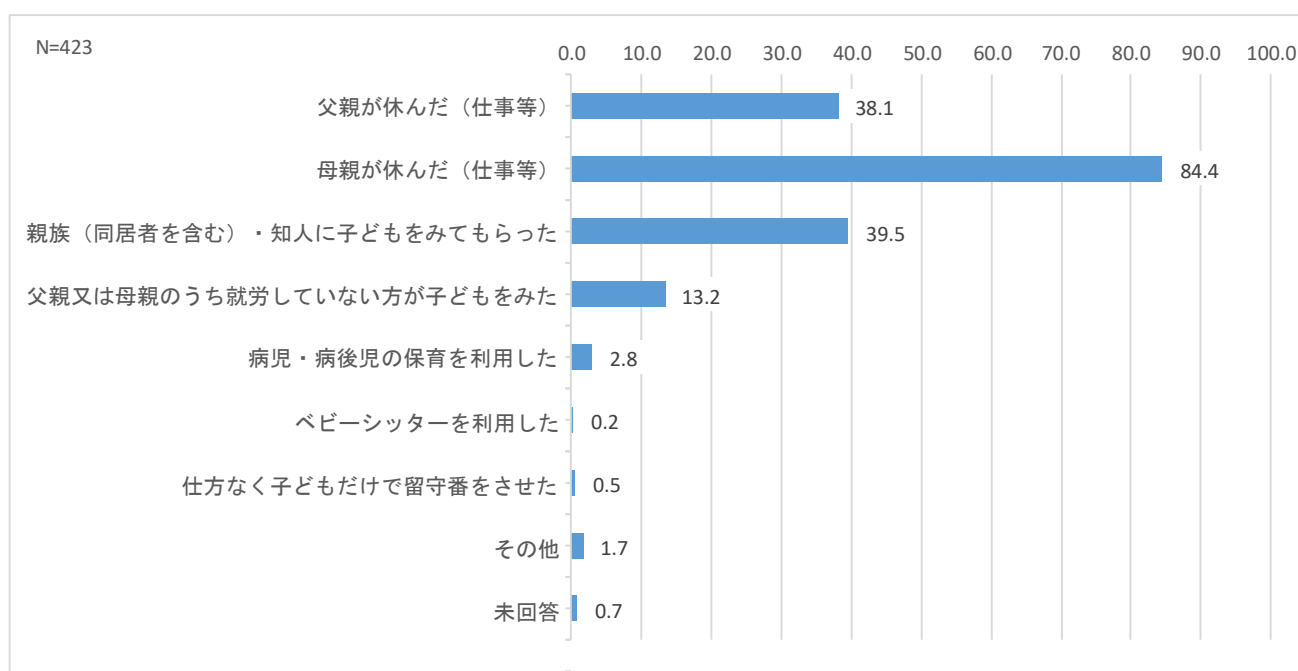
この１年間に子どもが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことがあるかどうかについては、「あった」が 75.1%、「なかった」が 22.9%となっている。



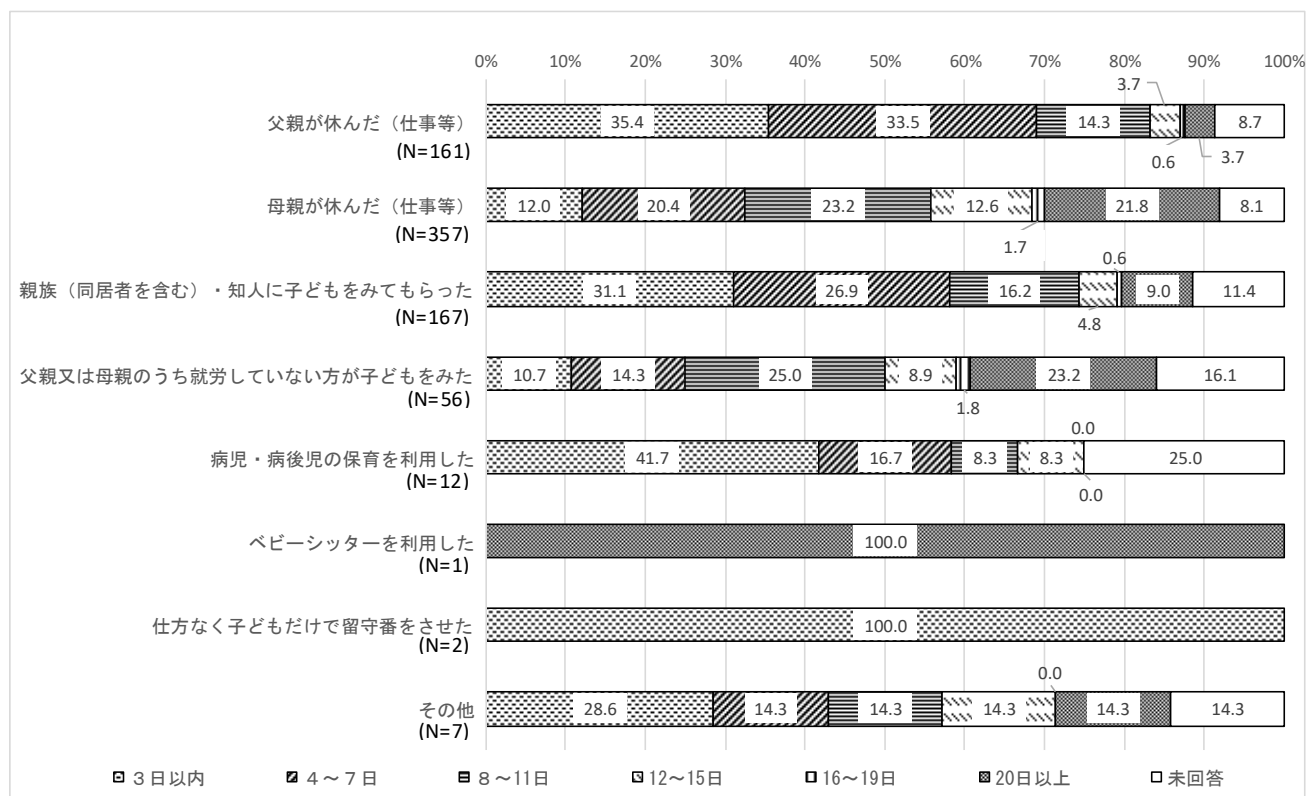
問 22-1 お子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この１年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

- ・ 対処方法としては、「母親が休んだ」(84.4%) が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」、「父親が休んだ」の順に多くなっている。
- ・ 「母親が休んだ」日数は、年間「８～１１日」(23.2%) が最も多く、次いで「２０日以上」が多くなっている。
- ・ 「親族・知人に子どもをみてもらった」日数は、年間「３日以内」(31.1%) が最も多く、次いで「４～７日」が多くなっている。
- ・ 「父親が休んだ」日数は、年間「３日以内」(35.4%) が最も多く、次いで「４～７日」が多くなっている。

■ １年間の対処方法

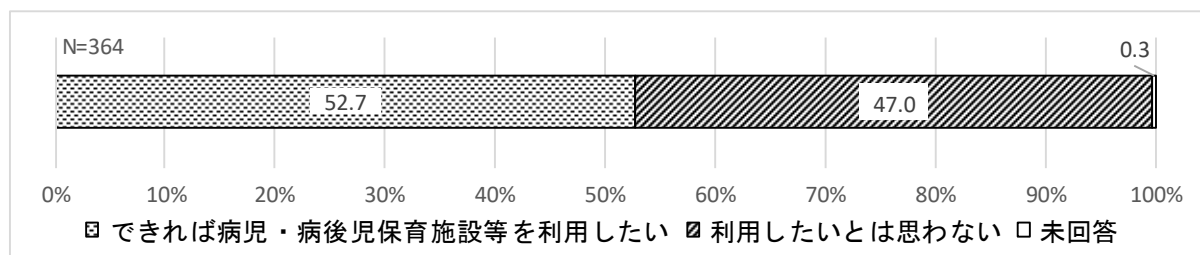


■対処方法別の日数（年間）

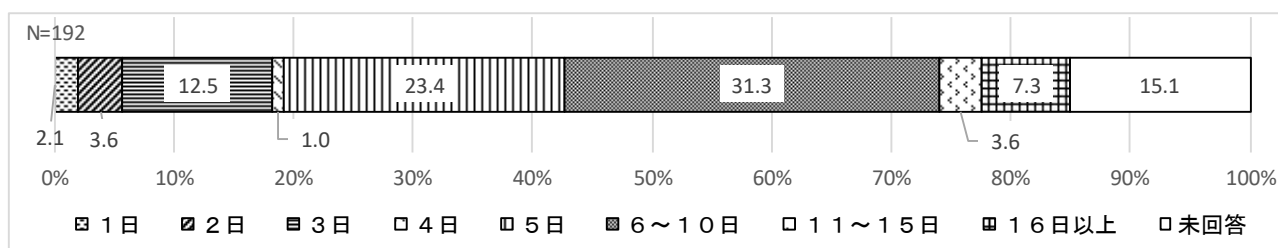


問 22-2 問 22-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

- ・ 対処方法として「母親が休んだ」、「父親が休んだ」を選んだ回答者の病児・病後児保育施設の利用意向については、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が 52.7%、「利用したいとは思わない」が 47.0%となっている。
- ・ 希望利用日数は、年間「6～10 日」(31.3%) が最も多く、次いで「5 日」、「3 日」の順に多くなっている。

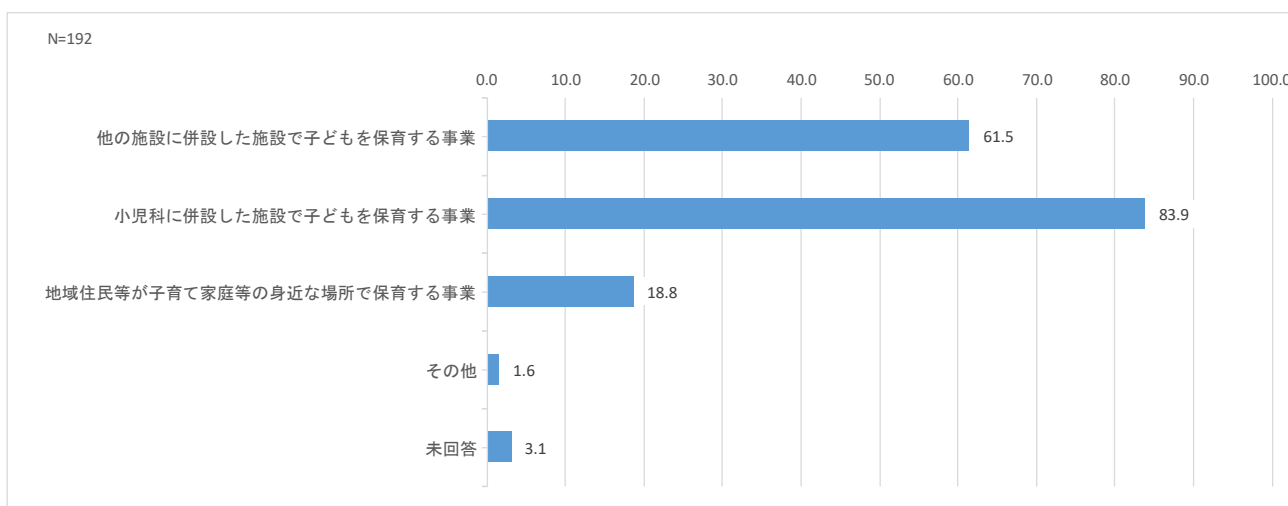


■希望利用日数



問 22-3 問 22-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(83.9%) が最も多く、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」が多くなっている。

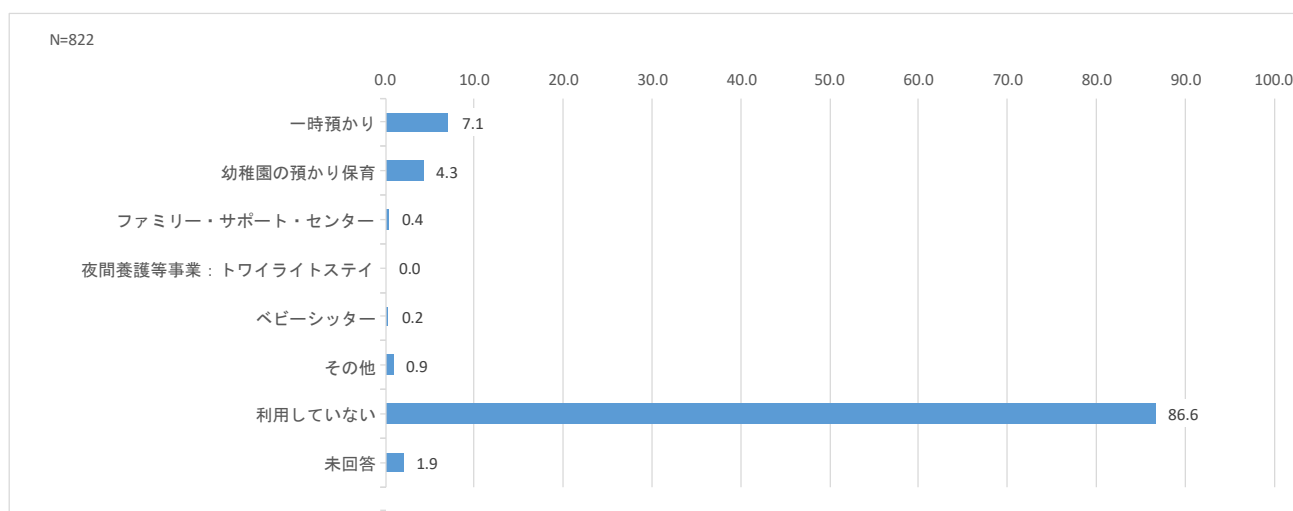


(9) 「不定期」の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外（不定期の労働・冠婚葬祭・保護者・家族の病気・私用・リフレッシュ等）に、お住まいの（またはお勤め先の）地域（大網白里市内/市外問わず）にて、不定期に利用しているサービスはありますか。

- ・ 居住地における不規則なサービスの利用状況については、「利用していない」（86.6%）が最も多くなっており、利用している場合の利用状況については、「一時預かり」（7.1%）が最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が多くなっている。
- ・ 利用日数は、「一時預かり」（34.5%）と「幼稚園の預かり保育」（22.9%）でいずれも年間「11日以上」が最も多くなっている。

■利用しているサービス



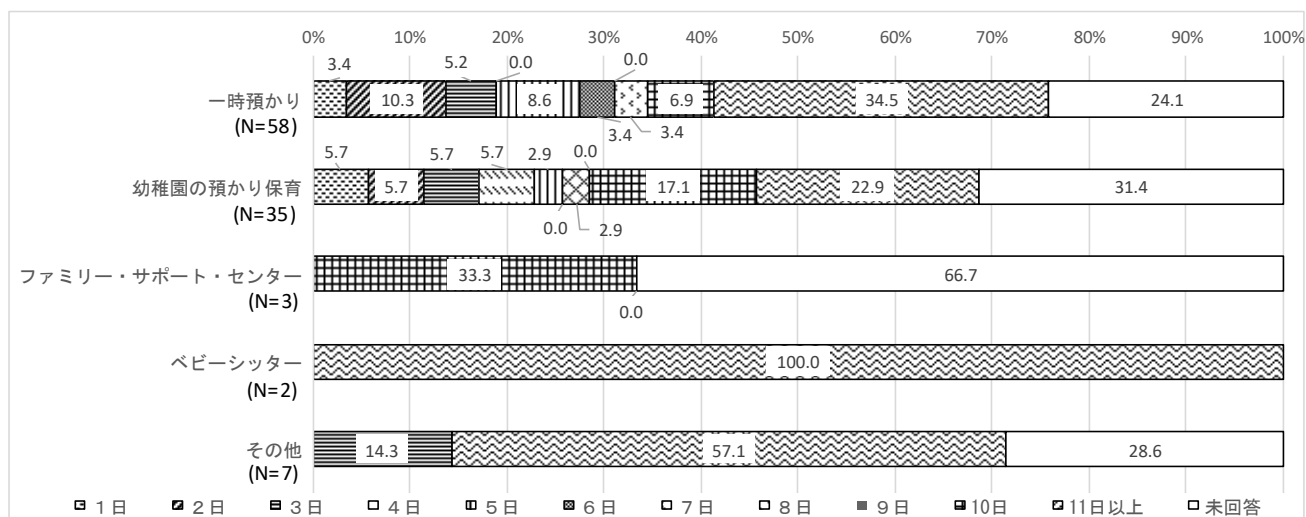
※「一時預かり」は、私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業

※「幼稚園の預かり保育」は、通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ

※「ファミリー・サポート・センター」は、地域住民が子どもを預かる事業

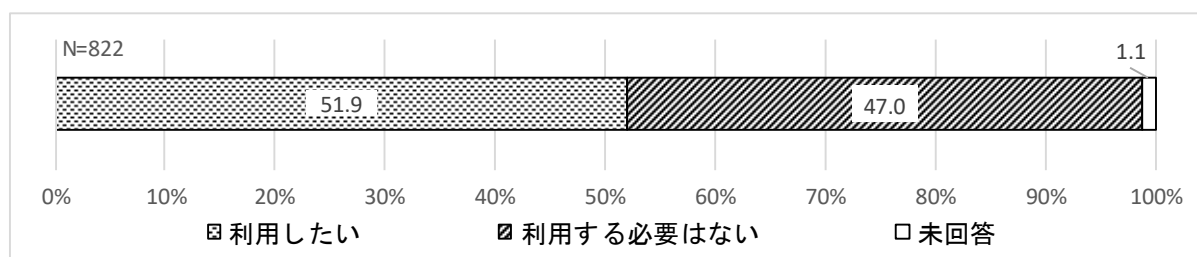
※「トワイライトステイ」は、児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

■年間利用日数

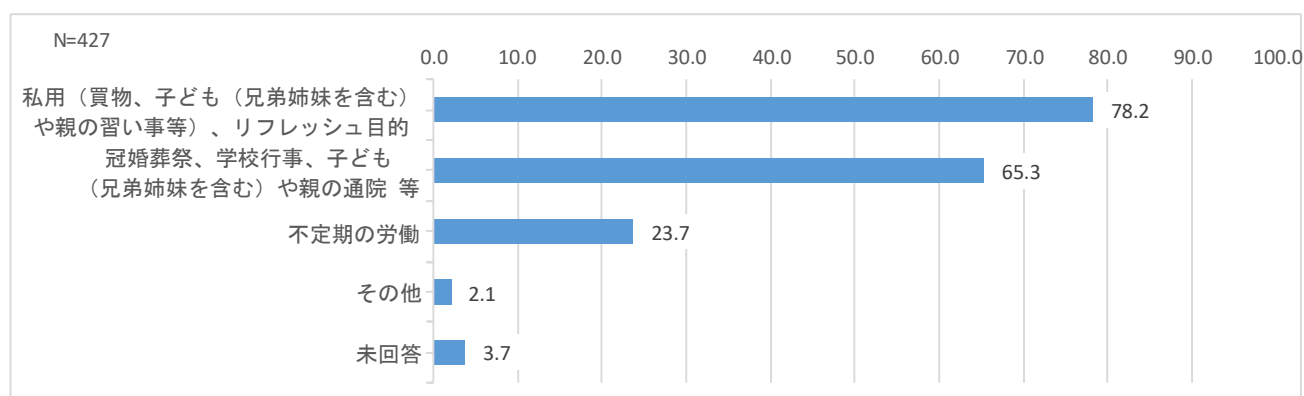


問 24 宛名のお子さんについて、不定期の労働・冠婚葬祭・保護者・家族の病気・私用・リフレッシュ等の目的で、年間何日くらい上記のサービスを利用する必要があると思いますか。

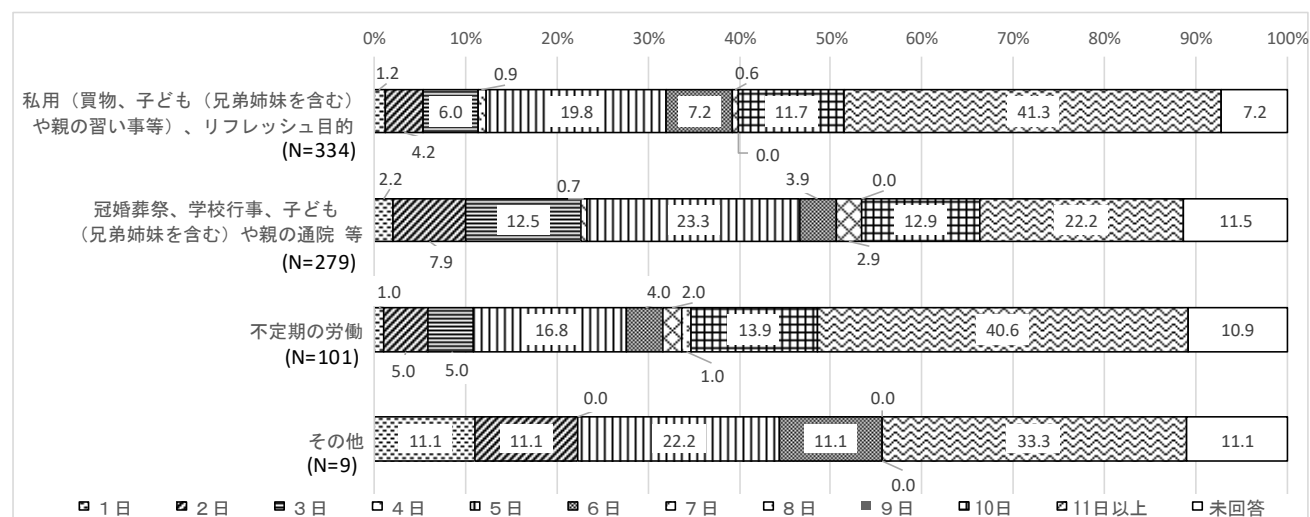
- ・ 利用希望の有無については、「利用したい」が51.9%、「利用する必要はない」が47.0%となっている。
- ・ サービスを利用する目的としては、「私用・リフレッシュ目的」（78.2%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」、「不定期の就労」の順に多くなっている。
- ・ 目的別の希望利用日数については、「私用、リフレッシュ目的」は「11日以上」（41.3%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」では「5日」（23.3%）、「不定期の就労」では「11日以上」（40.6%）が最も多くなっている。



■利用目的

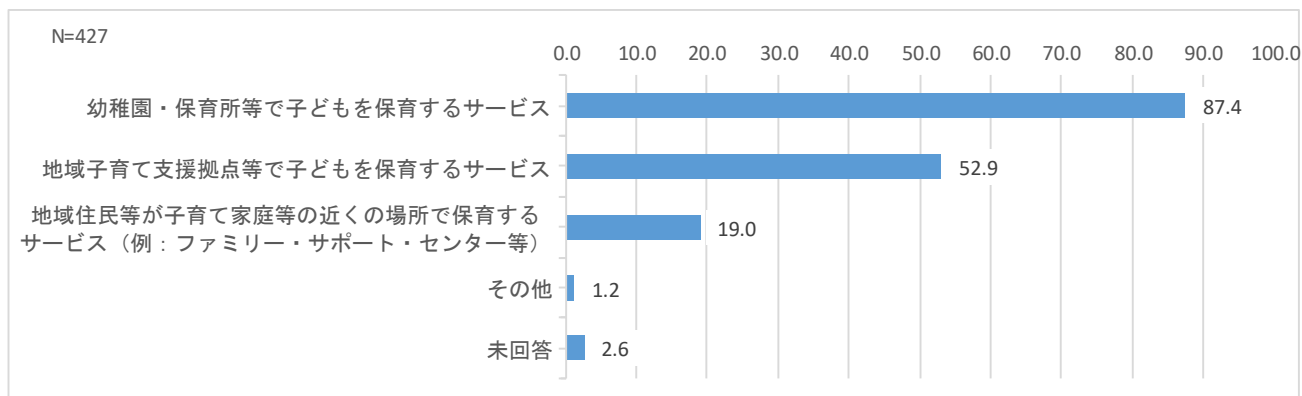


■目的別の希望利用日数



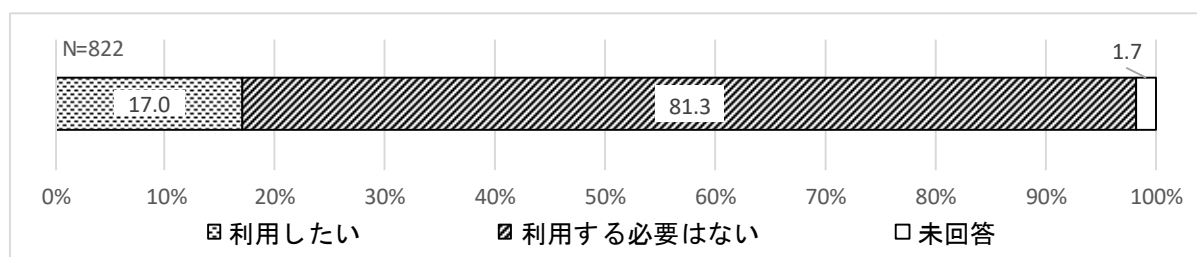
問 24-1 問 24 で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

望ましい事業形態は、「幼稚園・保育所等で子どもを保育するサービス」(87.4%)が最も多く、次いで「地域子育て支援拠点等で子どもを保育するサービス」、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育するサービス」の順に多くなっている。

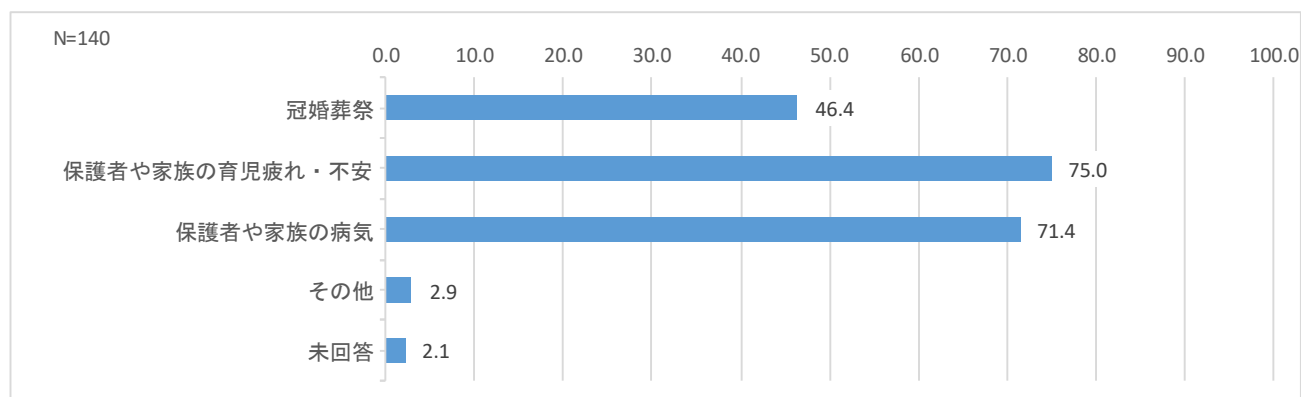


問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

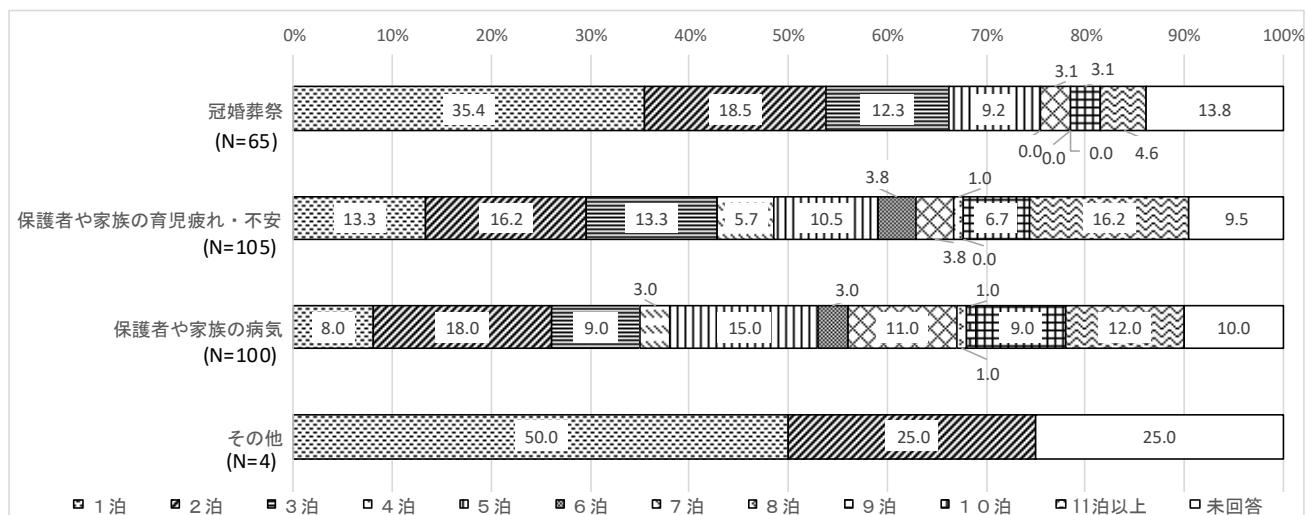
- ・ 利用希望の有無については、「利用したい」が17.0%、「利用する必要はない」が81.3%となっている。
- ・ サービスを利用する目的としては、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（75.0%）が最も多く、次いで「保護者や家族の病気」、「冠婚葬祭」の順に多くなっている。
- ・ 目的別の希望泊数については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」は「2泊」と「11泊以上」（16.2%）、「保護者や家族の病気」では「2泊」（18.0%）、「冠婚葬祭」では「1泊」（35.4%）が最も多くなっている。



■利用目的



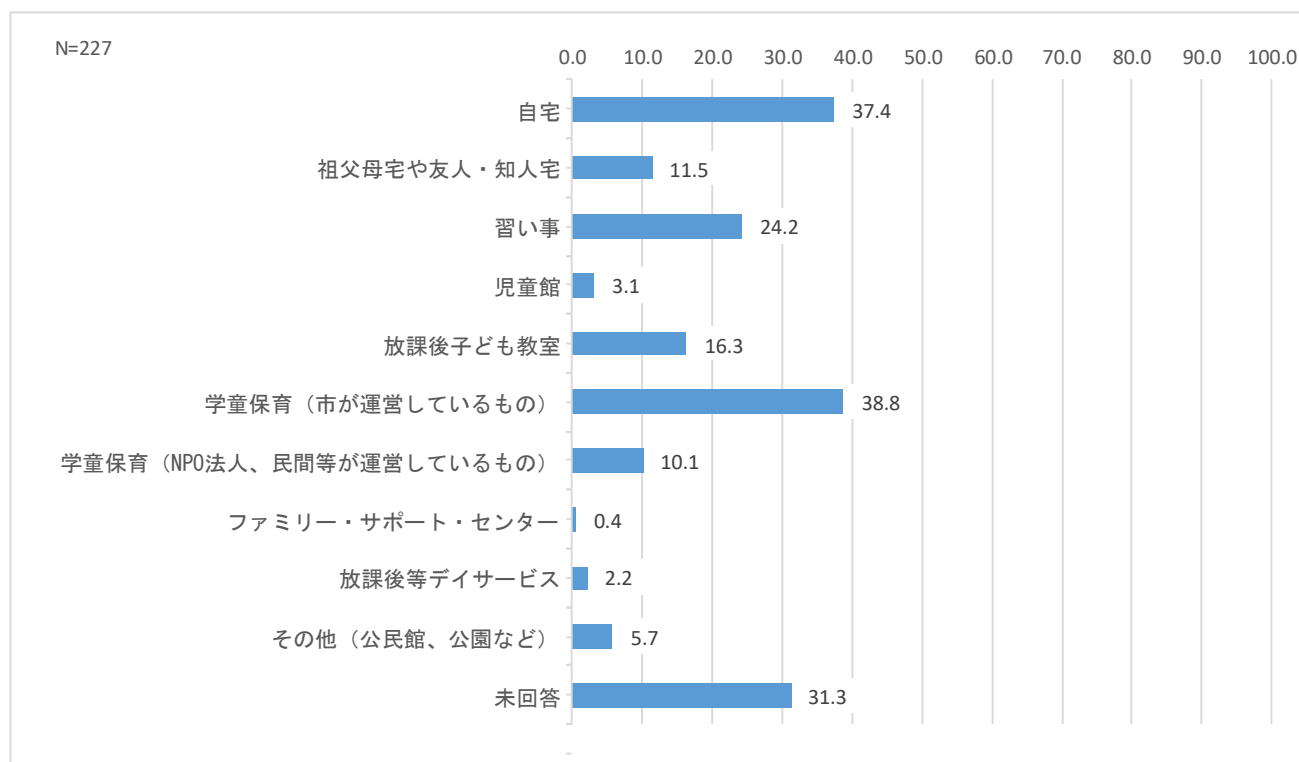
■目的別の希望泊数



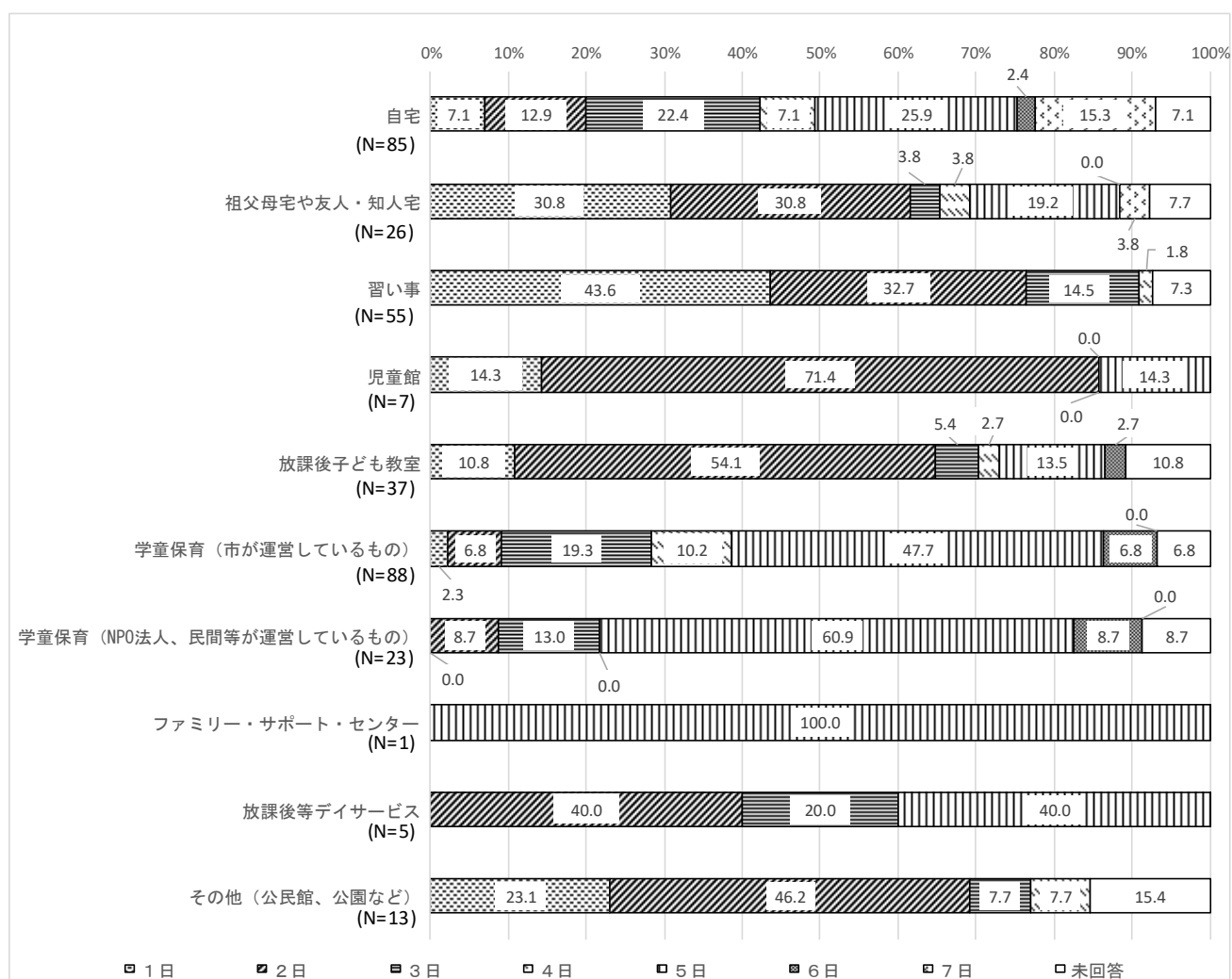
（１０） 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校就学後は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

- ・ 小学校就学後、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「学童保育（市が運営しているもの）」（38.8%）が最も多く、次いで、「自宅」「習い事」の順に多くなっている。
- ・ 週当たりの希望利用日数は、「学童保育（市が運営しているもの）」（47.7%）、「自宅」（25.9%）は「５日」が最も多く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」は「１日」（43.6%）が最も多くなっている。



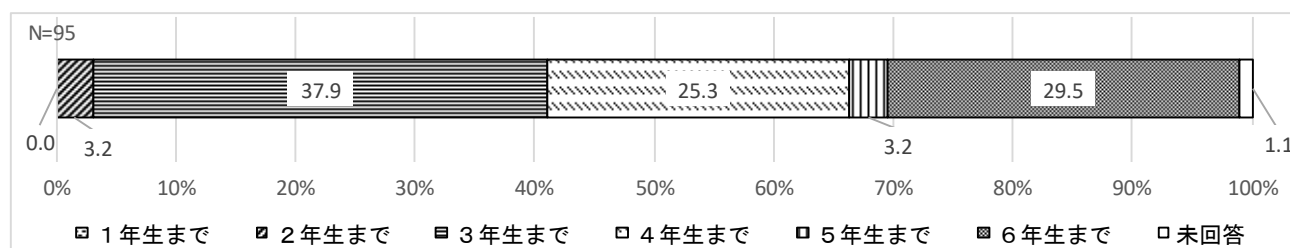
■週当たりの希望利用日数



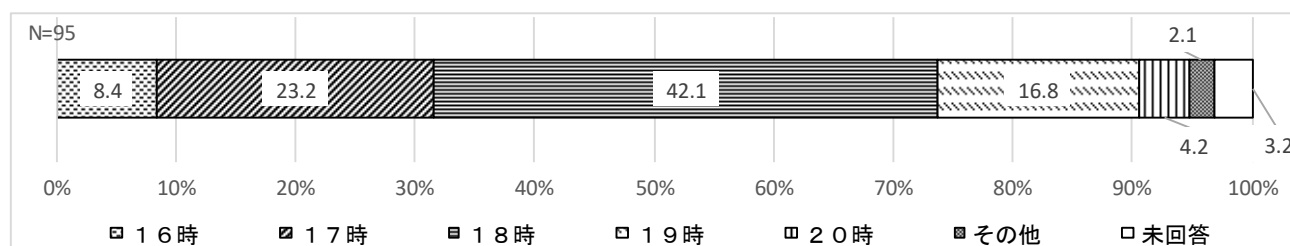
問 26-1 問 26 で「学童保育（市が運営しているもの）」または「学童保育（NPO 法人、民間等が運営しているもの）」に○をつけた方にうかがいます。小学校何年生まで学童保育の利用を希望しますか。また、利用を希望する時間も口 内に数字でご記入ください。

- ・ 学童保育について、小学校何年生まで利用を希望するかについては、「3 年生まで」（37.9%）が最も多く、次いで、「6 年生まで」「4 年生まで」の順に多くなっている。学童保育の利用について、高学年（4 年生以上）で希望するものは 58.0%と過半数を占めている。
- ・ 学童保育の希望利用終了時間については、「18 時」（42.1%）が最も多く、次いで、「17 時」「19 時」の順に多くなっている。

■利用を希望する学年



■希望利用終了時間

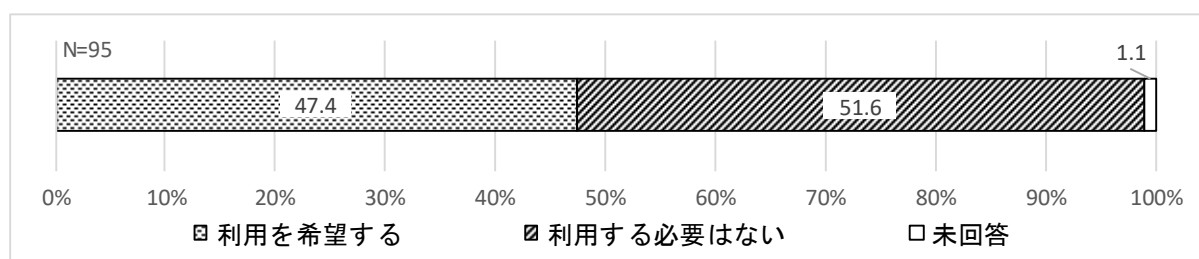


問 26-2 問 26 で「学童保育（市が運営しているもの）」または「学童保育（NPO 法人、民間等が運営しているもの）」に○をつけた方にうかがいます。

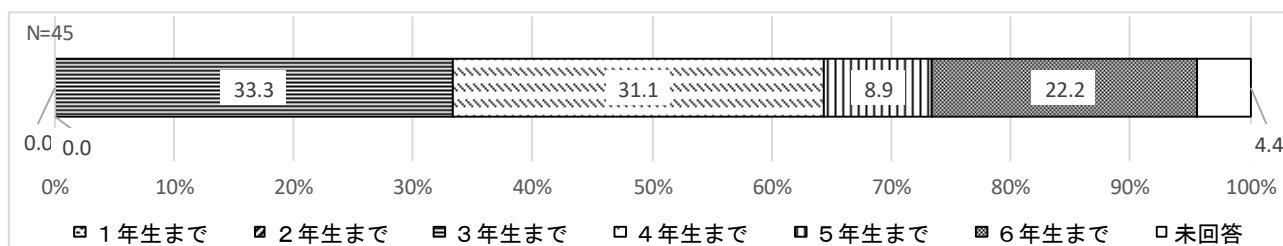
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。

(1) 土曜日

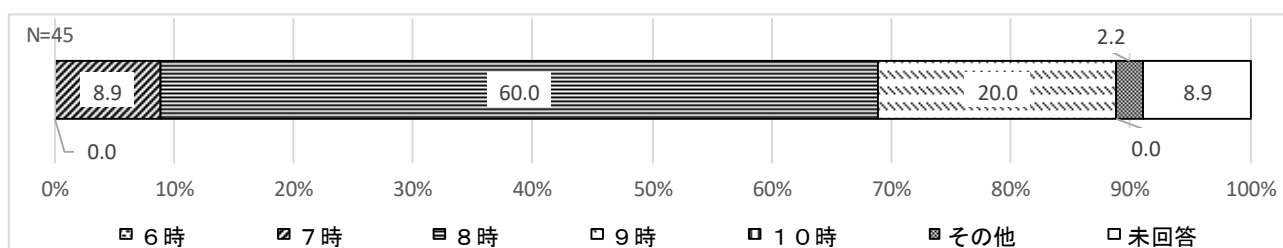
- ・ 土曜日の利用希望の有無については、「利用を希望する」が 47.4%、「利用する必要はない」が 51.6%となっている。
- ・ 小学校何年生まで利用を希望するかについては、「3 年生まで」(33.3%) が最も多く、次いで、「4 年生まで」「6 年生まで」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用開始時間については、「8 時」(60.0%) が最も多く、次いで、「9 時」「7 時」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用終了時間については、「17 時」(31.1%) が最も多く、次いで、「18 時」「16 時」の順に多くなっている。



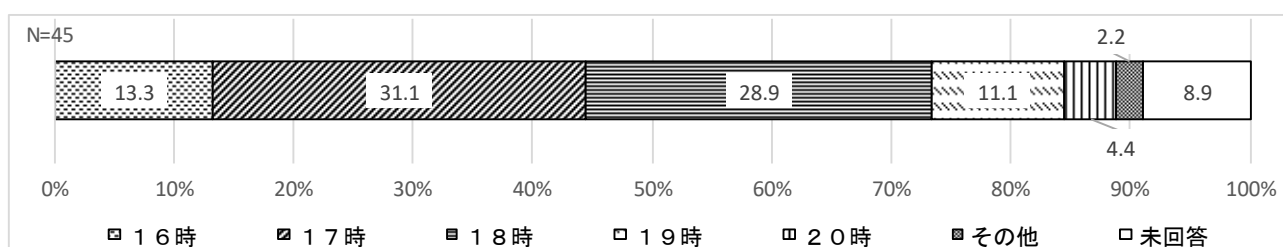
■利用を希望する学年



■希望利用開始時間

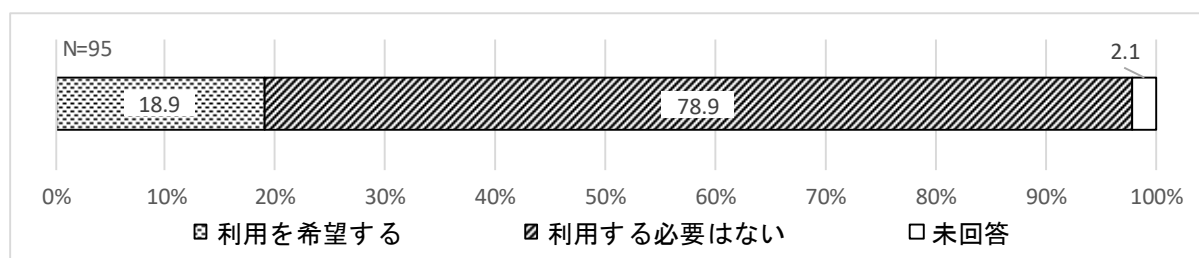


■希望利用終了時間

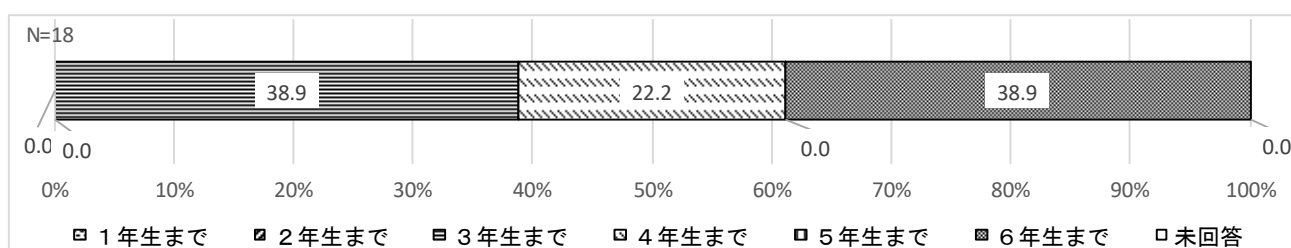


(2) 日曜日

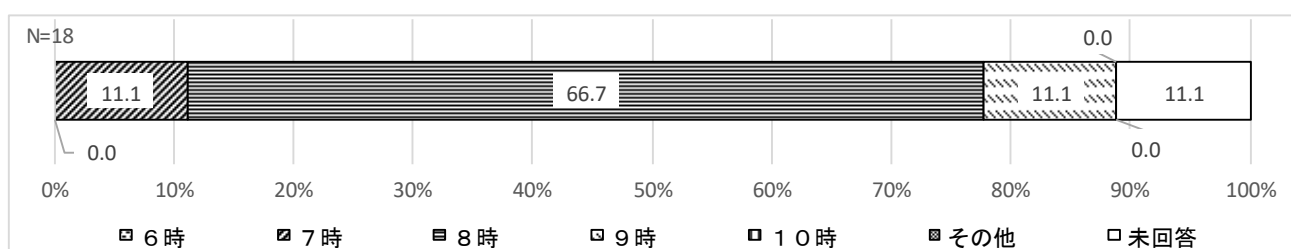
- ・ 日曜日の利用希望の有無については、「利用を希望する」が18.9%、「利用する必要はない」が78.9%となっている。
- ・ 小学校何年生まで利用を希望するかについては、「3年生まで」と「6年生まで」が同率（38.9%）で最も多く、次いで、「4年生まで」となっている。
- ・ 希望利用開始時間については、「8時」（66.7%）が最も多くなっている。
- ・ 希望利用終了時間については、「17時」「18時」が同率（27.8%）で最も多くなっている。



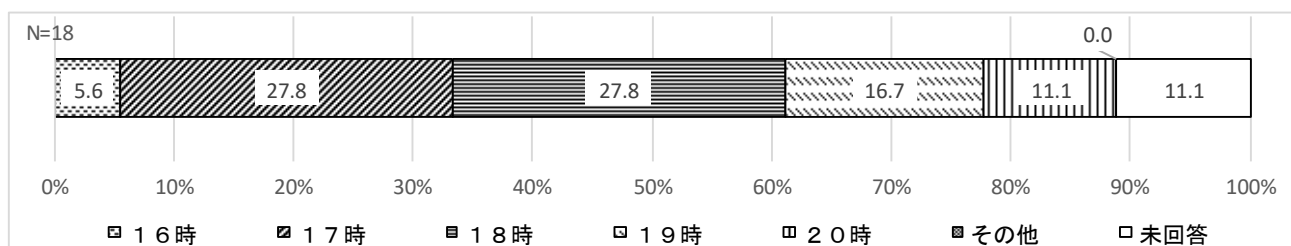
■利用を希望する学年



■希望利用開始時間



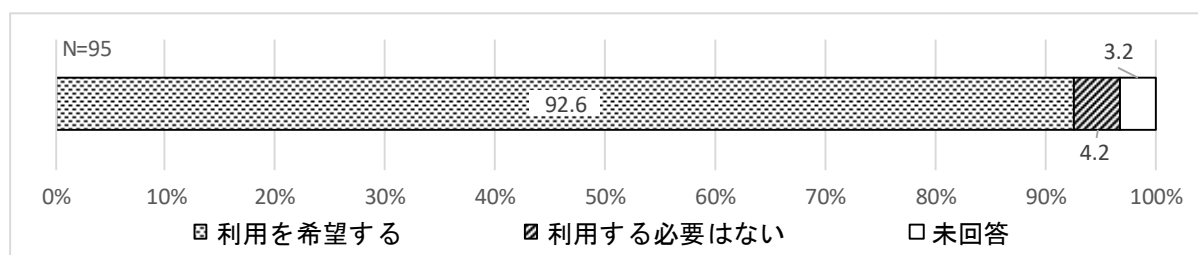
■希望利用終了時間



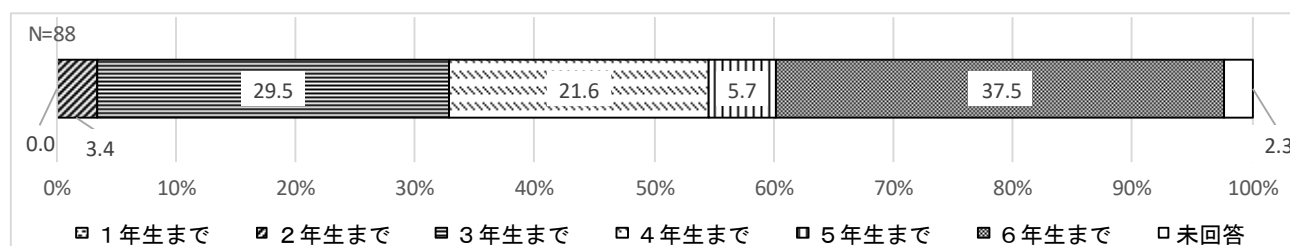
問 26-3 問 26 で「学童保育（市が運営しているもの）」または「学童保育（NPO 法人、民間等が運営しているもの）」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。

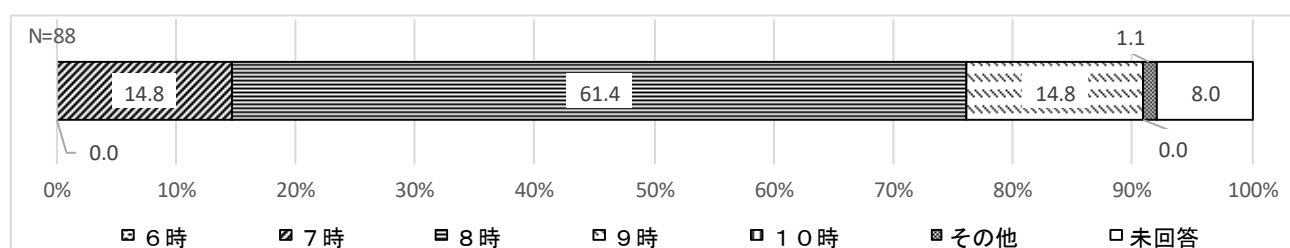
- ・ 長期の休暇期間中の利用希望の有無については、「利用を希望する」が 92.6%、「利用する必要はない」が 4.2%となっている。
- ・ 小学校何年生まで利用を希望するかについては、「6 年生まで」(37.5%) が最も多く、次いで、「3 年生まで」「4 年生まで」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用開始時間については、「8 時」(61.4%) が最も多くなっている。
- ・ 希望利用終了時間については、「18 時」(38.6%) が最も多く、次いで、「17 時」「16 時」の順に多くなっている。



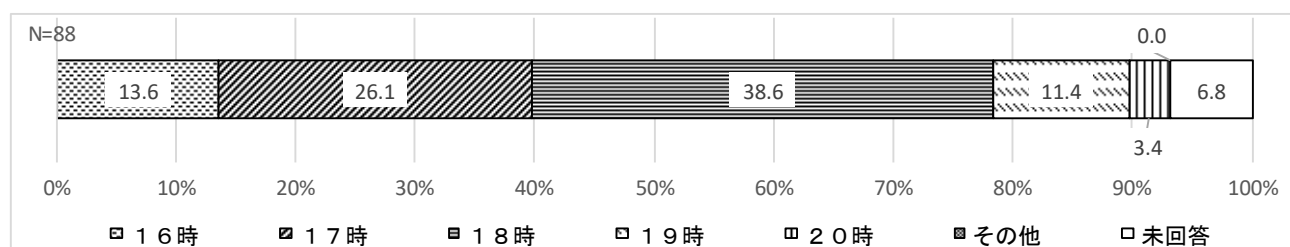
■利用を希望する学年



■希望利用開始時間



■希望利用終了時間



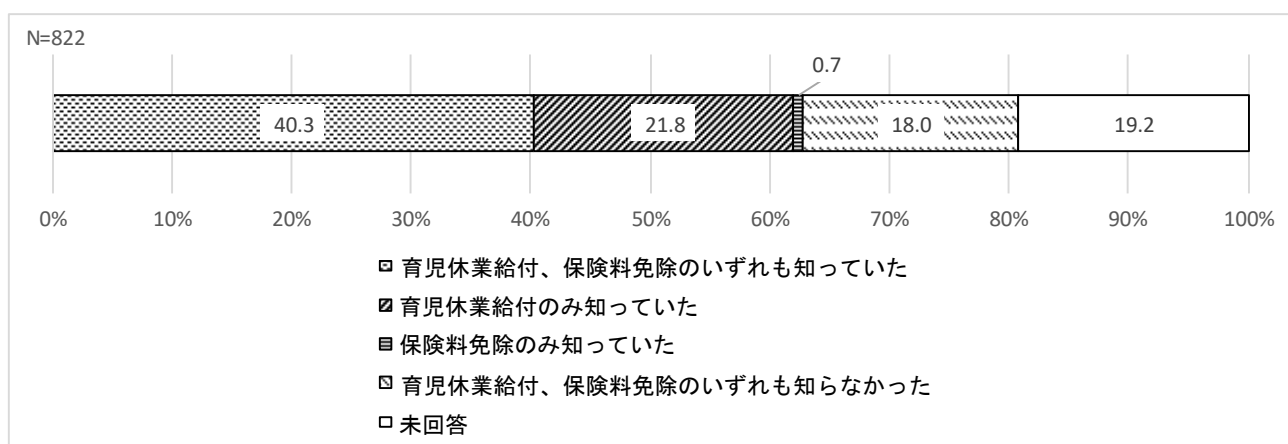
(11) 職場の両立支援制度について

問 27 子どもが原則 1 歳※¹になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等※²期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。そのことをご存じでしたか。

※ 1 保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 2 歳

※ 2 法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置

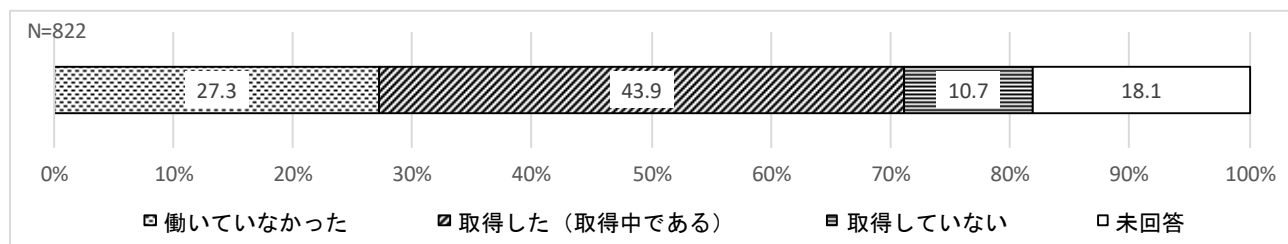
各制度の認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」(40.3%) が最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」、「いずれも知らなかった」の順に多くなっている。



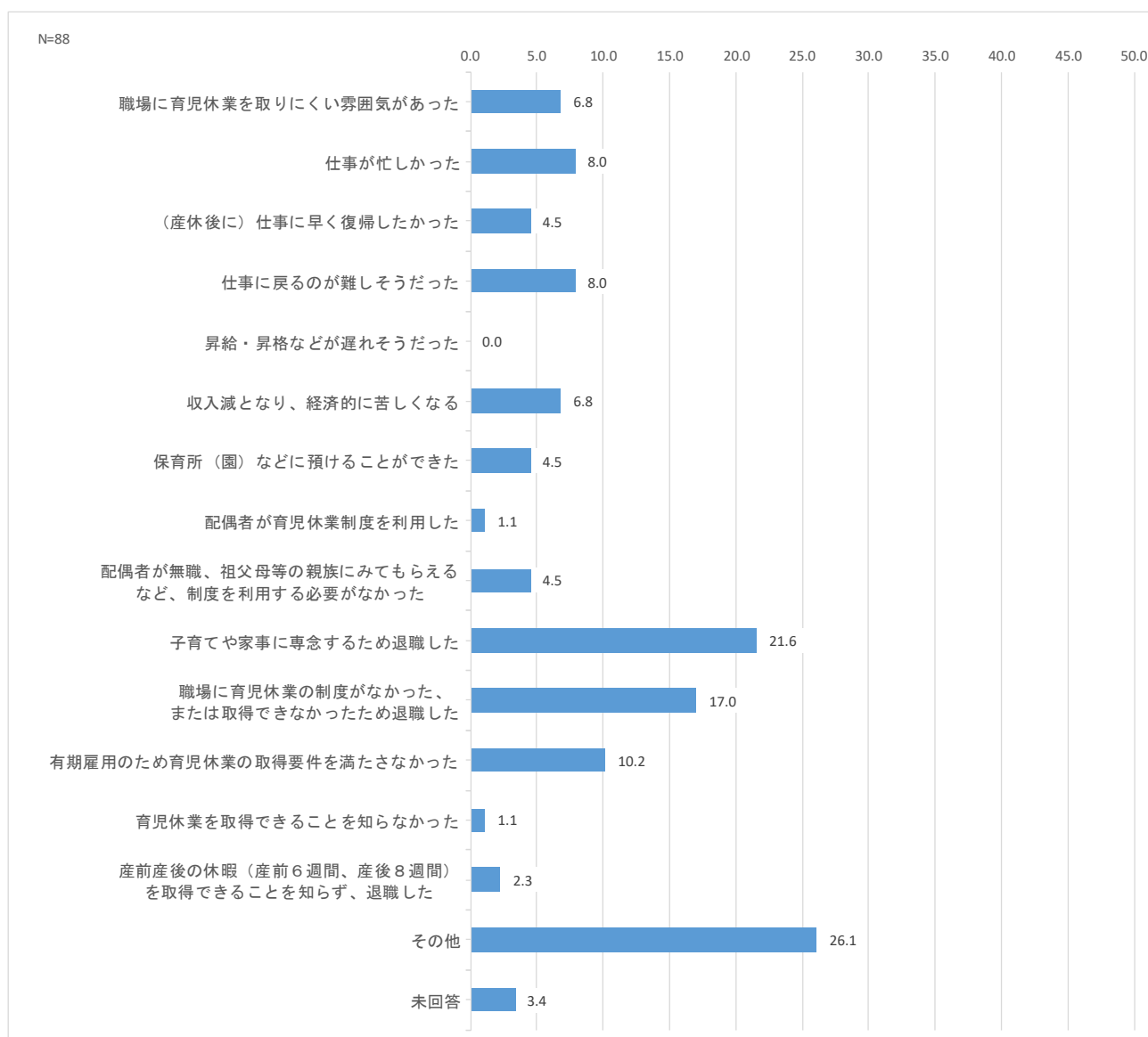
問 27-1 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、「取得していない」を選んだ方はその理由もお答えください。

(1) 母親

- ・ 育児休業を取得したかどうかについては、「取得した（取得中である）」（43.9%）が最も多く、次いで、「働いていなかった」「取得していない」の順に多くなっている。
- ・ 育児休業を取得していない理由として、「子育てや家事に専念するため退職した」（21.6%）が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった、または取得できなかったため退職した」が多くなっている。

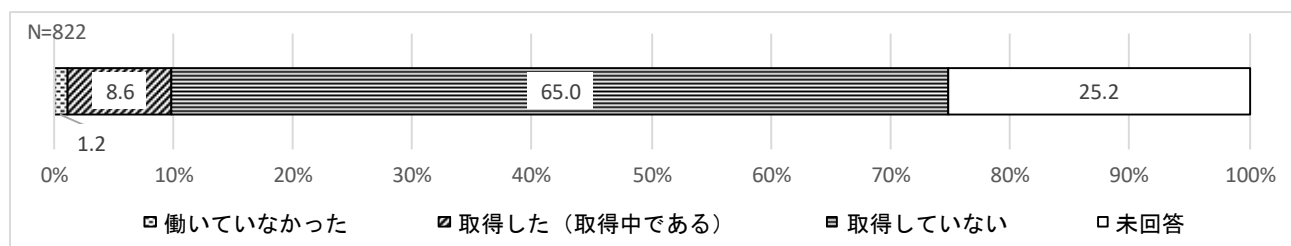


■取得していない理由

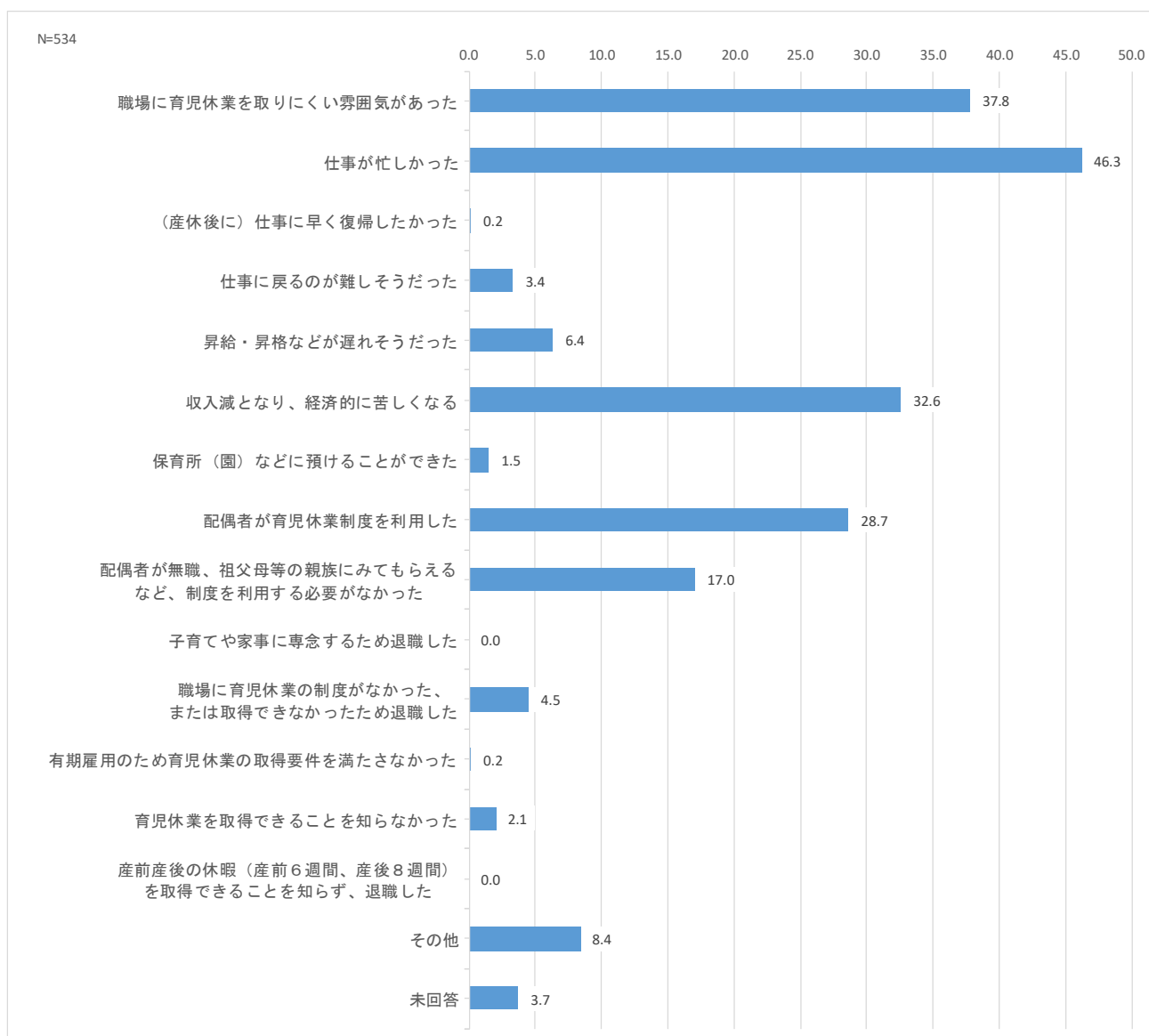


(2) 父親

- ・ 育児休業を取得したかどうかについては、「取得していない」(65.0%)が最も多くなっている。
- ・ 育児休業を取得していない理由として、「仕事が忙しかった」(46.3%)が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」という理由も多くなっている。



■取得していない理由

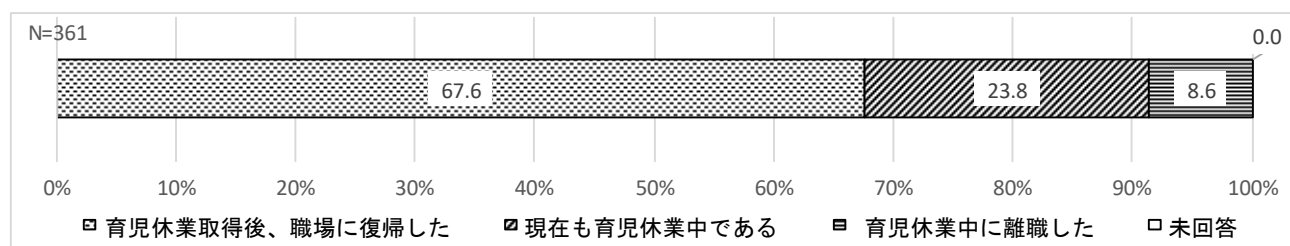


問 27-2 問 34-1 で「取得した（取得中である）」と答えた方にうかがいます。

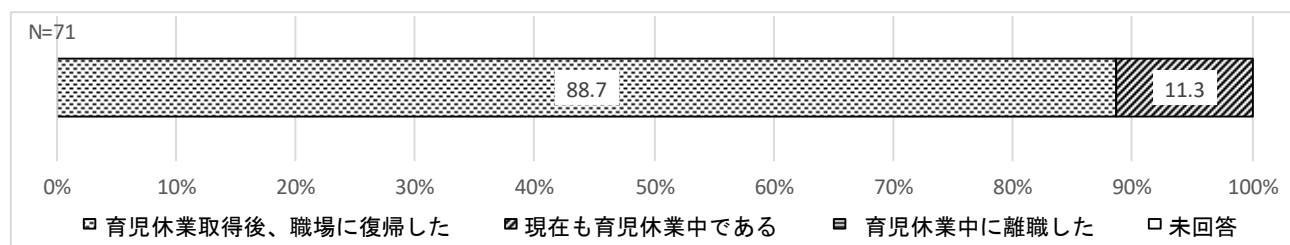
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

育児休業取得後、職場に復帰したかどうかについては、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」（67.6%）が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」（23.8%）が多くなっている。また、父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」（88.7%）が最も多くなっている。

（１）母親



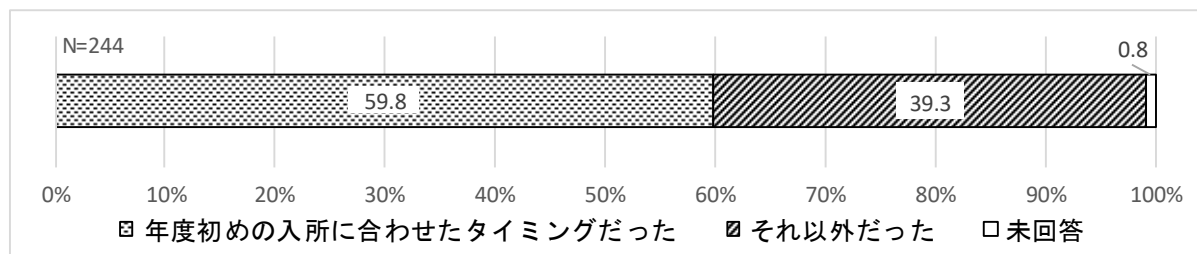
（２）父親



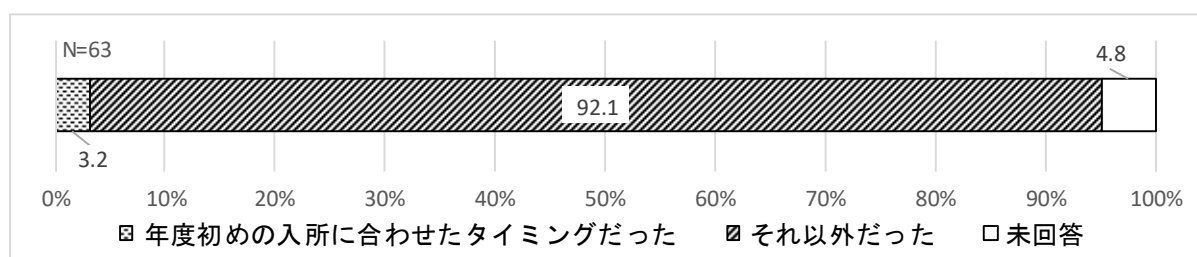
問 27-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。
あるいはそれ以外でしたか。

育児休業から復帰したタイミングについては、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」（59.8%）が最も多くなっている。また、父親では「それ以外だった」（92.1%）が最も多くなっている。

（１）母親



（２）父親

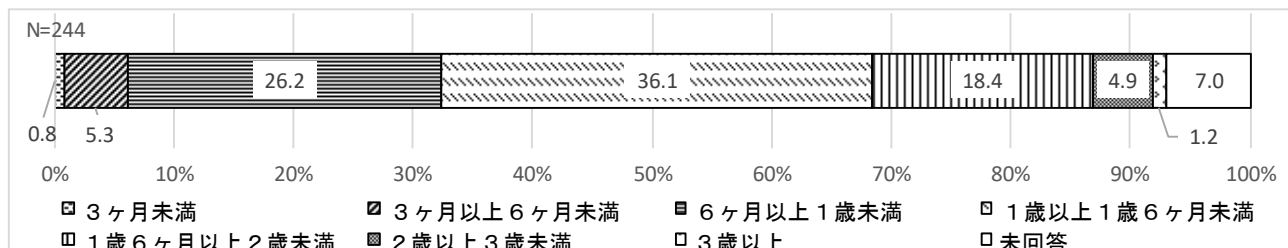


問 27-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

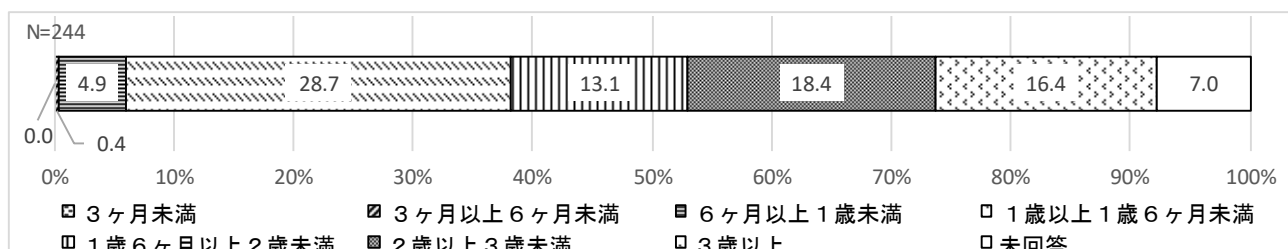
(1) 母親

- ・ 実際に育児休業から職場復帰した時期は、「1歳以上1歳6ヶ月未満」(36.1%)が最も多くなっている。
- ・ 勤め先の育児休業の制度の期間内で、育児休業を取りたかった期間は、「1歳以上1歳6ヶ月未満」(28.7%)が最も多くなっている。

■実際の育児休業期間



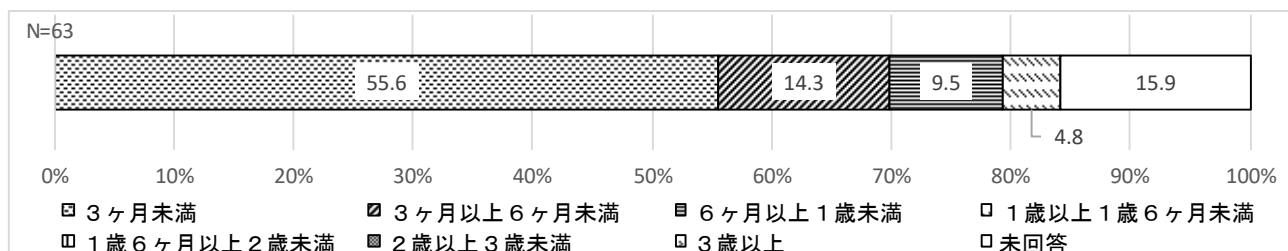
■希望する育児休業期間



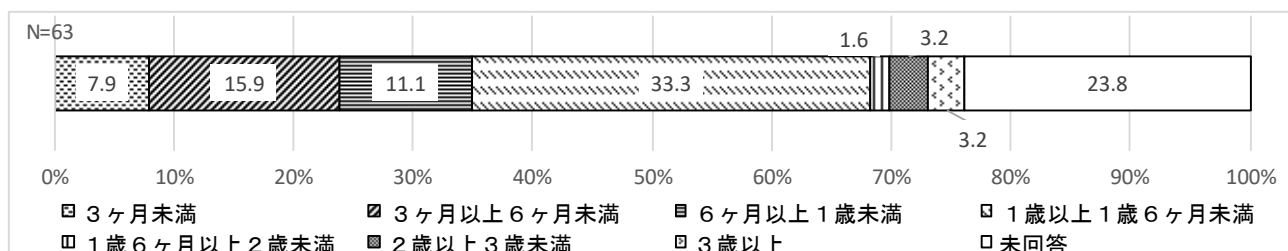
(2) 父親

- ・ 実際に育児休業から職場復帰した時期は、「3ヶ月未満」(55.6%)が最も多くなっている。
- ・ 勤め先の育児休業の制度の期間内で、育児休業を取りたかった期間は、「1歳以上1歳6ヶ月未満」(33.3%)が最も多くなっている。

■実際の育児休業期間



■希望する育児休業期間

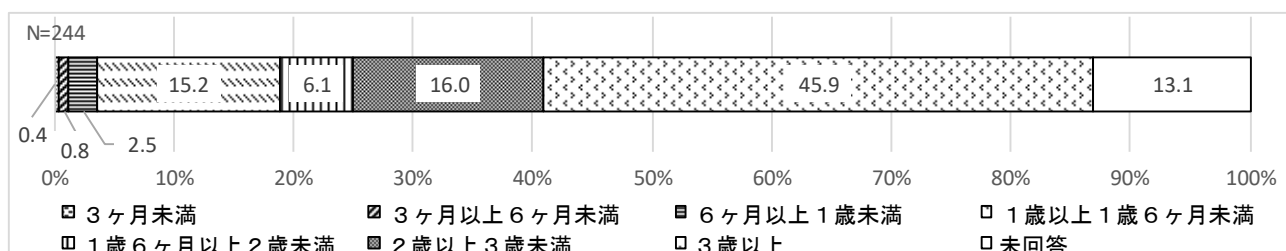


問 27-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

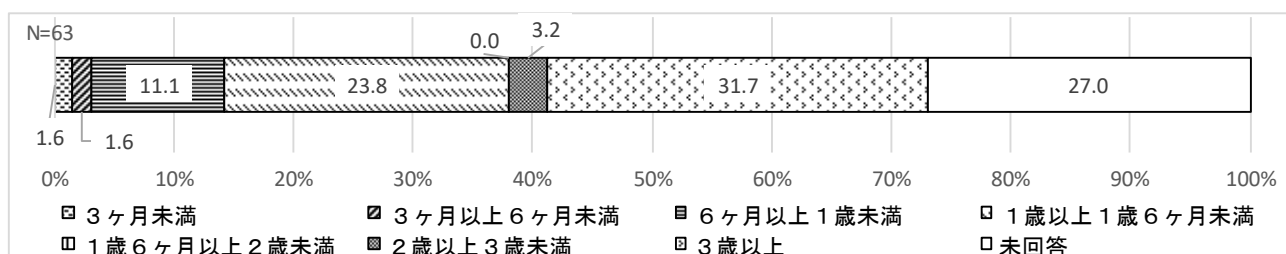
勤め先に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、育児休業取得を希望する期間は、母親では「3歳以上」(45.9%)が最も多く、次いで「2歳以上2歳6ヶ月未満」(16.0%)、「1歳以上1歳6ヶ月未満」(15.2%)の順に多くなっている。

また、父親では「3歳以上」(31.7%)が最も多く、次いで「1歳以上1歳6ヶ月未満」(23.8%)、「6ヶ月以上1歳未満」(11.1%)の順に多くなっている。

(1) 母親



(2) 父親

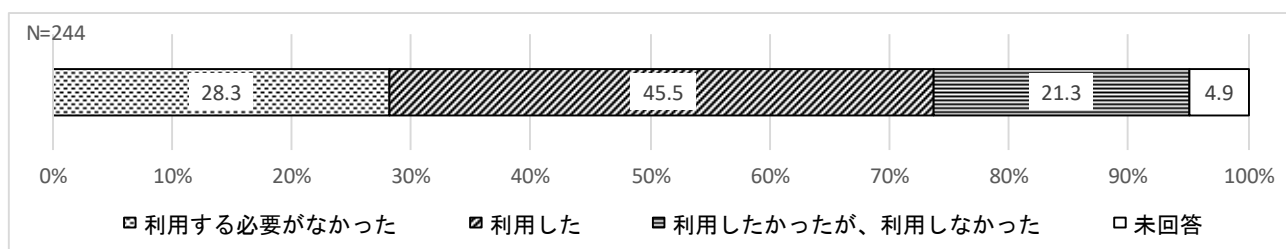


問 27-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

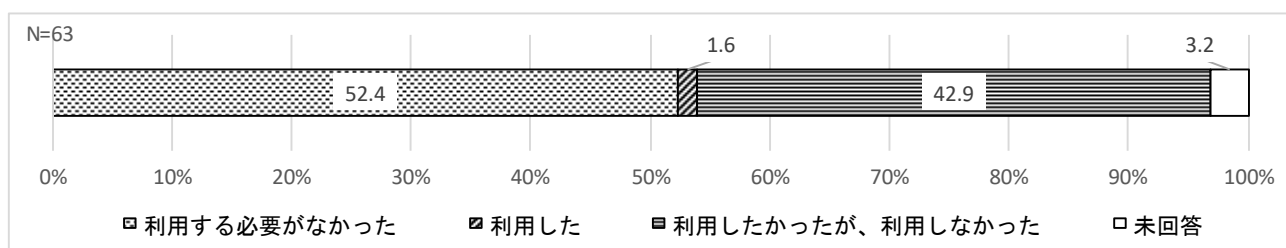
育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかどうかについては、母親では「利用した」(45.5%)が最も多く、次いで「利用する必要がなかった」(28.3%)、「利用したが、利用しなかった」(21.3%)の順に多くなっている。

また、父親では「利用する必要がなかった」(52.4%)が最も多く、次いで「利用したが、利用しなかった」(42.9%)、「利用した」(1.6%)の順となっている。

(1) 母親



(2) 父親



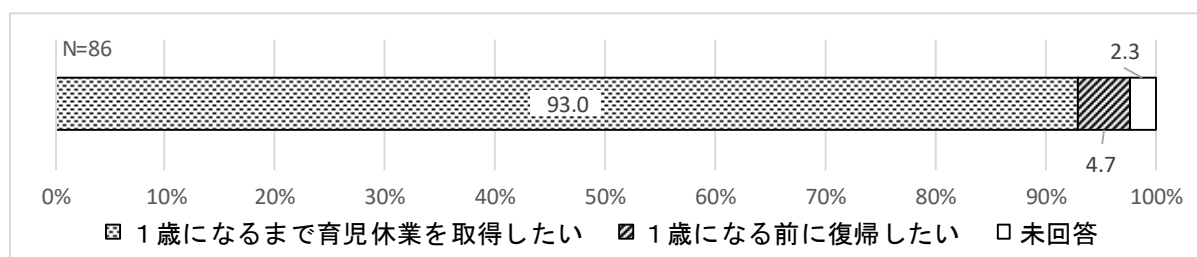
問 27-7 問 27-2 で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられるサービスがあっても1歳になる前に復帰しますか。

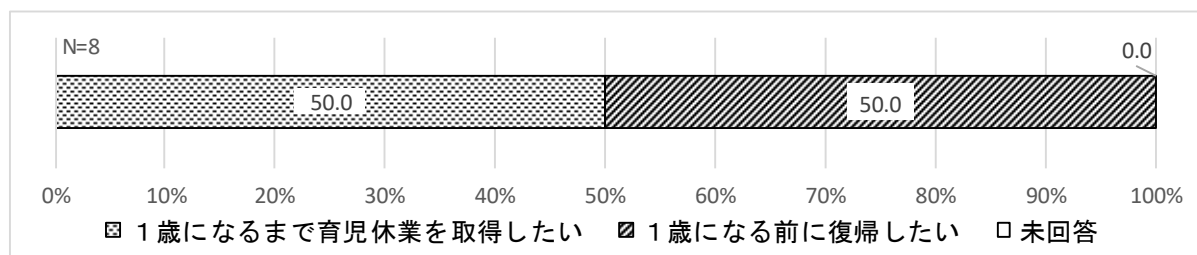
子どもが1歳になったときに必ず利用できるサービスがあれば、1歳になるまで育児休業を取得するかどうかについては、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」(93.0%)が最も多くなっている。

また、父親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」、「1歳になる前に復帰したい」が同率(8人中4人)となっている。

(1) 母親



(2) 父親

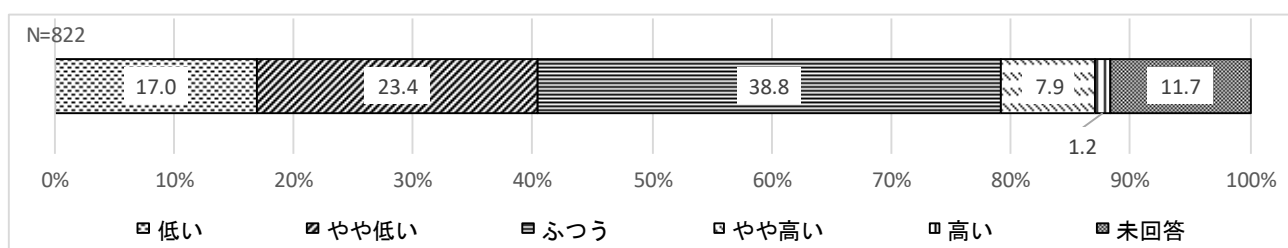


(12) 大網白里市の子育て環境や支援について

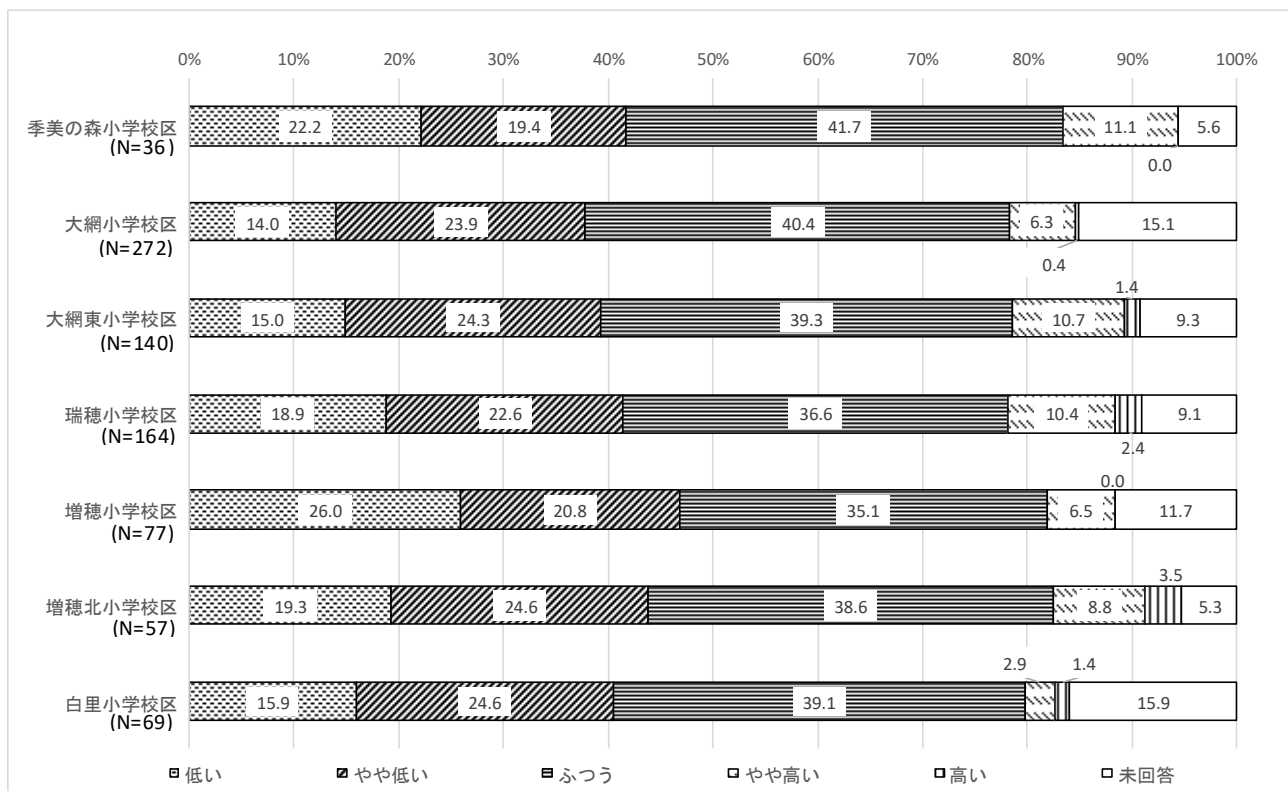
問 28 大網白里市における子育て環境や支援の満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- ・ 大網白里市における子育ての環境や支援への満足度については、「ふつう」(38.8%) が最も多くなっており、『満足度が低い』(「満足度が低い」と「やや満足度が低い」の合計) は 40.4%、『満足度が高い』(「満足度が高い」と「やや満足度が高い」の合計) は 9.1%となっている。
- ・ 居住地域別にみると、「増穂小学校区」で『満足度が低い』(46.8%) が最も多くなっており、「瑞穂小学校区」で『満足度が高い』(合計 12.8%) が最も多くなっている。

■全体

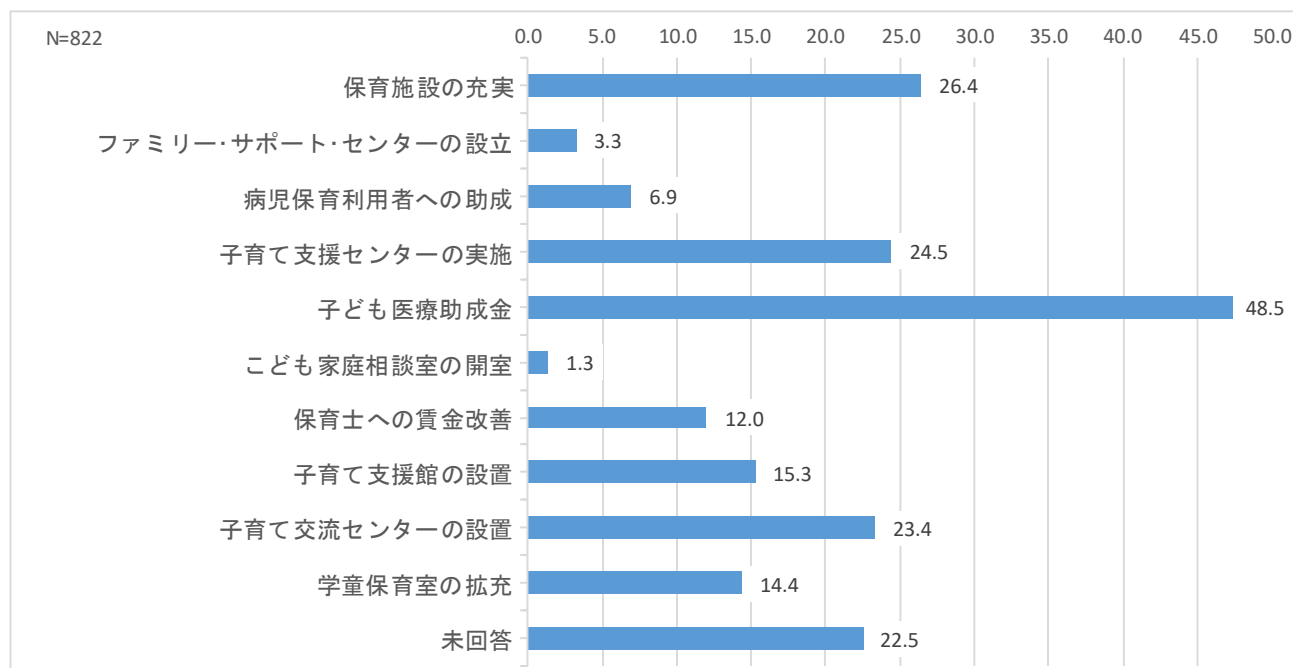


■居住地域別



問 28-1 市が行っている子育て支援施策で、評価するものをお答えください。

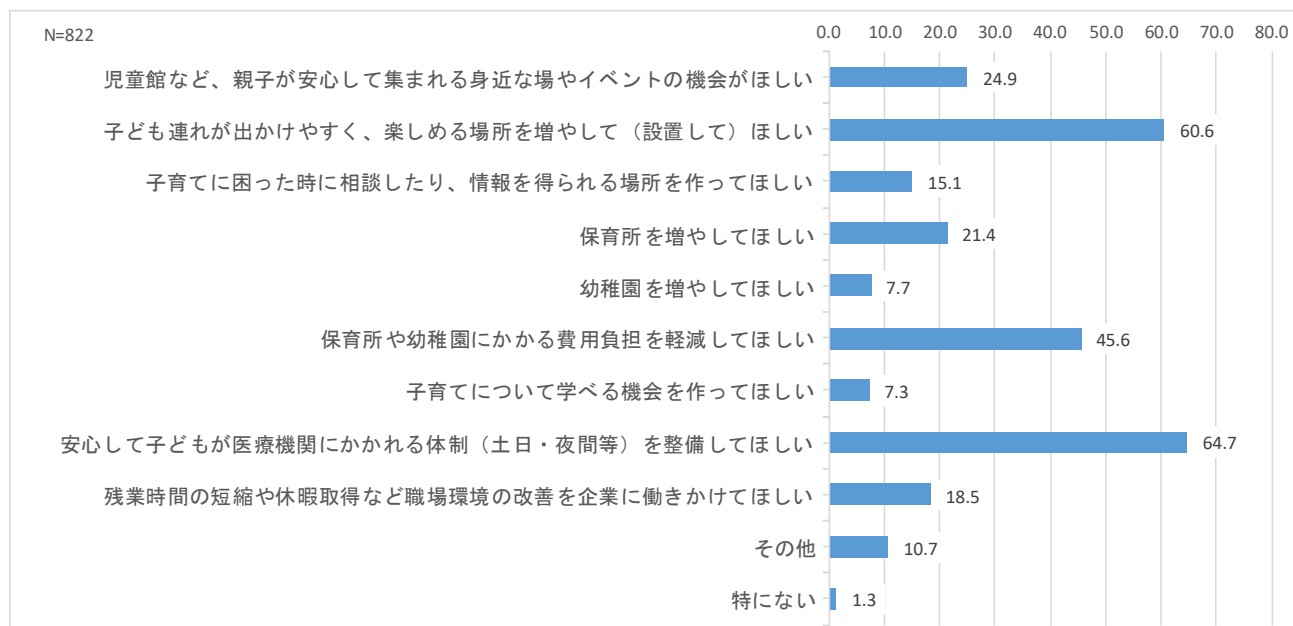
市の子育て支援施策で評価されているものについては、「子ども医療助成金」(48.5%)が最も多く、次いで「保育施設の充実」、「子育て支援センターの実施」の順に多くなっている。



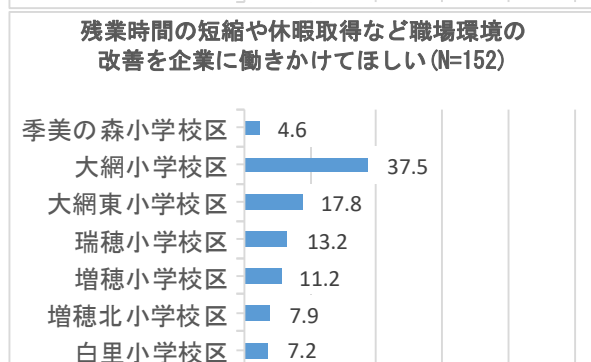
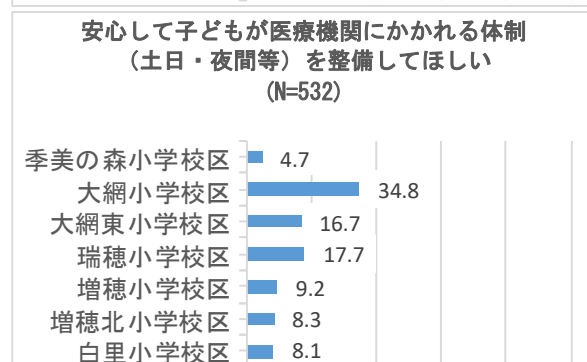
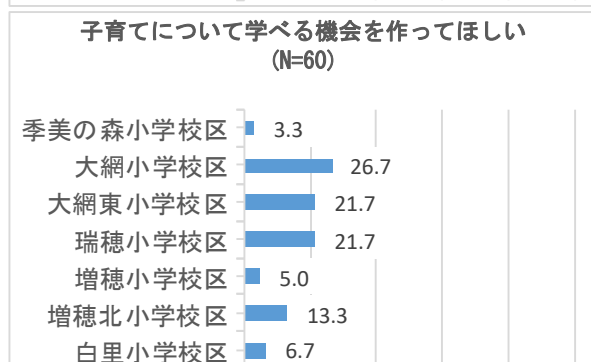
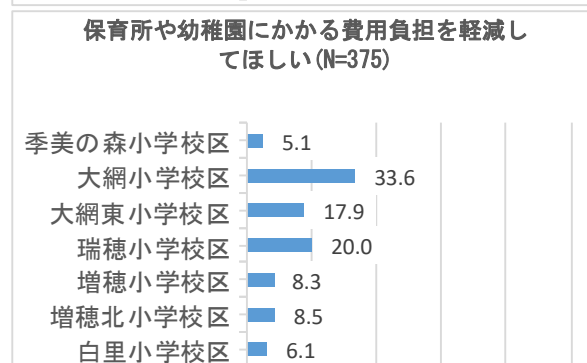
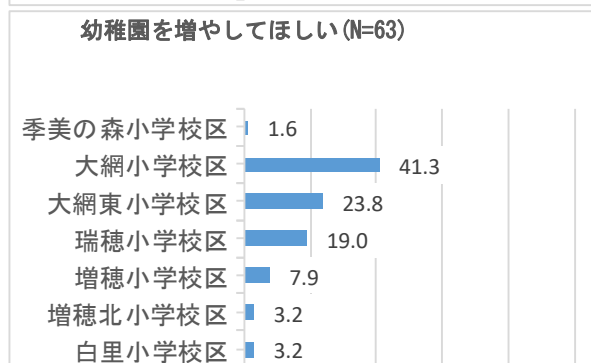
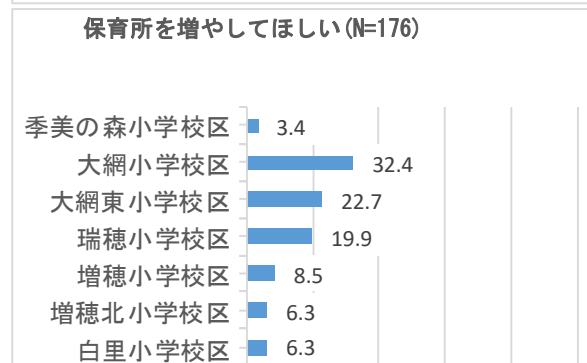
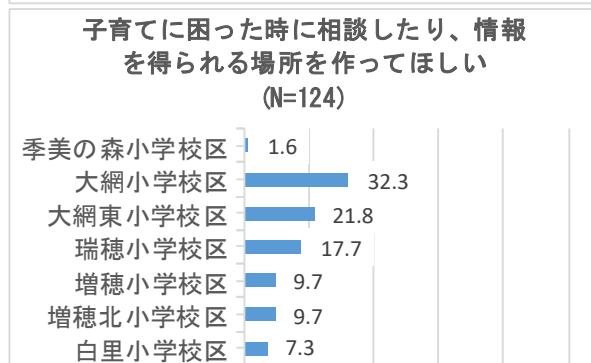
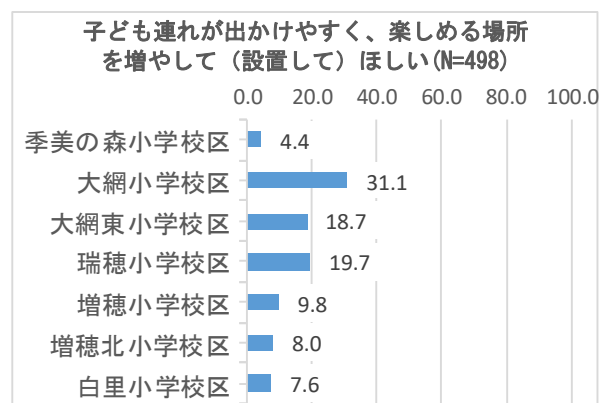
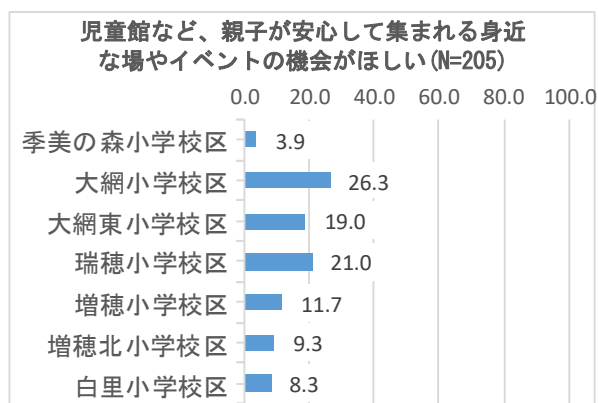
問 36-2 大網白里市に、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。

市に期待する子育て支援については、「安心して子どもが医療機関にかかる体制(土日・夜間等)を整備してほしい」(64.7%)が最も多く、次いで「子ども連れが出かけやすく、楽しめる場所を増やして(設置して)ほしい」、「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」の順となっている。

■全体



■居住地域別

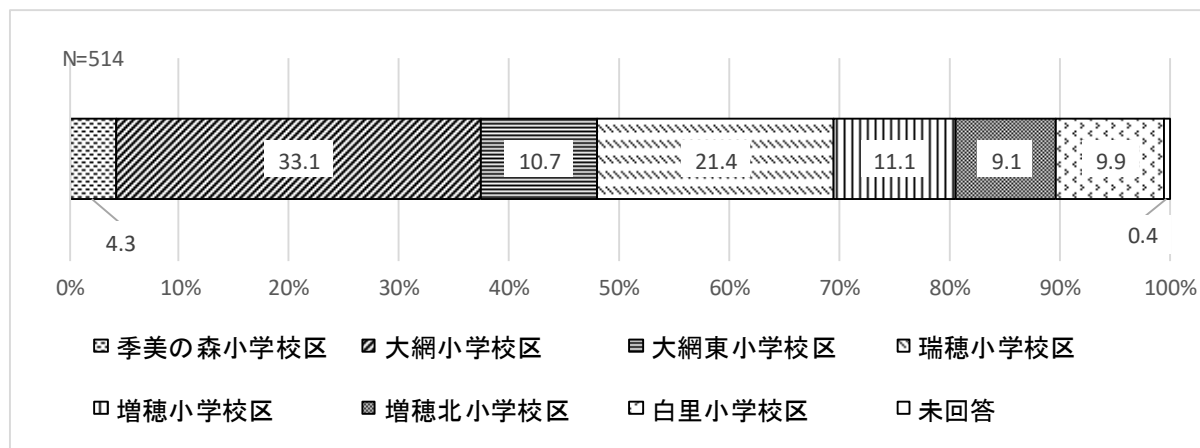


2 小学生児童の保護者

(1) お住まいの地域について

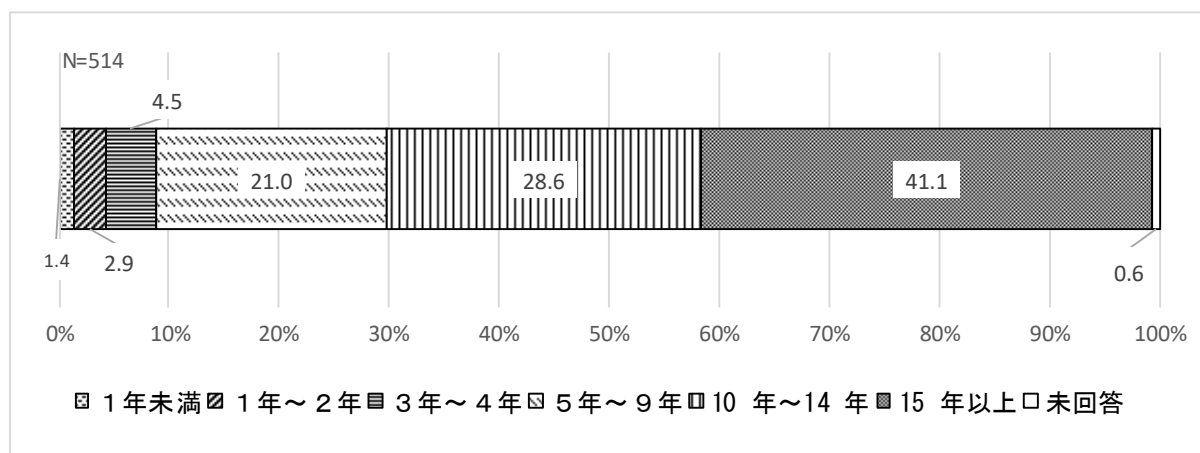
問1 お住まいの地域はどこですか。

回答者の居住地域は、「大網小学校区」(33.1%)が最も多く、次いで「瑞穂小学校区」、「増穂小学校区」の順に多くなっている。



問2 大網白里市に住んでどのくらいになりますか。

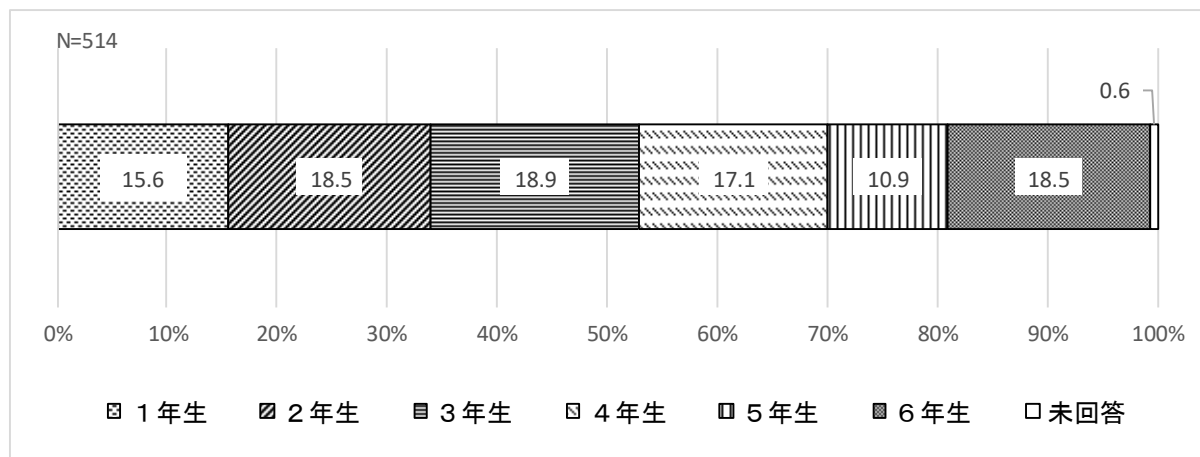
回答者の居住年数は、「15年以上」(41.1%)が最も多く、次いで「10年～14年」、「5年～9年」の順に多くなっている。



(2) お子さんご家族の状況について

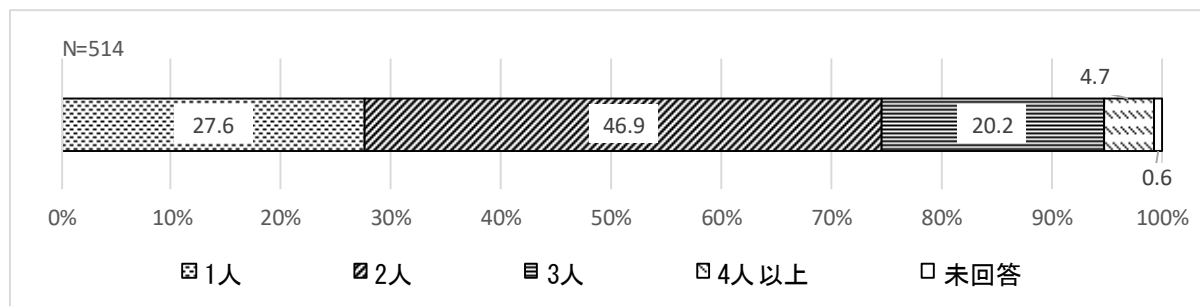
問3 宛名のお子さんの学年をご記入ください。

子どもの学年については、「3年生」(18.9%)が最も多く、次いで「2年生」、「6年生」が同率で多くなっている。



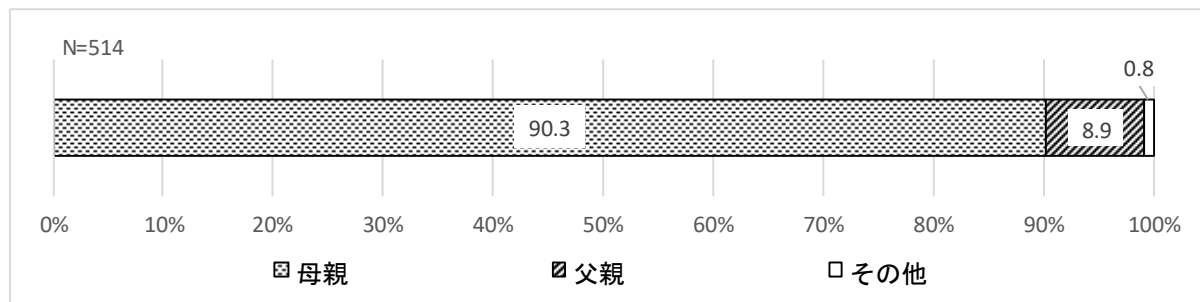
問4 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。

子どものきょうだいの人数については、「2人」(46.9%)が最も多く、次いで「1人」、「3人」の順に多くなっている。



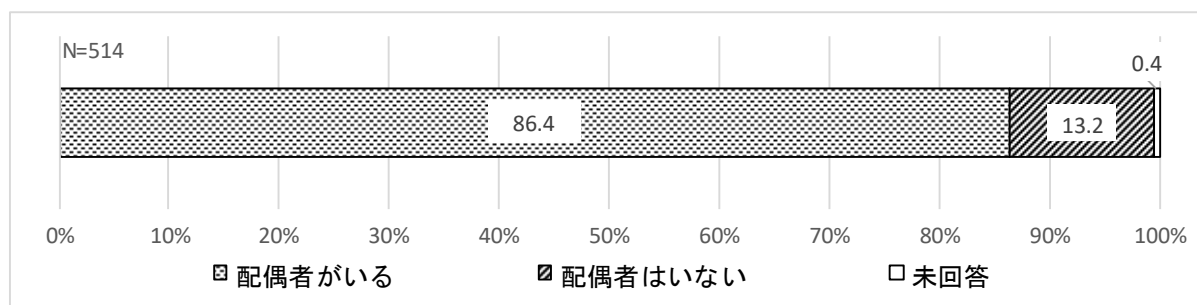
問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。

回答者の続柄は、「母親」が90.3%、「父親」が8.9%、「その他」が0.8%となっている。



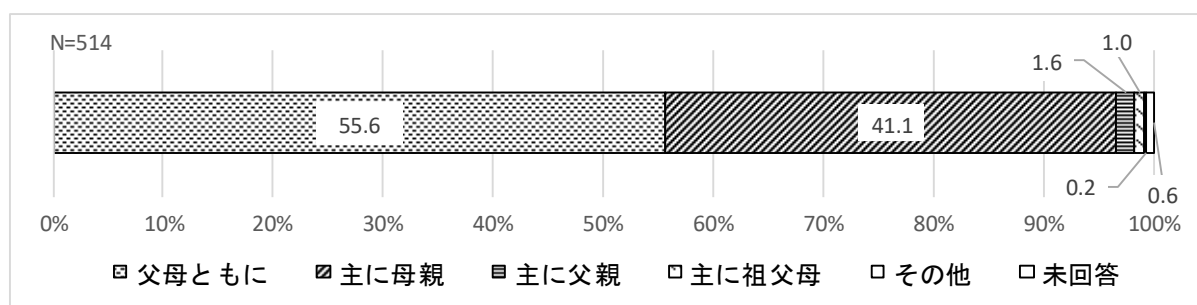
問6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が86.4%、「配偶者はいない」が13.2%となっている。



問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

子育てを主に行っているのは、「父母ともに」（55.6%）が最も多く、次いで「主に母親」、「主に父親」の順に多くなっている。

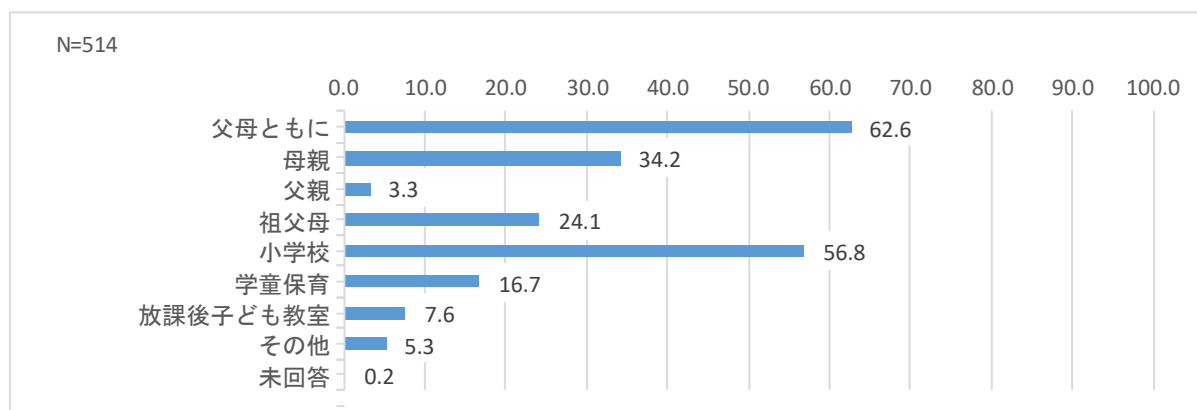


（3）子どもの育ちをめぐる環境について

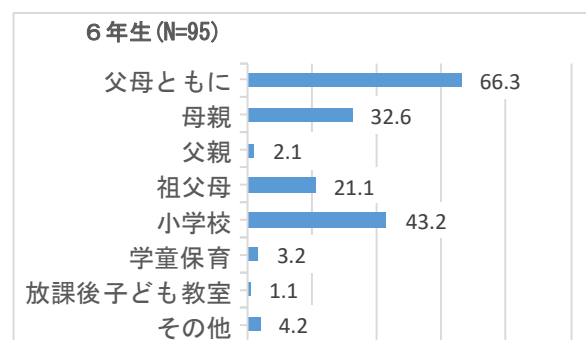
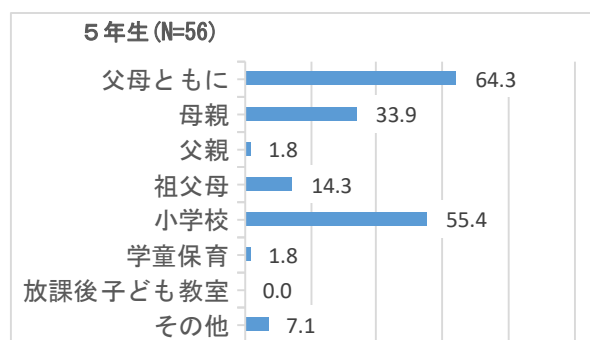
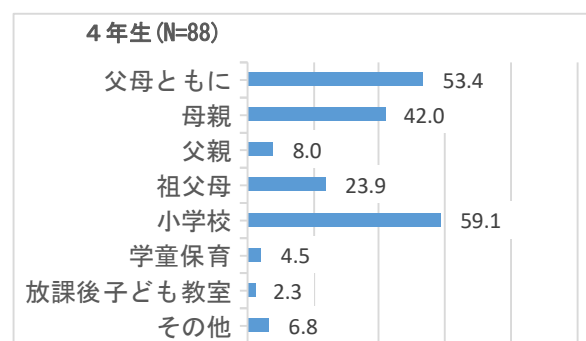
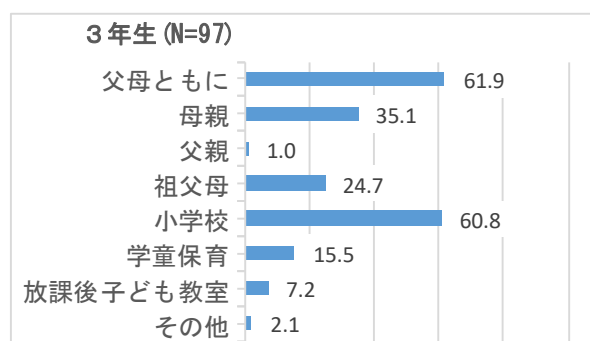
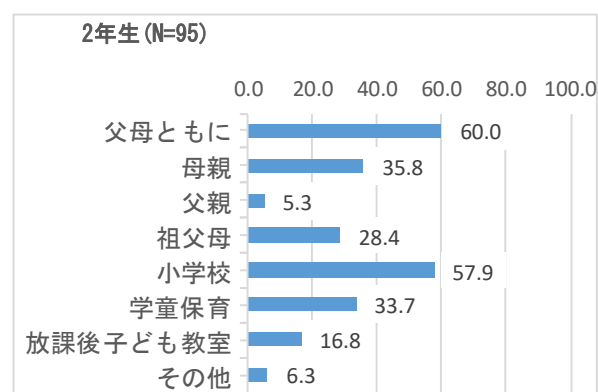
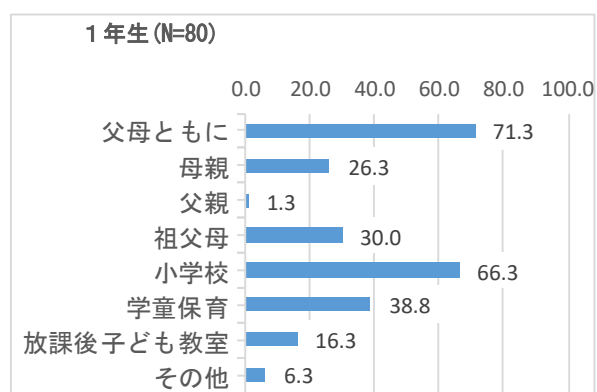
問8 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- ・ 子育てに日常的に関わっているのは、全体では「父母ともに」（62.6%）が最も多く、次いで「小学校」、「母親」の順に多くなっている。
- ・ 1年生では、「父母ともに」（71.3%）が最も多く、次いで「小学校」、「学童保育」の順に多くなっている。
- ・ 2年生では、「父母ともに」（60.0%）が最も多く、次いで「小学校」、「母親」の順に多くなっている。
- ・ 3年生では、「父母ともに」（61.9%）が最も多く、次いで「小学校」、「母親」の順に多くなっている。

■全体

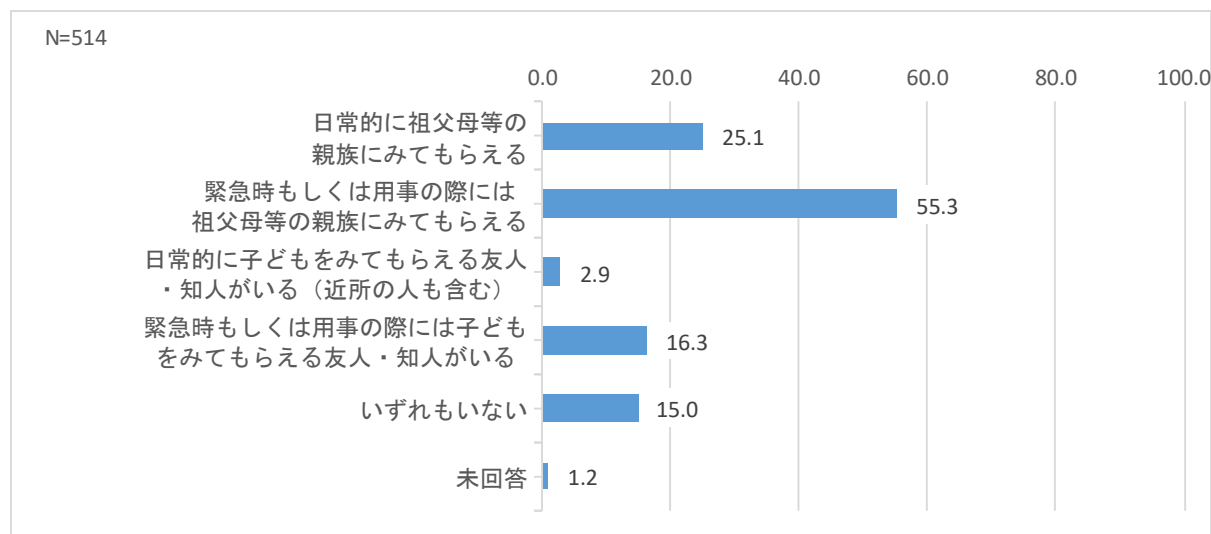


■学年別



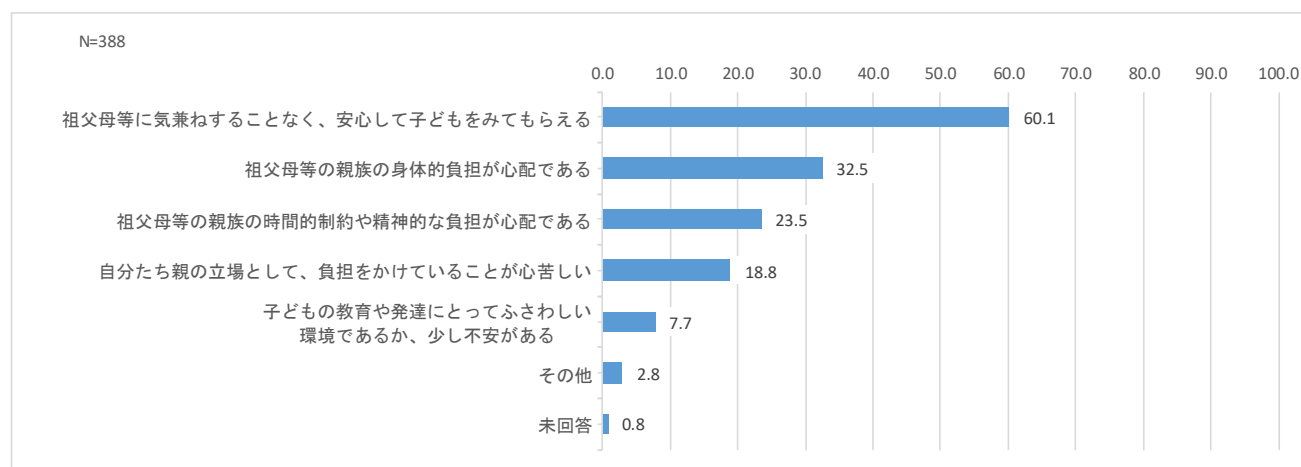
問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人に関しては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(55.3%)が最も多くなっている。



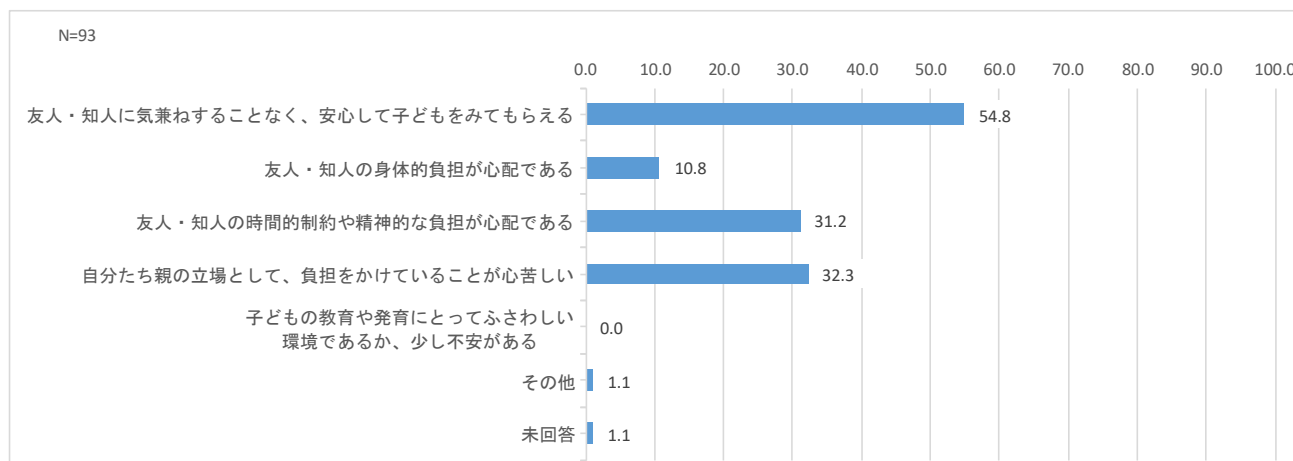
問9-1 問9で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等に気兼ねすることなく、安心して子どもをみてもらえる」(60.1%)が最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」の順に多くなっている。



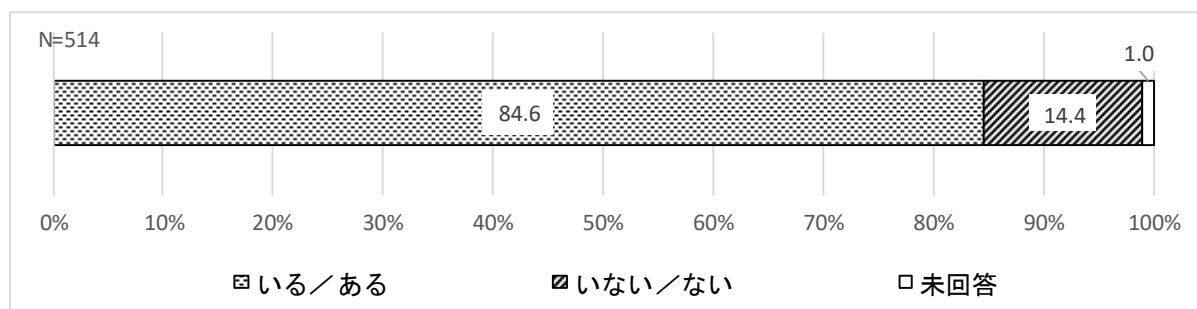
問9-2 問9で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる(近所の人も含む)」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人(近所の人も含む)にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

友人・知人(近所の人も含む)にお子さんをみてもらっている状況については、「友人・知人に気兼ねすることなく、安心して子どもをみてもらえる」(54.8%)が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が心配である」の順に多くなっている。



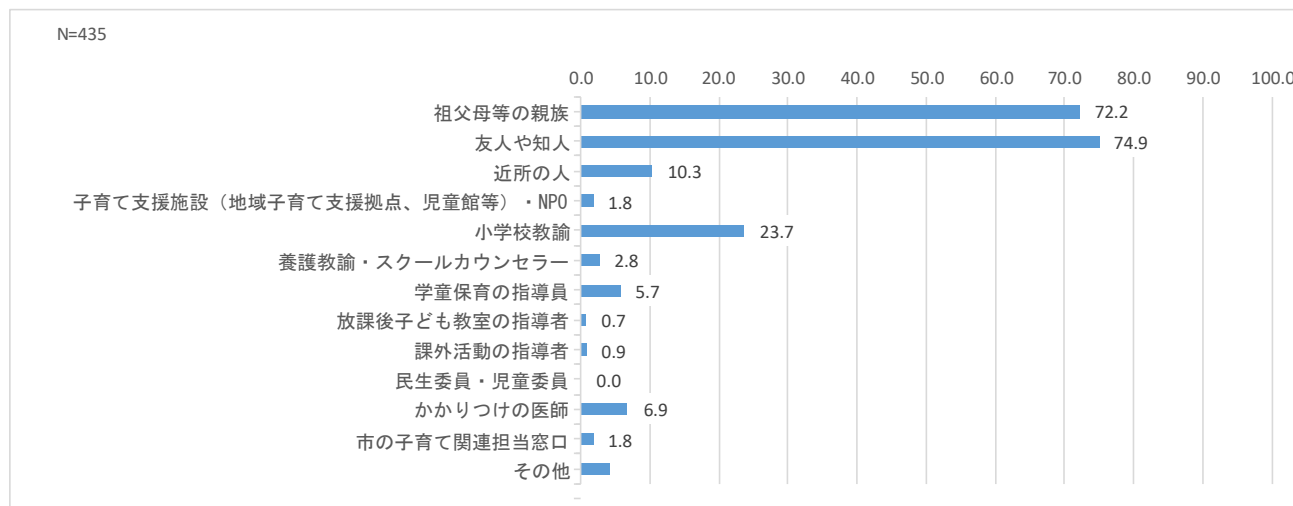
問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる先については、「いる／ある」が84.6%、「いない／ない」が14.4%となっている。



問 10-1 問 10 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

子育てに関して、気軽に相談できる先については、「友人や知人」（74.9%）が最も多く、次いで「祖父母等の親族」、「小学校教諭」の順に多くなっている。

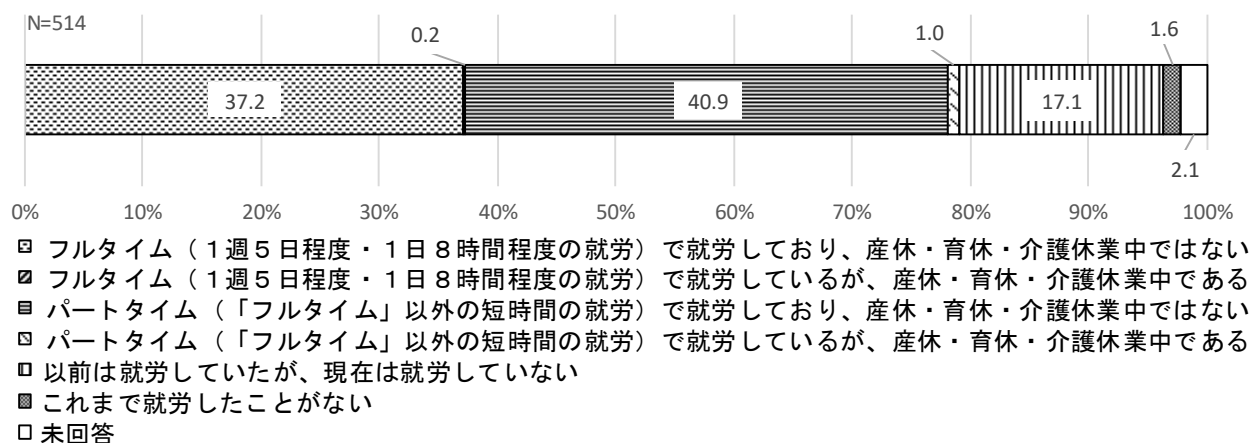


(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 11 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

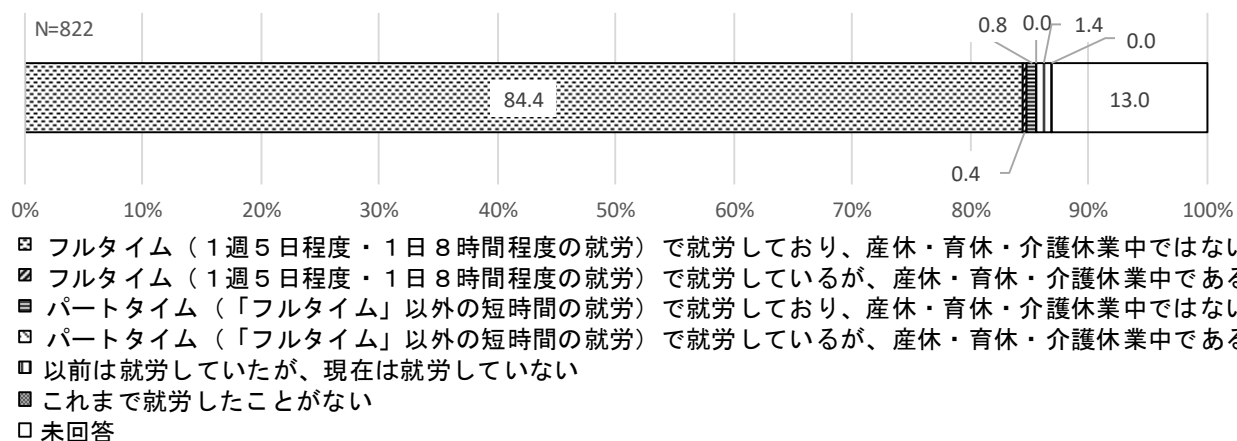
(1) 母親

現在の就労状況については、「パートタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(40.9%) が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(37.2%) が多くなっている。



(2) 父親

現在の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(84.4%) が最も多くなっている。

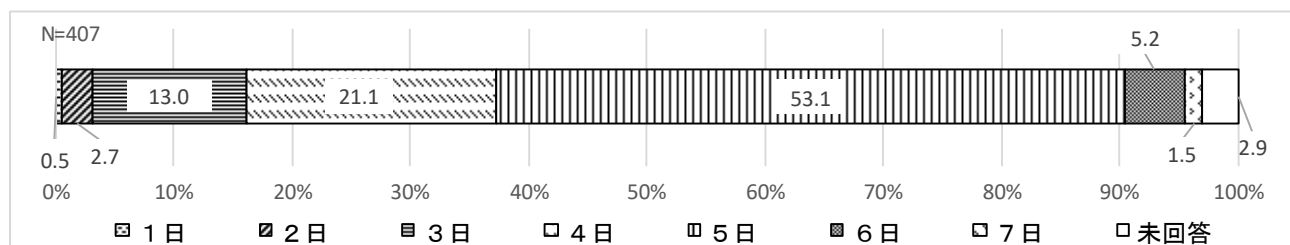


問 11-1 問 11 で「就労している」に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

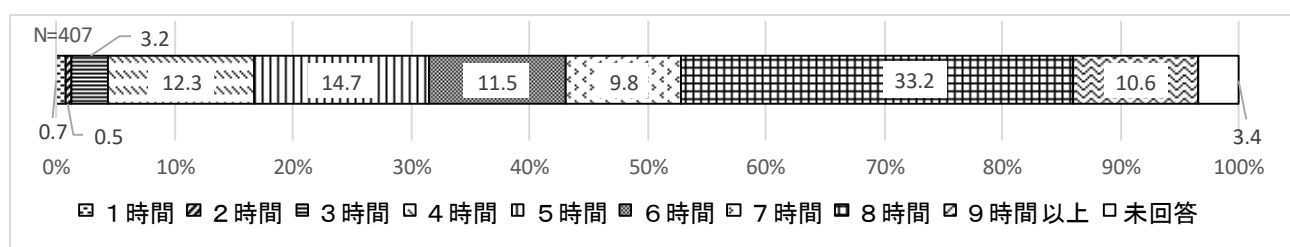
(1) 母親

週当たりの就労日数は「5 日」(53.1%) が最も多く、次いで「4 日」が多くなっている。
1 日当たりの就労時間は「8 時間」(33.2%) が最も多くなっている。

■週当たりの就労日数



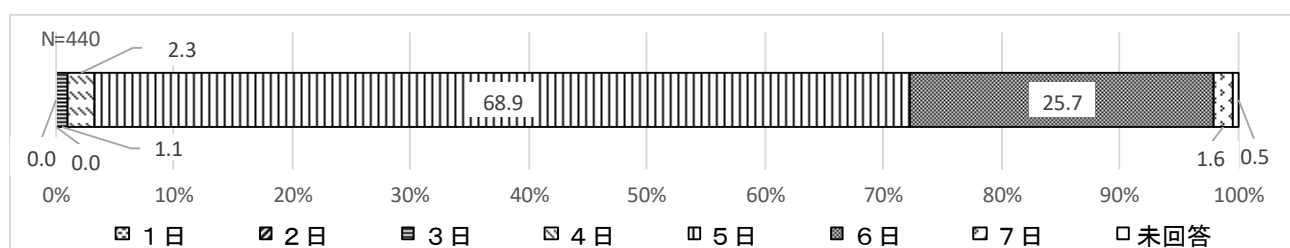
■1 日当たりの就労時間



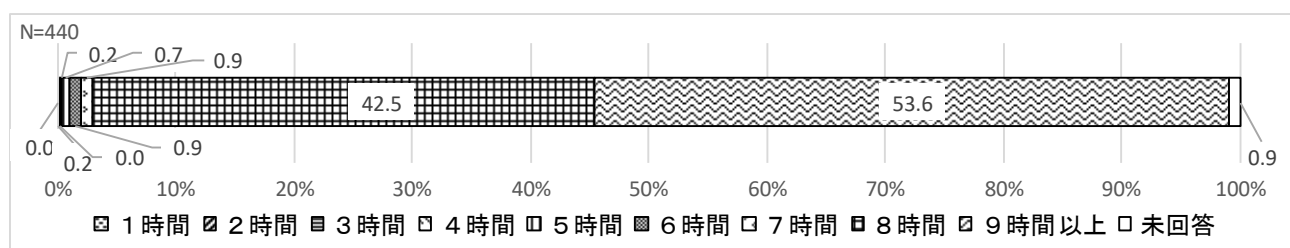
(2) 父親

週当たりの就労日数は「5 日」(68.9%) が最も多く、次いで「6 日」が多くなっている。
1 日当たりの就労時間は「9 時間以上」(53.6%) が最も多くなっている。

■週当たりの就労日数



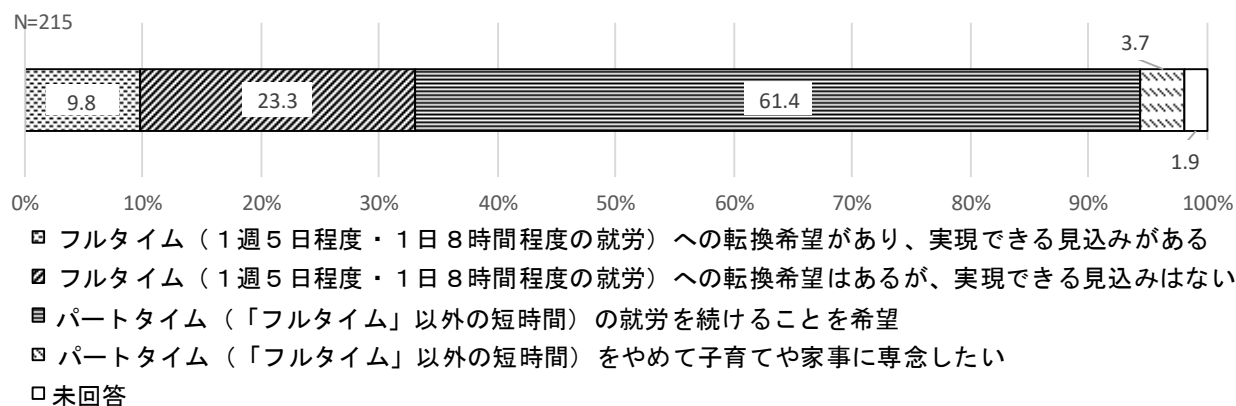
■1 日当たりの就労時間



問 12 問 11 で「パートタイムで就労している」に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親

フルタイムへの転換希望については、「パートタイムの就労を続けることを希望」(61.4%) が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が多くなっている。



(2) 父親

現在パートタイムで就労中の方4人のうち、フルタイムへの転換希望があるかについては、2人が「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答している。

※以下、回答数が少ないため、グラフ省略

N=4

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」

2 票

「パートタイム（「フルタイム」以外の短時間）をやめて

子育てや家事に専念したい」

1 票

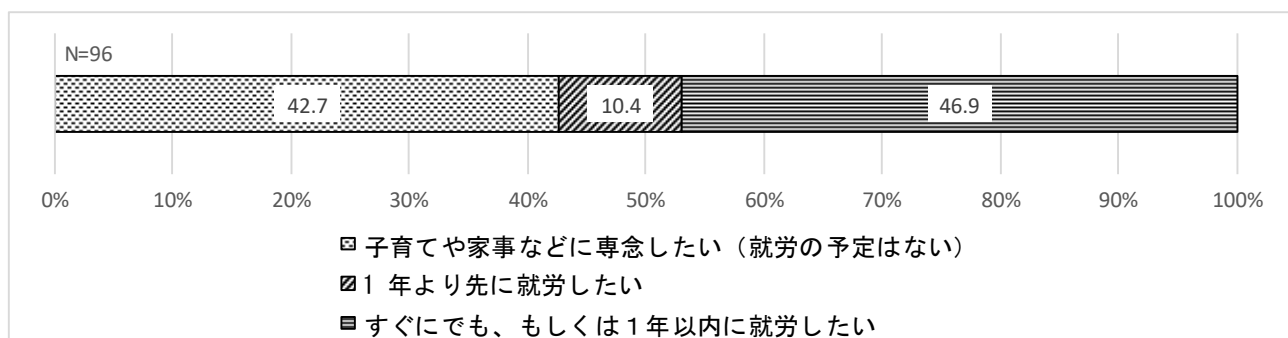
未回答

1 票

問 13 問 11 で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。

(1) 母親

- ・ 現在就労していない方の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(46.9%) が最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が多くなっている。
- ・ 1年より先に就労したい場合、一番下の子どもが何歳になったところに就労したいかについては、全員が「10歳以上」と回答している。
- ・ 希望する就労形態は、1人が「未回答」であった外、全員が「パートタイム」と回答している。
- ・ 週当たりの希望就労日数は「3日」(34.5%) が最も多く、次いで「4日」、「2日」の順に多くなっている。
- ・ 1日当たりの希望就労時間は「5時間」(29.1%) が最も多く、次いで「4時間」、「6時間」の順に多くなっている。



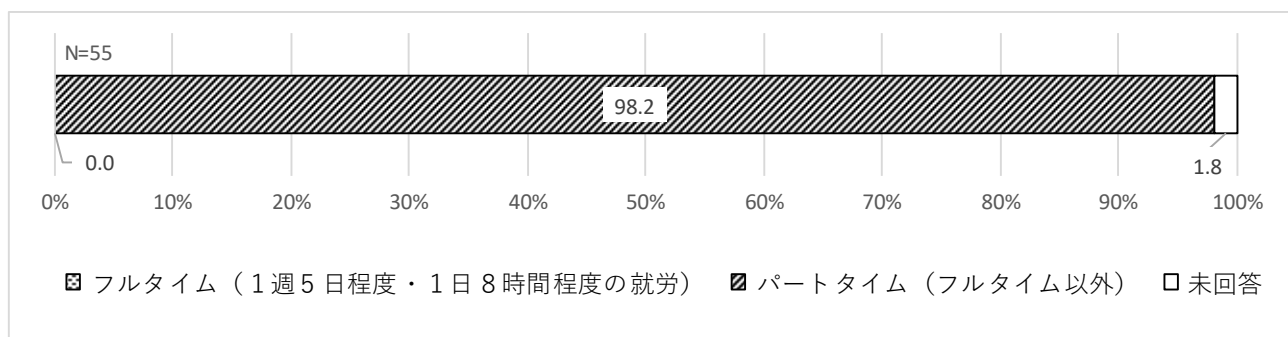
■ 一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか

※以下、回答数が少ないため、グラフ省略
「10歳以上」

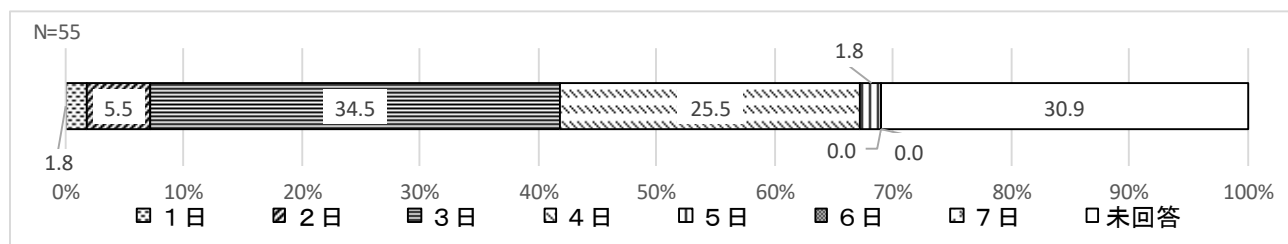
N=10

10票

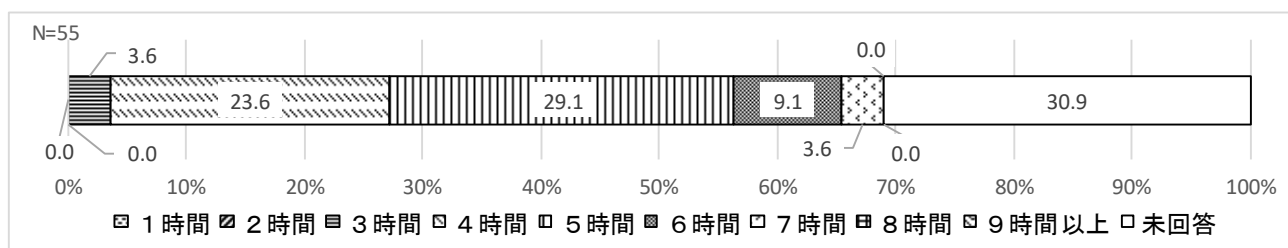
■ 希望する就労形態



■週当たりの希望就労日数



■1日当たりの希望就労時間



(2) 父親

- ・ 現在就労していない方の就労希望については、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が多くなっている。
- ・ 希望する就労形態は、全員が「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」と回答している。

※以下、回答数が少ないため、グラフ省略

N=7

「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」

4票

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」

2票

未回答

1票

■希望する就労形態

※以下、回答数が少ないため、グラフ省略

N=2

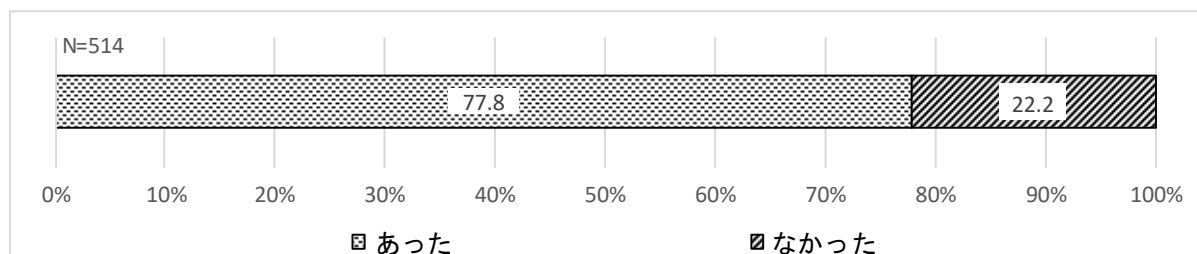
「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」

2票

（５） お子さんの病気の際の対応について

問 14 この１年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

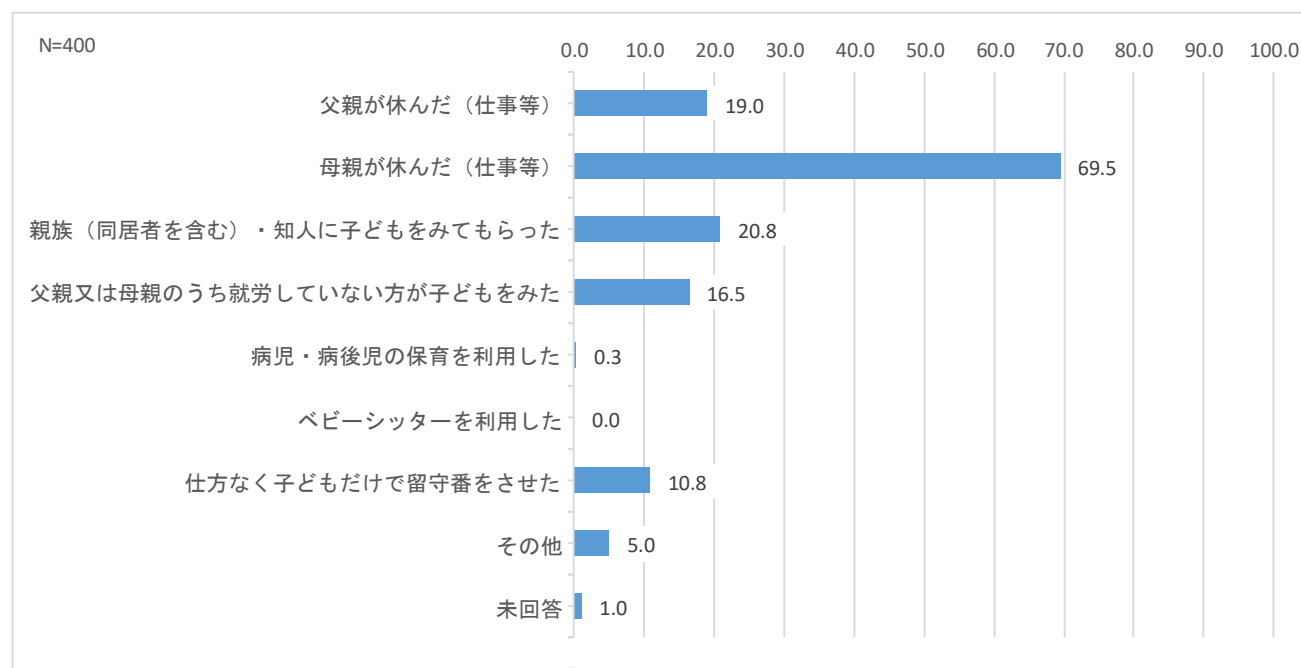
子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことがあるかどうかについては、「あった」が 77.8%、「なかった」が 22.2%となっている。



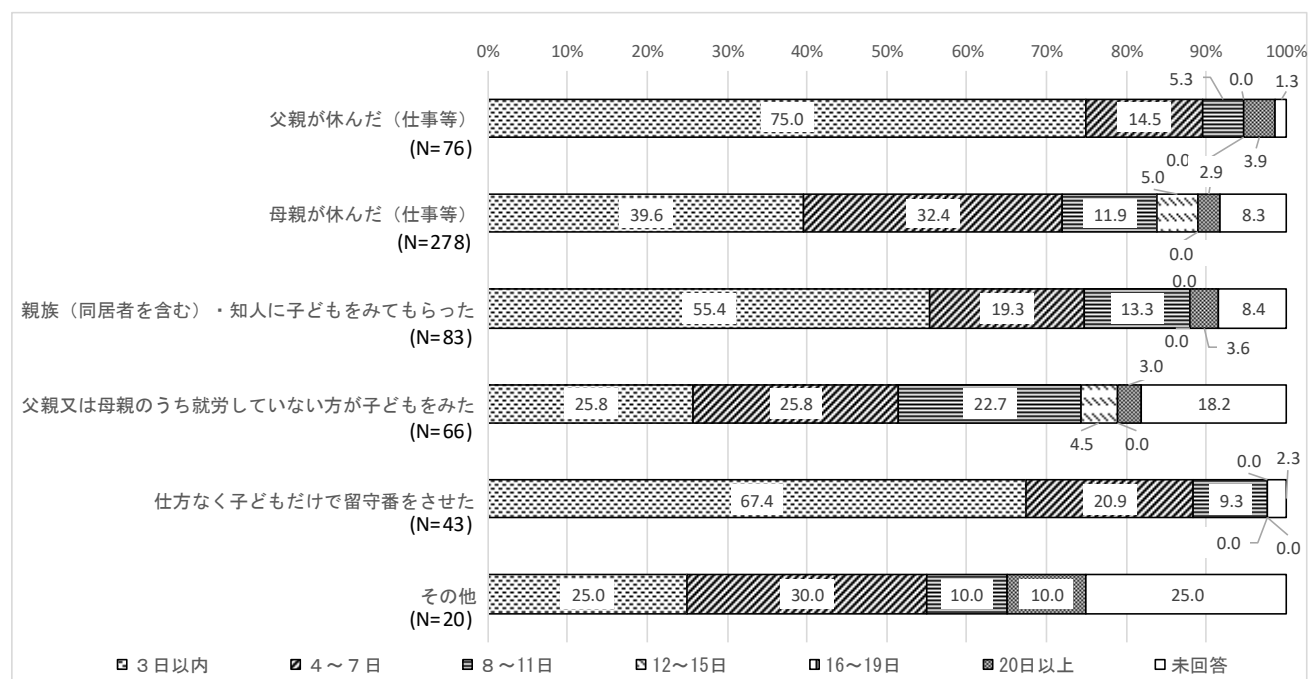
問 14-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

- 子どもが病気やケガで学校を休んだ場合に、この１年間で行った対処方法は、「母親が休んだ（仕事等）」（69.5%）が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」、「父親が休んだ」の順に多くなっている。
- 対処方法別の日数は、「母親が休んだ（仕事等）」では、「３日以内」（39.6%）が最も多く、次いで「４～７日」が多くなっている。「親族（同居者を含む）・知人に子どもをみてもらった」では「３日以内」（55.4%）が最も多く、次いで「４～７日」が多くなっている。「父親が休んだ（仕事等）」では、「３日以内」（75.0%）が最も多く、次いで「４～７日」が多くなっている。

■ １年間の対処方法



■対処方法別の日数（年間）



※以下、回答数が少ないため、グラフ省略

病児・病後児の保育を利用した（N=1）

「3日以内」

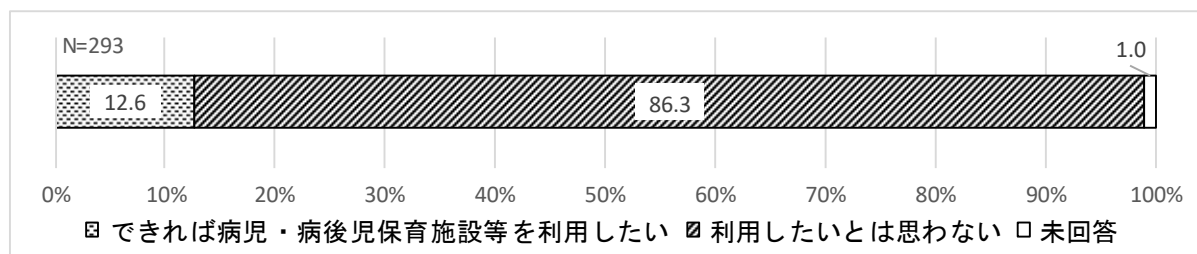
1票

ベビーシッターを利用した

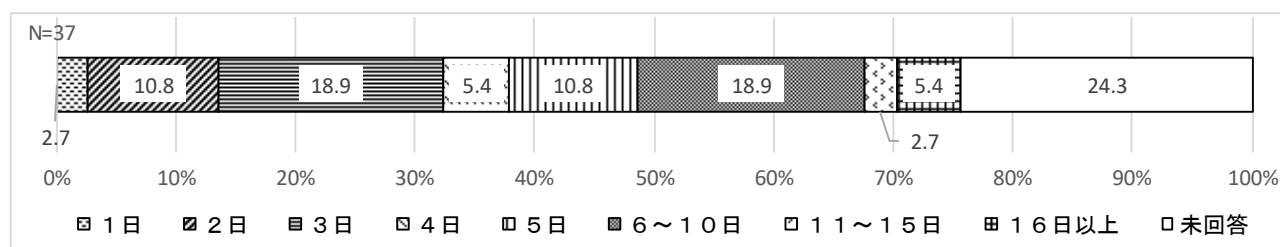
回答なし

問 14-2 問 14-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」に○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

子どもが病気やケガで学校を休んだ場合に、父親あるいは母親が休んだという回答者のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 12.6%、「利用したいとは思わない」が 86.3%となっている。

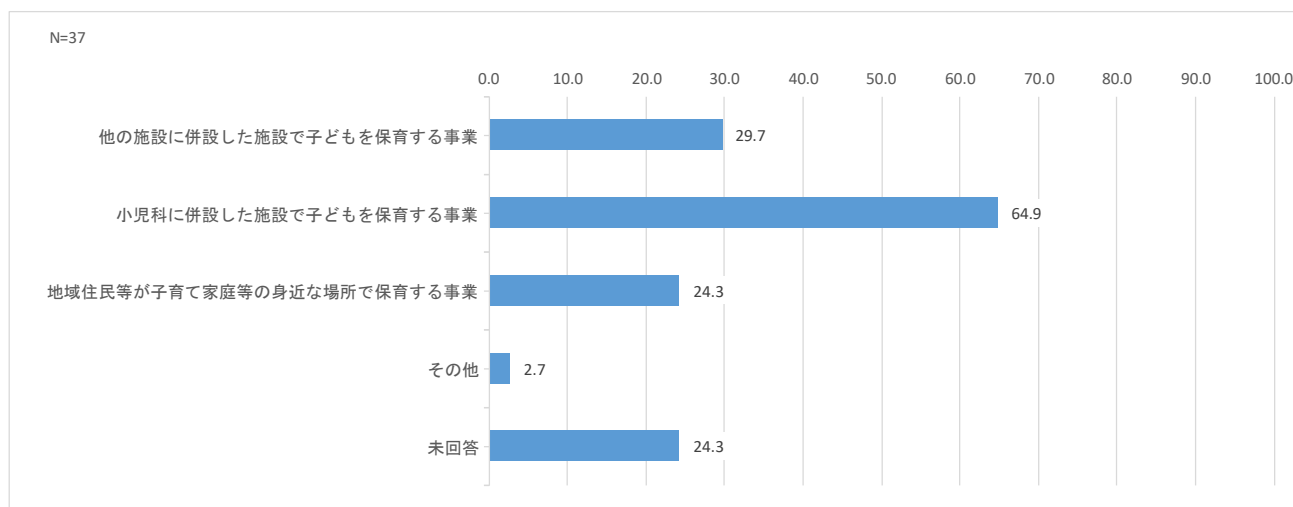


■希望利用日数



問 14-3 問 14-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。

望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(64.9%)が最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が多くなっている。

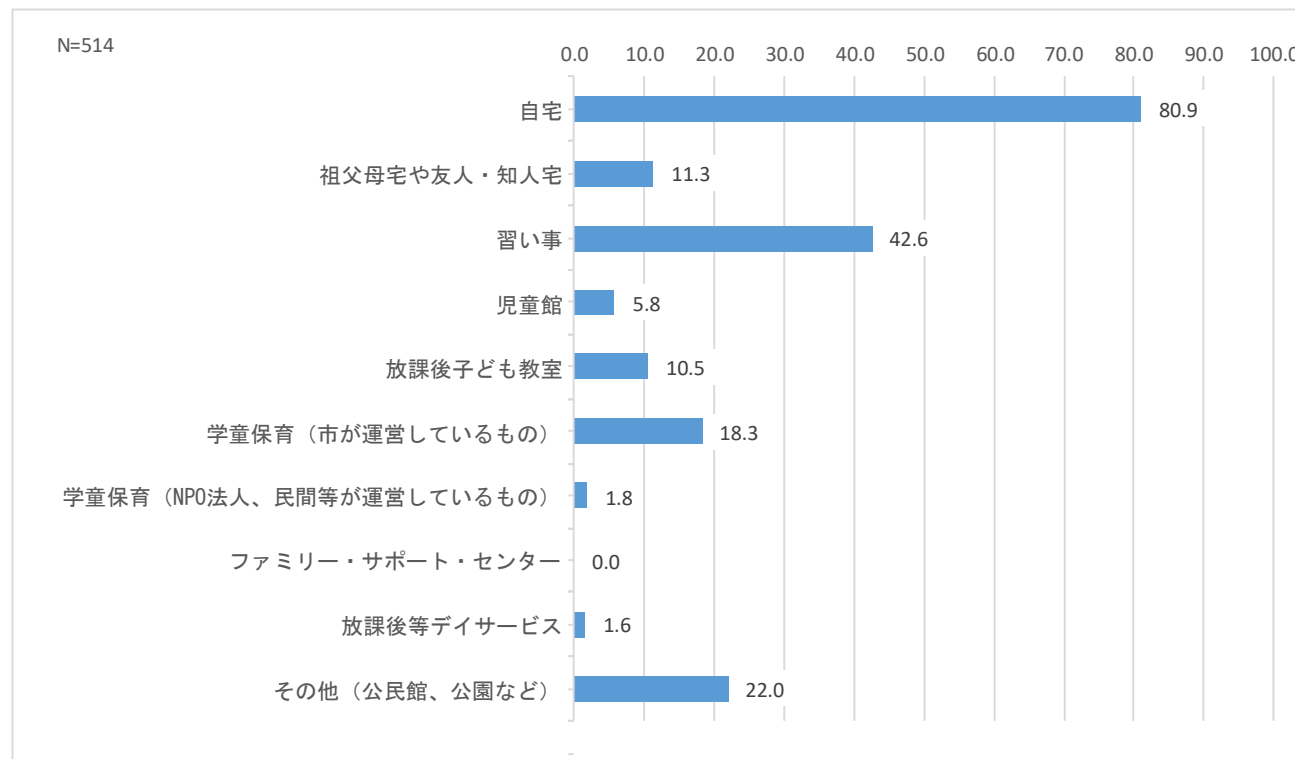


（６） お子さんの放課後の過ごし方について

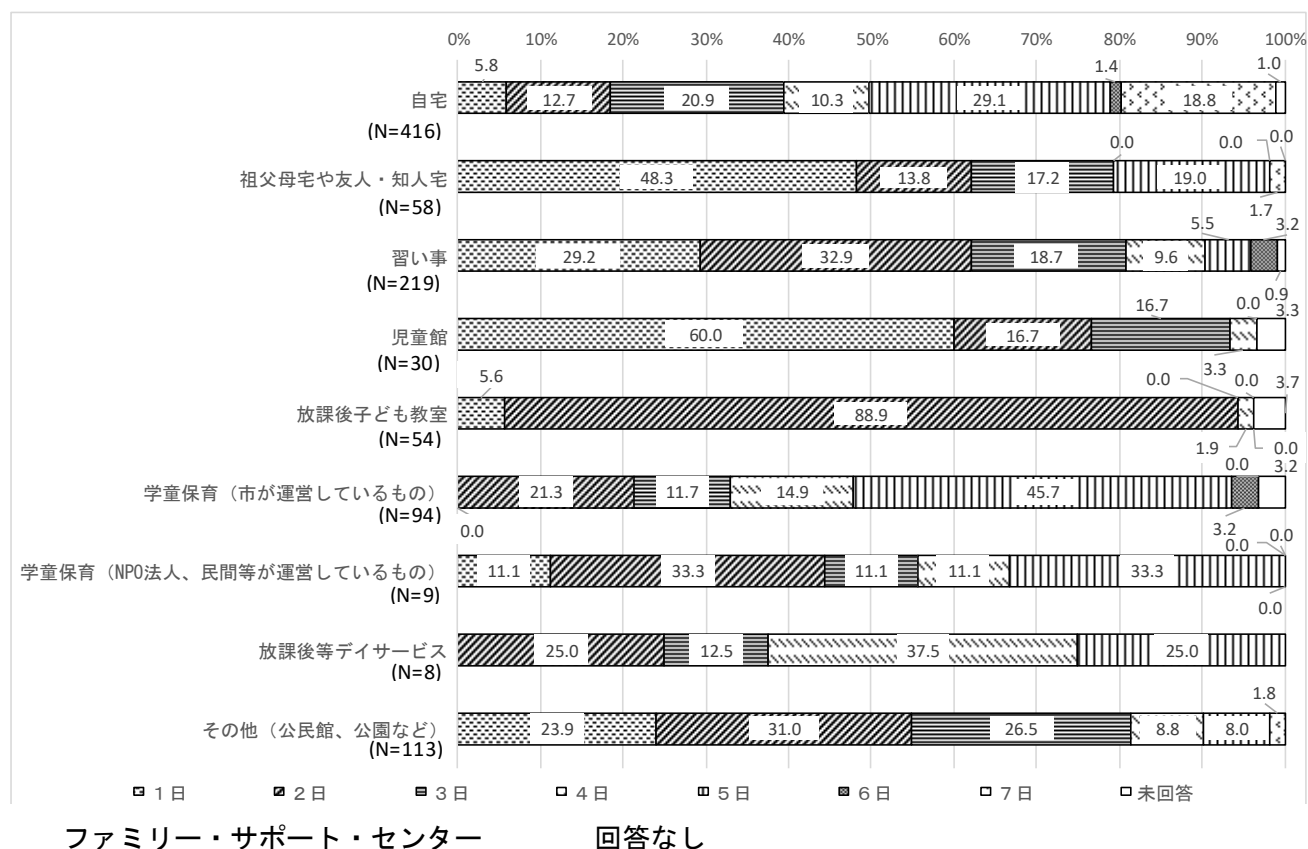
問 15 宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。

- ・ 子どもが放課後の時間を過ごしている場所は、「自宅」（80.9%）が最も多く、次いで「習い事」（42.6%）、「その他（公民館、公園など）」（22.0%）の順に多くなっている。
- ・ 自宅で過ごす日数は、週当たり「５日」（29.1%）が最も多く、次いで「３日」（20.9%）が多くなっている。
- ・ 習い事の日数は、週当たり「２日」（32.9%）が最も多く、次いで「１日」（29.2%）が多くなっている。
- ・ その他（公民館、公園など）で過ごす日数は、週当たり「２日」（31.0%）が最も多く、次いで「３日」（26.5%）が多くなっている。
- ・ 居住地域別にみると、すべての地域で「自宅」が最も多くなっている。また、すべての地域で「学童保育（市が運営しているもの）」に次いで「習い事」が多くなっている。
- ・ 学年別にみると、すべての地域で「自宅」が最も多くなっている。また、１～２年生で「自宅」に次いで「学童保育（市が運営しているもの）」が多く、３～６年生で「習い事」が多くなっている。

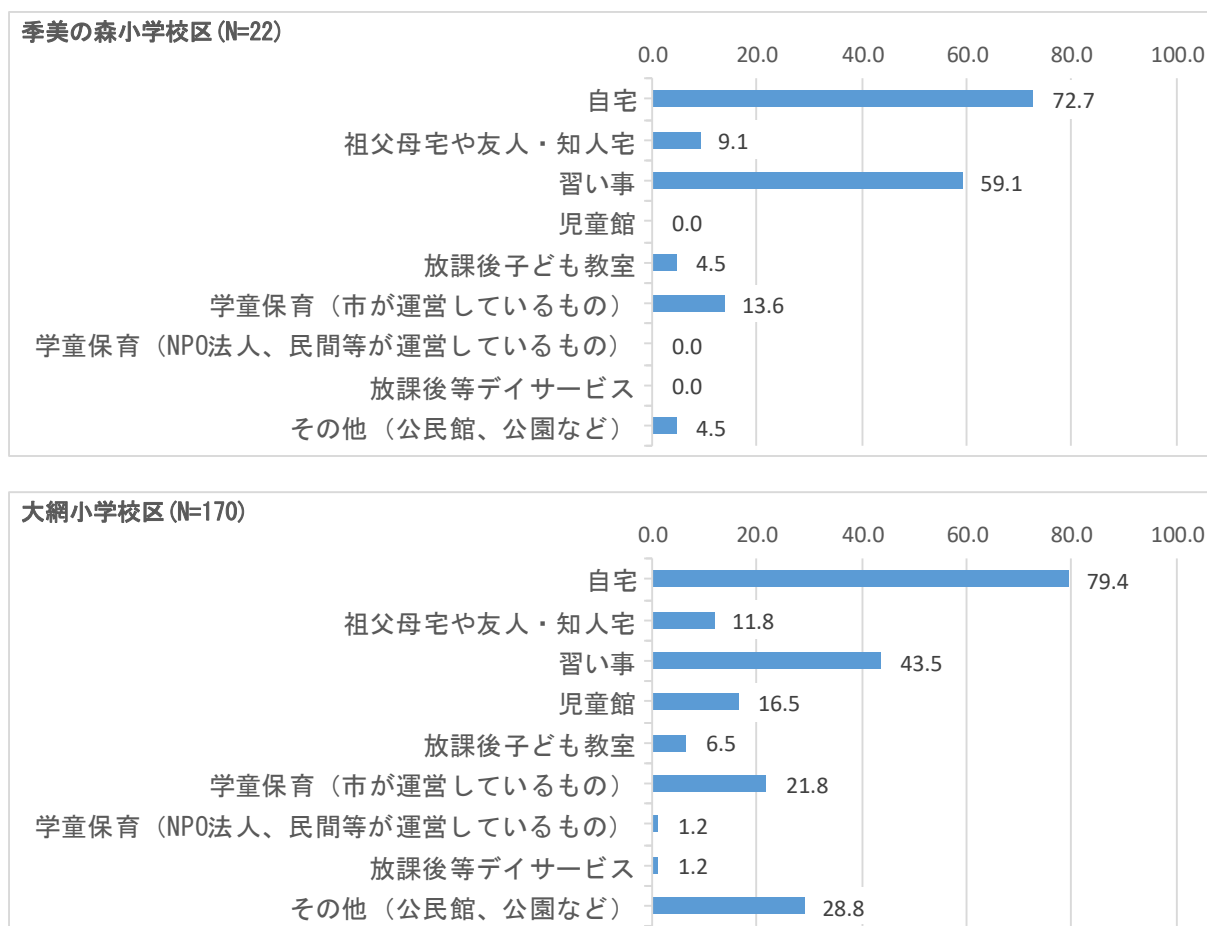
■放課後過ごしている場所



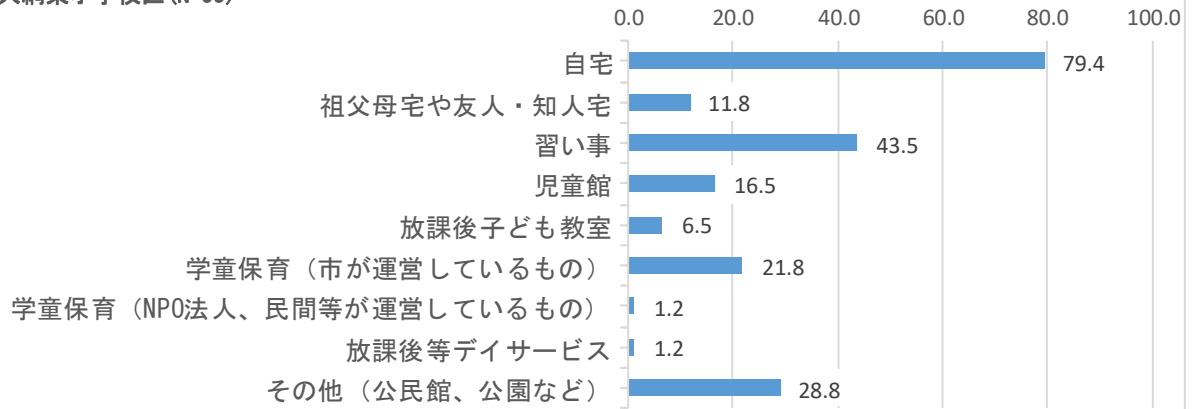
■週当たりの日数



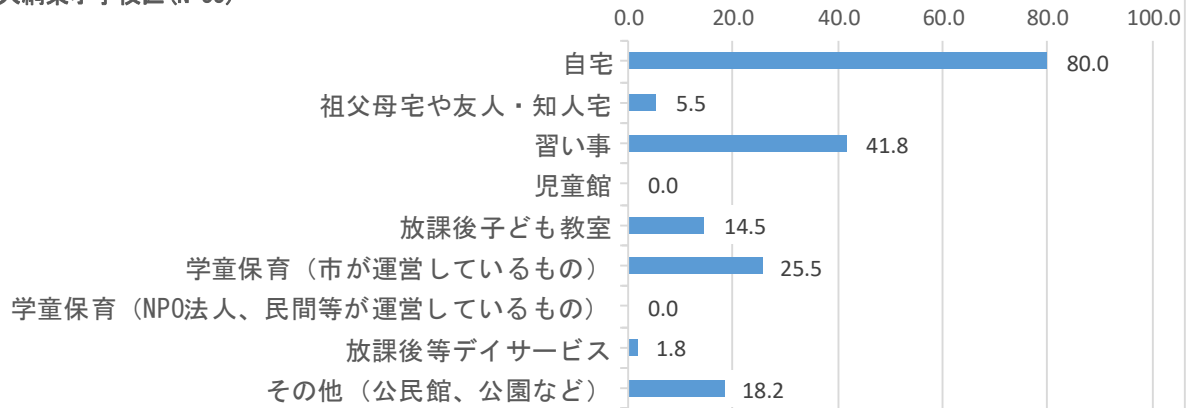
■居住地域別



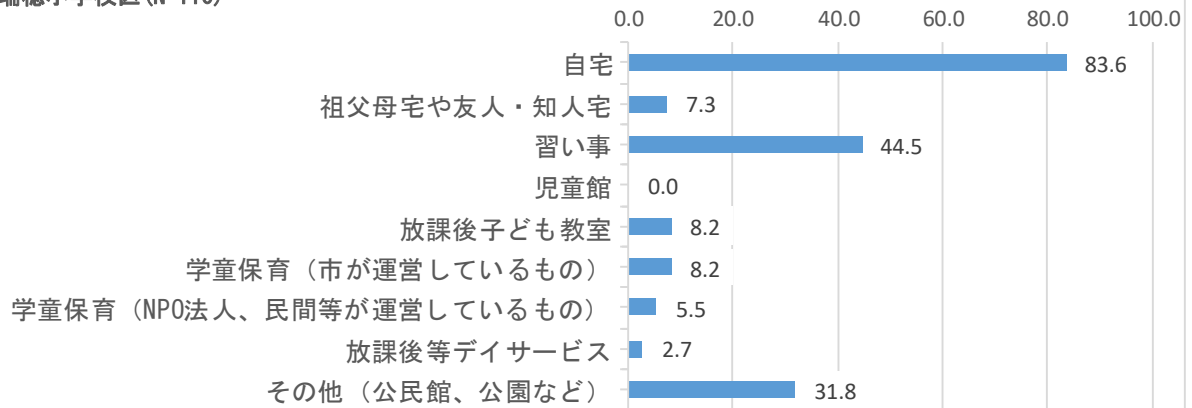
大網東小学校区 (N=55)



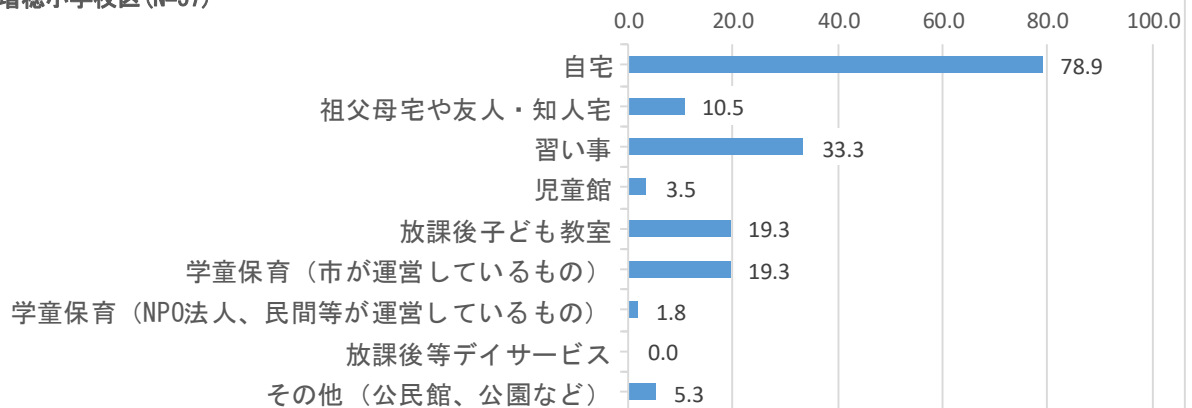
大網東小学校区 (N=55)

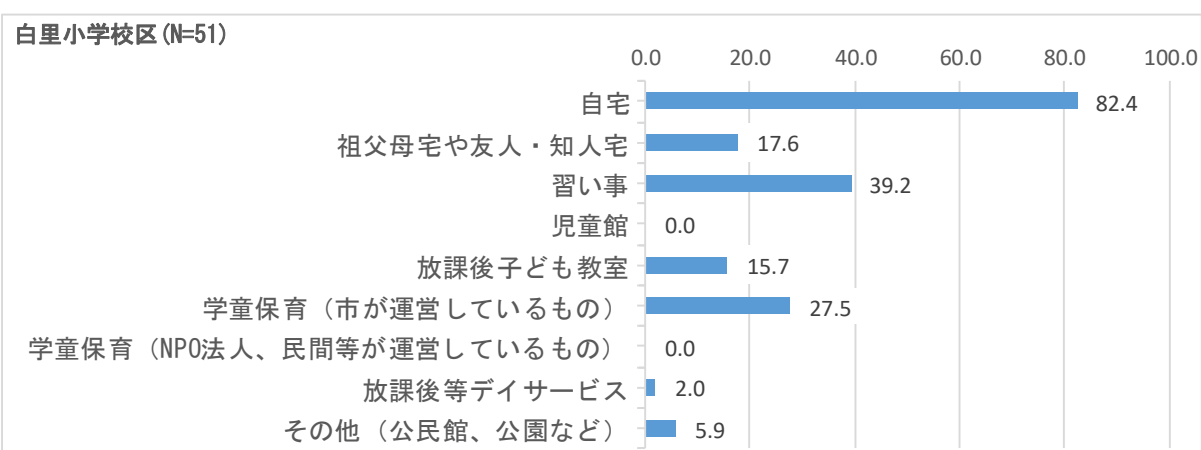
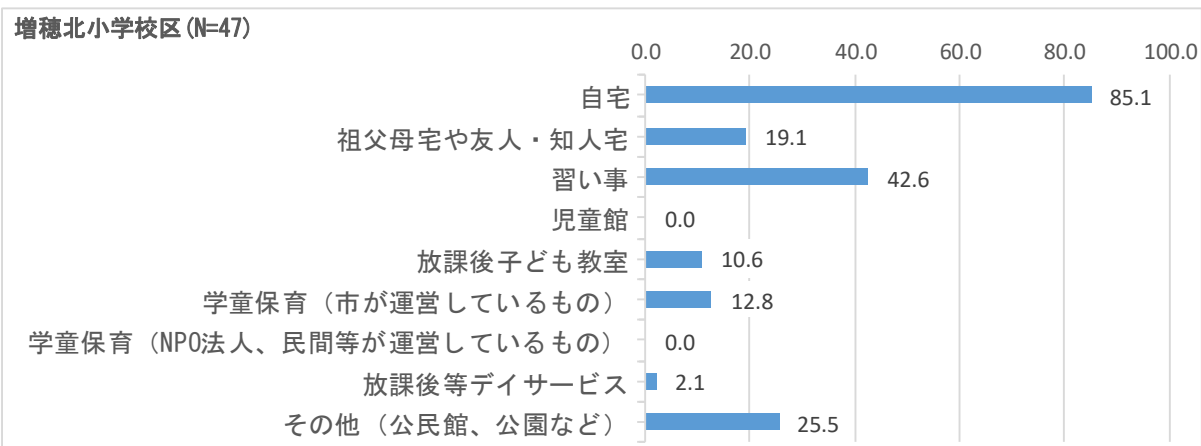


瑞穂小学校区 (N=110)

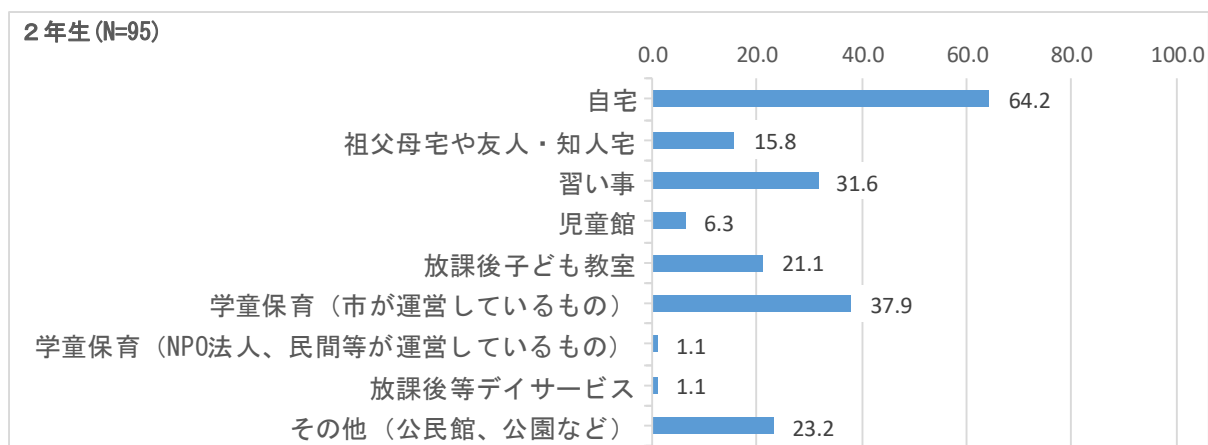
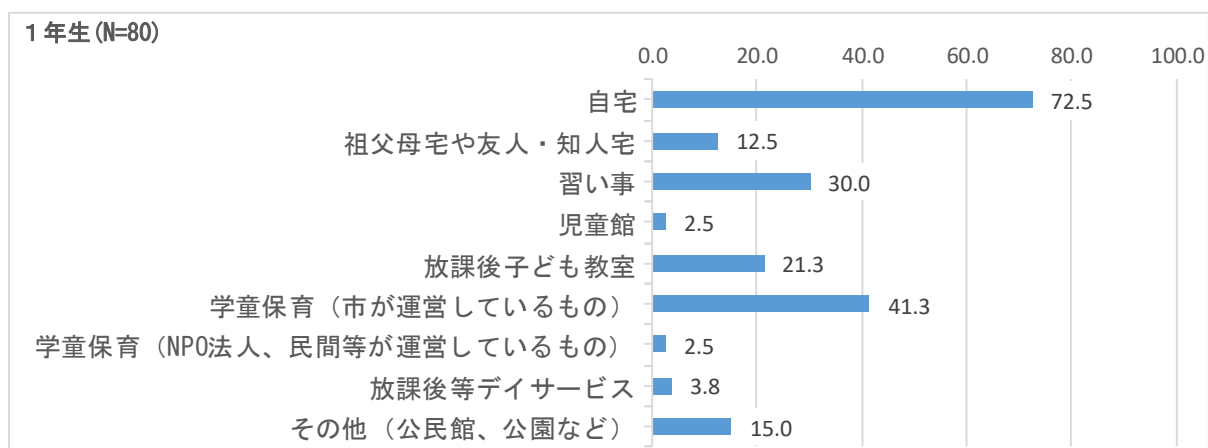


増穂小学校区 (N=57)

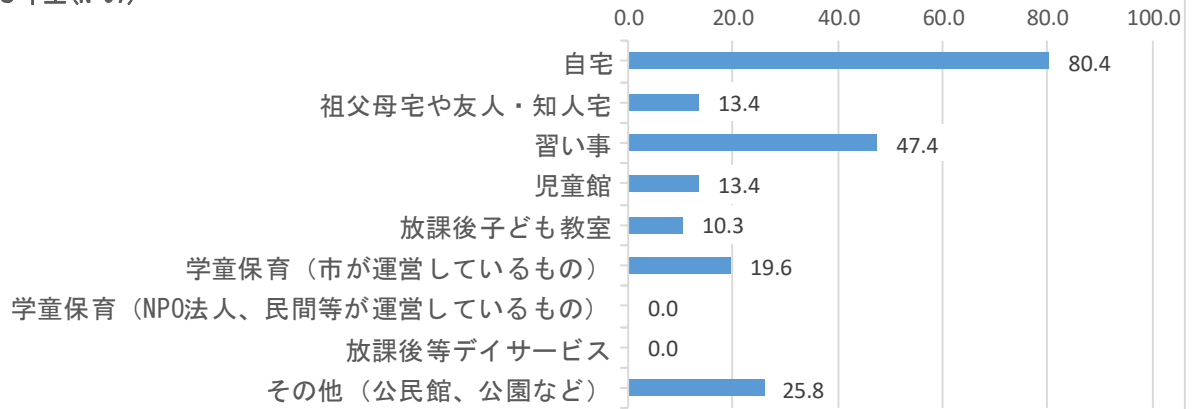




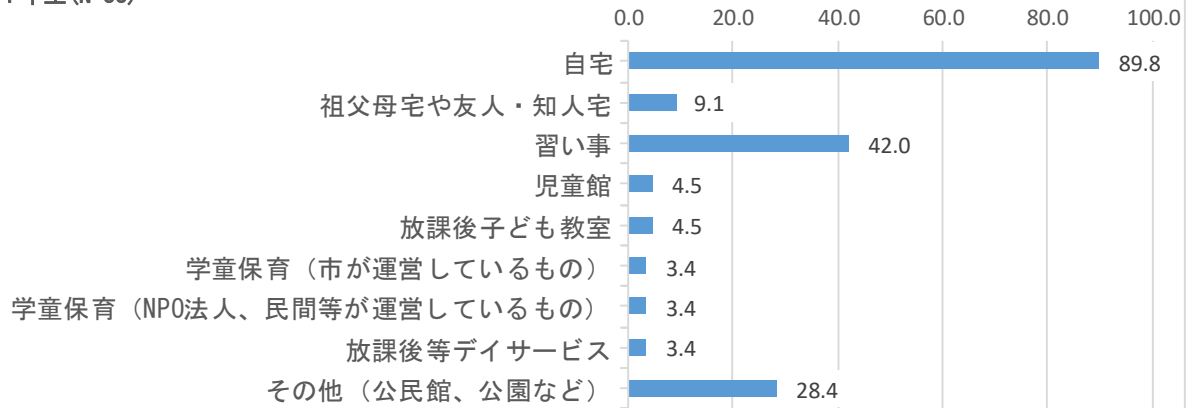
■ 学年別



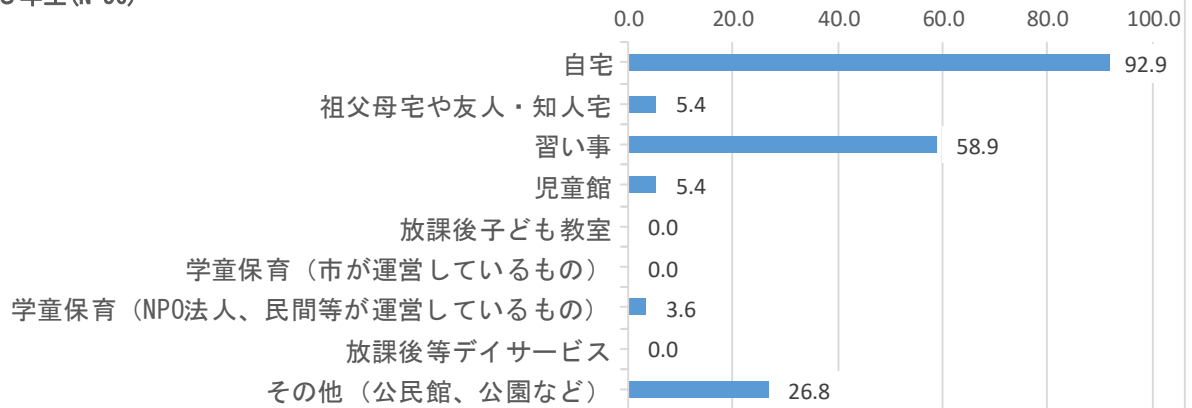
3年生(N=97)



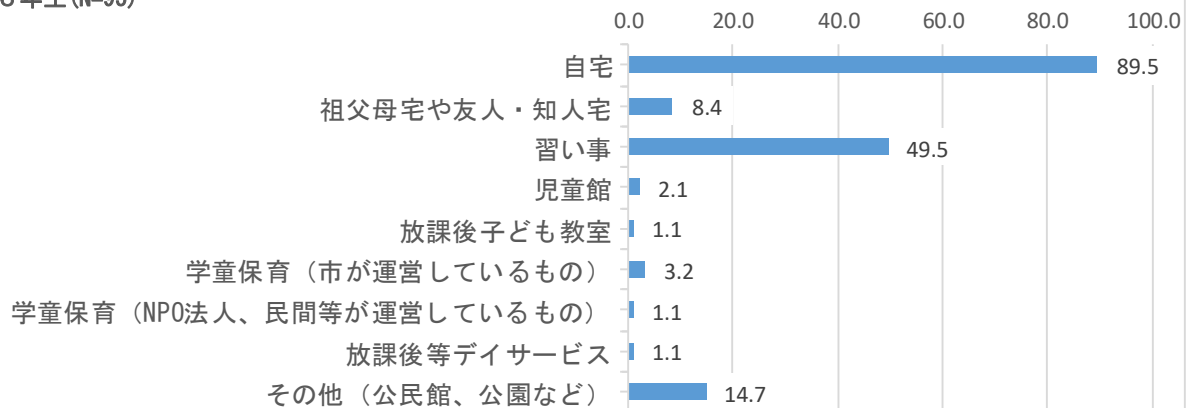
4年生(N=88)



5年生(N=56)

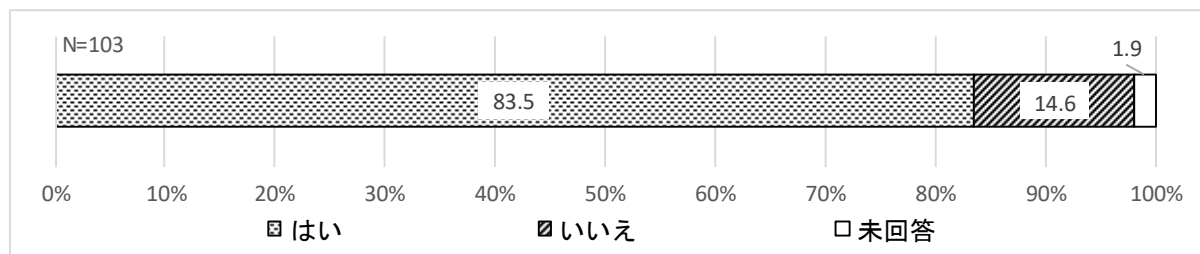


6年生(N=95)



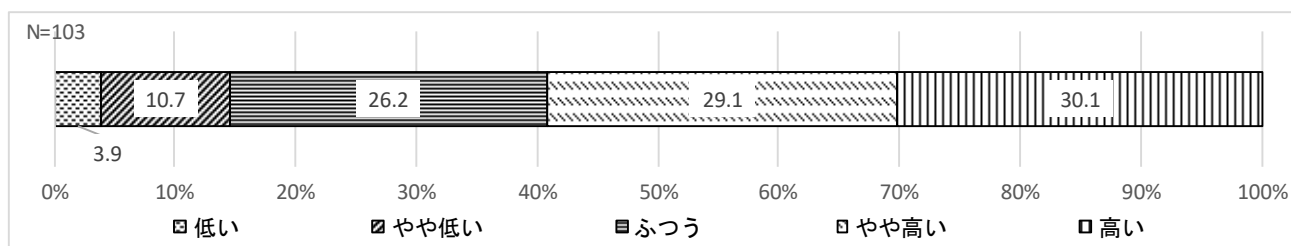
問 15-1 問 15 で「学童保育（市が運営しているもの）」または「学童保育（NPO 法人、民間等が運営しているもの）」に○をつけた方にうかがいます。お子さんは学童保育に嫌がらずに通っていますか。

学童保育に嫌がらずに通っているかについては、「はい」が 83.5%、「いいえ」が 14.6%となっている。

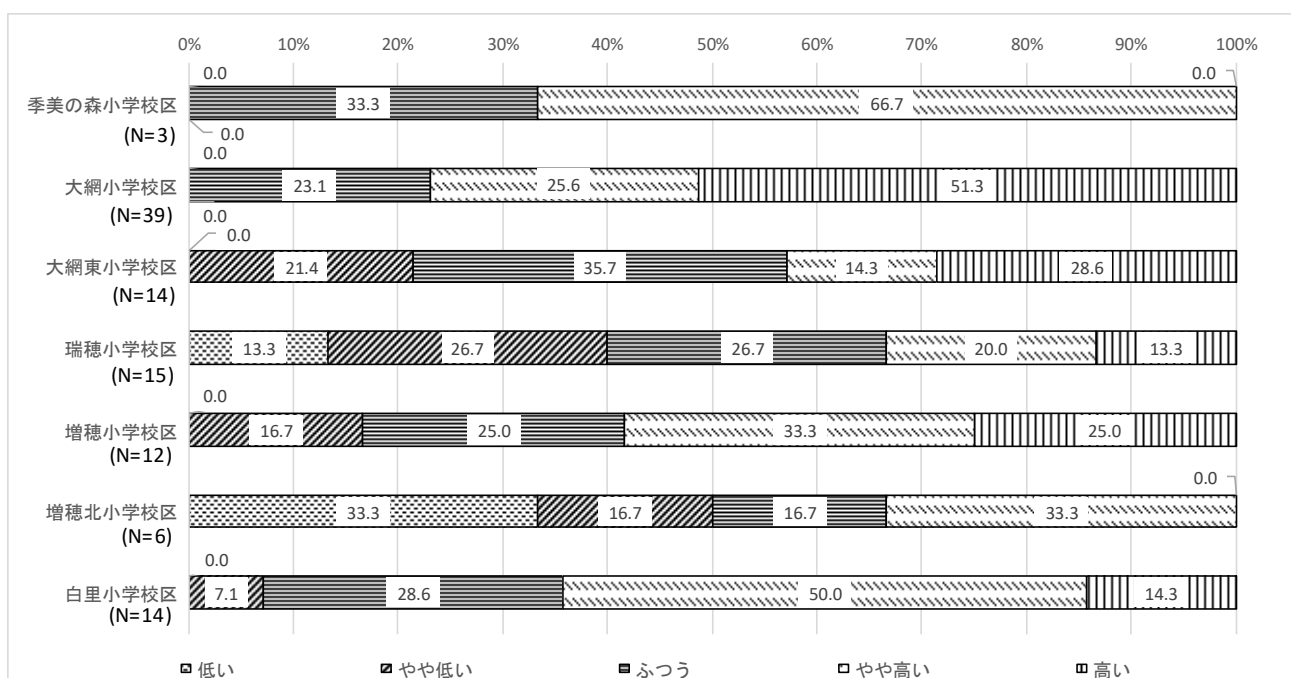


問 15-2 学童保育の満足度について、当てはまる番号ひとつに○をつけてください。

- ・ 大網白里市における子育ての環境や支援への満足度については、「高い」(30.1%)が最も多くなっており、『満足度が低い』(「満足度が低い」と「やや満足度が低い」の合計)は 14.6%、『満足度が高い』(「満足度が高い」と「やや満足度が高い」の合計)は 59.2%となっている。
- ・ 居住地域別にみると、「増穂北小学校区」で『満足度が低い』(50.0%)が最も多くなっており、「大網小学校区」で『満足度が高い』(合計 76.9%)が最も多くなっている。

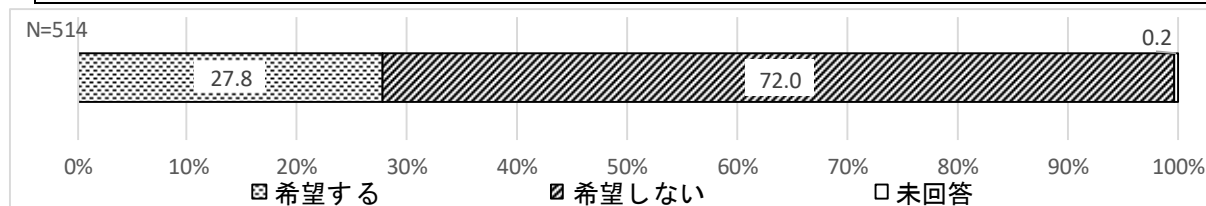


■居住地域別



問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、学童保育の利用を希望しますか。

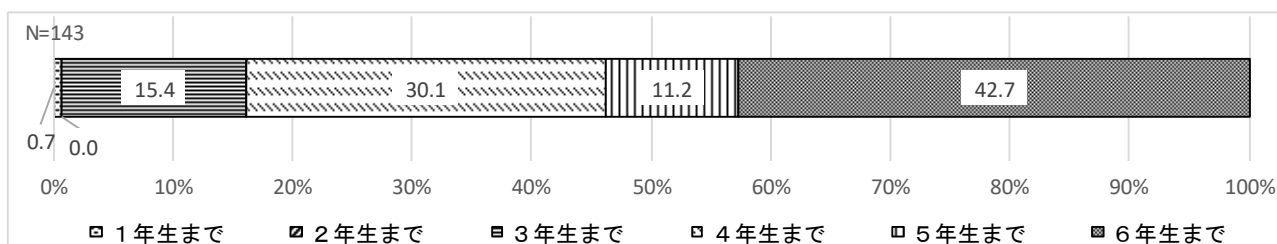
学童保育の利用を希望するかについては、「希望する」が 27.8%、「希望しない」が 72.0% となっている。



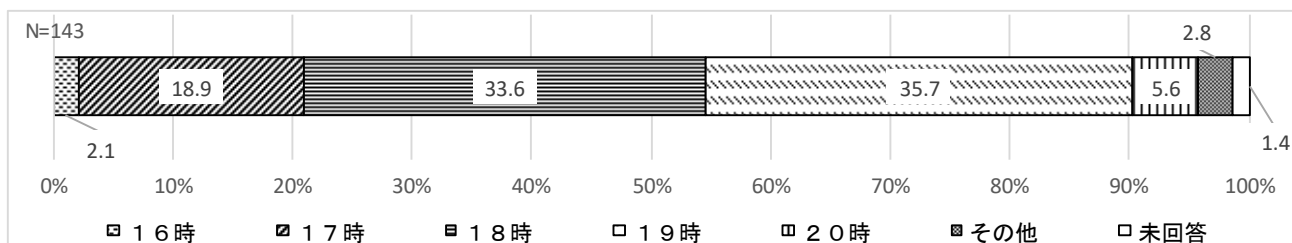
問 16-1 問 16 で「希望する」に○をつけた方にうかがいます。小学校何年生まで学童保育の利用を希望しますか。また、利用を希望する時間も口 内に数字でご記入ください。

- ・ 学童保育について、小学校何年生まで利用を希望するかについては、「6 年生まで」(42.7%) が最も多く、次いで「4 年生まで」、「3 年生まで」の順に多くなっている。
- ・ 学童保育の希望利用終了時間については、「19 時」(35.7%) が最も多く、次いで、「18 時」「17 時」の順に多くなっている。

■利用を希望する学年



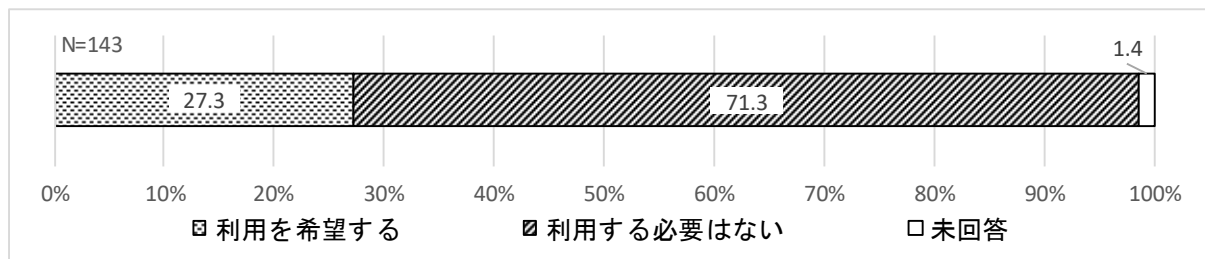
■希望利用終了時間



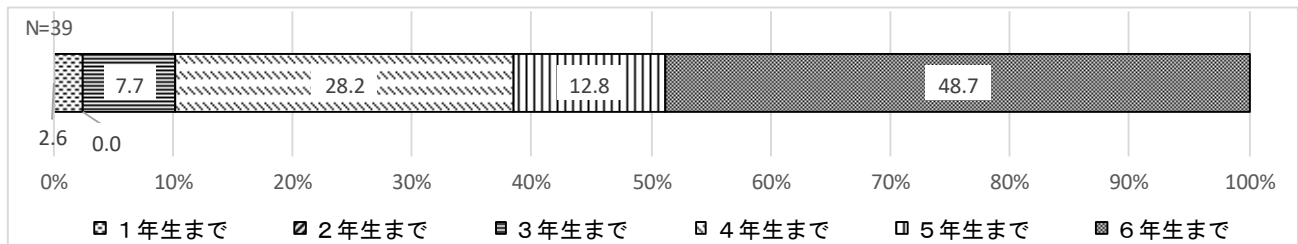
問 16-2 宛名のお子さんについて、土曜日の学童保育の利用希望はありますか。

- ・ 土曜日の学童保育の利用希望については、「利用を希望する」が 27.3%、「利用する必要はない」が 71.3%となっている。
- ・ 何年生まで利用を希望するかについては、「6 年生まで」(48.7%) が最も多く、次いで「4 年生まで」、「5 年生まで」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用開始時間は、「8 時」(48.7%) が最も多く、次いで「7 時」、「9 時」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用終了時間は、「19 時」(43.6%) が最も多く、次いで「18 時」、「17 時」の順に多くなっている。
- ・ 土曜日の開設場所が統合された場合の利用希望場所については、「普段通っている学童保育の場所以外に統合されても利用したい」が 56.4%、「普段通っている学童保育の場所以外に統合されるなら利用しない」が 38.5%となっている。

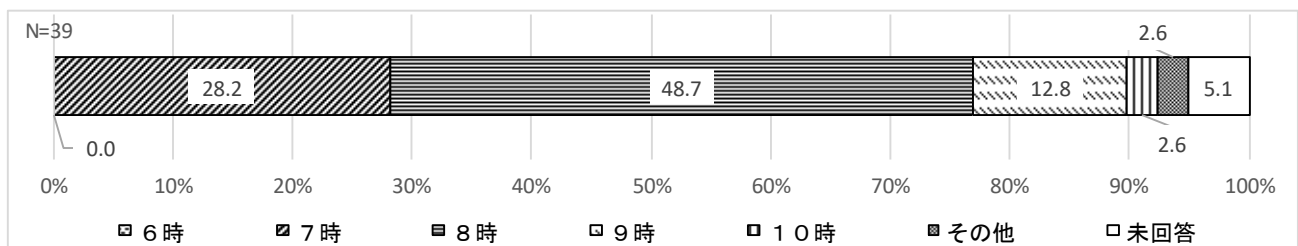
■土曜日の利用希望



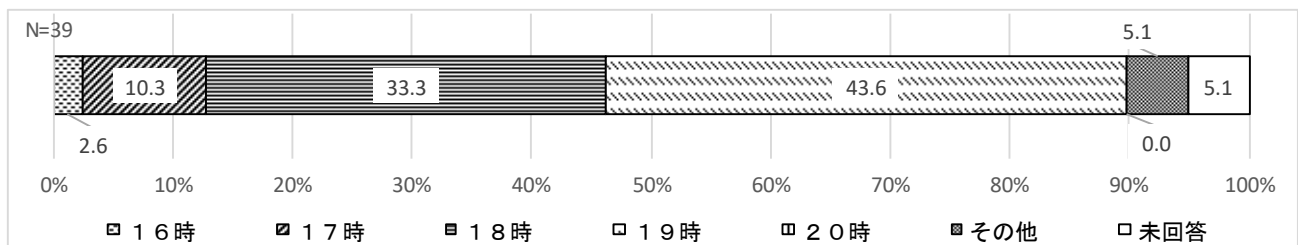
■利用を希望する学年



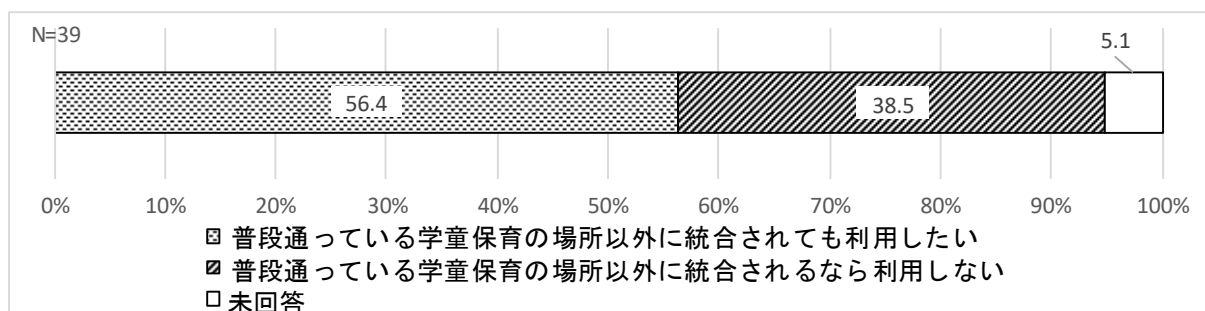
■希望利用開始時間



■希望利用終了時間



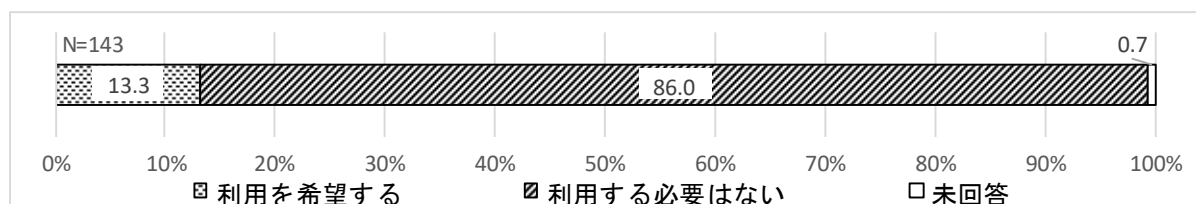
■土曜日の開設場所が統合された場合の利用希望場所



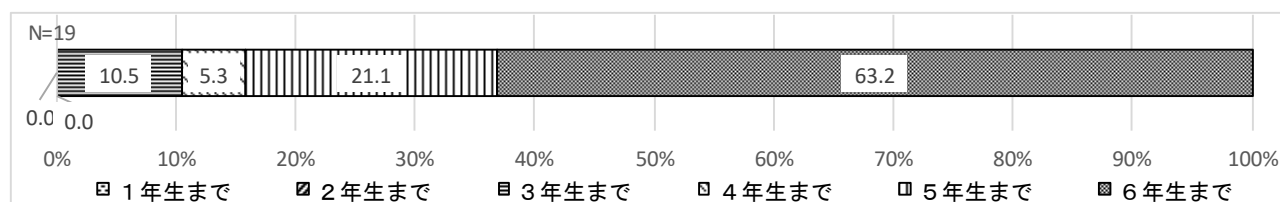
問 16-3 宛名のお子さんについて、日曜日・祝日の学童保育の利用希望はありますか。

- ・ 日曜日・祝日の学童保育の利用希望については、「利用を希望する」が13.3%、「利用する必要はない」が86.0%となっている。
- ・ 何年生まで利用を希望するかについては、「6年生まで」(63.2%)が最も多く、次いで「5年生まで」、「3年生まで」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用開始時間は、「8時」(52.6%)が最も多く、次いで「7時」、「9時」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用終了時間は、「18時」(42.1%)が最も多く、次いで「19時」(31.6%)が多くなっている。
- ・ 日曜日・祝日の開設場所が統合された場合の利用希望場所については、「普段通っている学童保育の場所以外に統合されても利用したい」が36.8%、「普段通っている学童保育の場所以外に統合されるなら利用しない」が52.6%となっている。

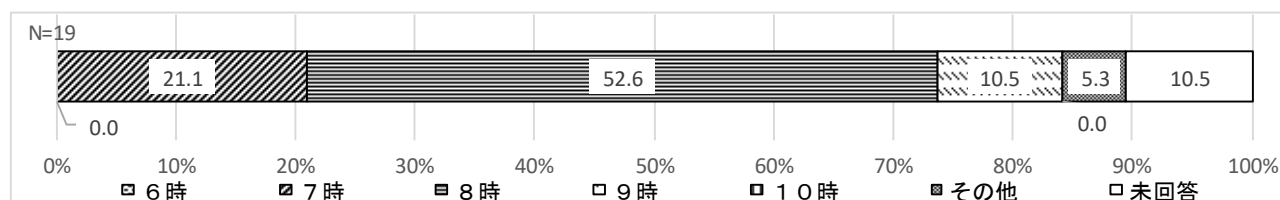
■日曜日・祝日の利用希望



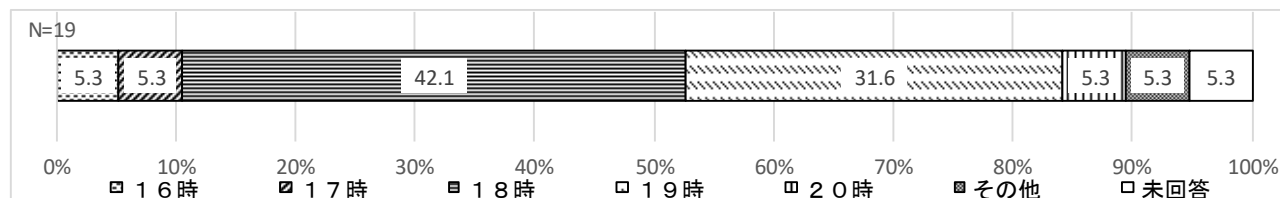
■利用を希望する学年



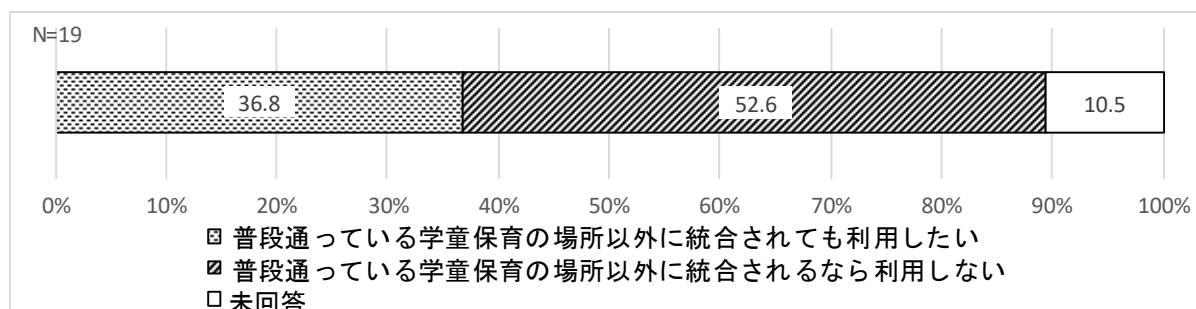
■希望利用開始時間



■希望利用終了時間



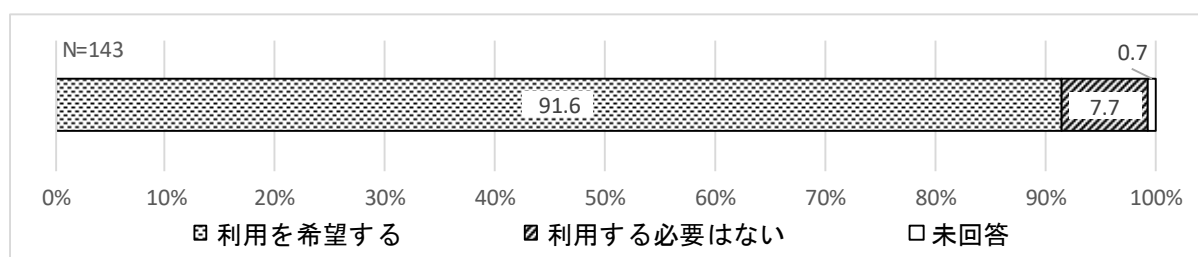
■日曜日・祝日の開設場所が統合された場合の利用希望場所



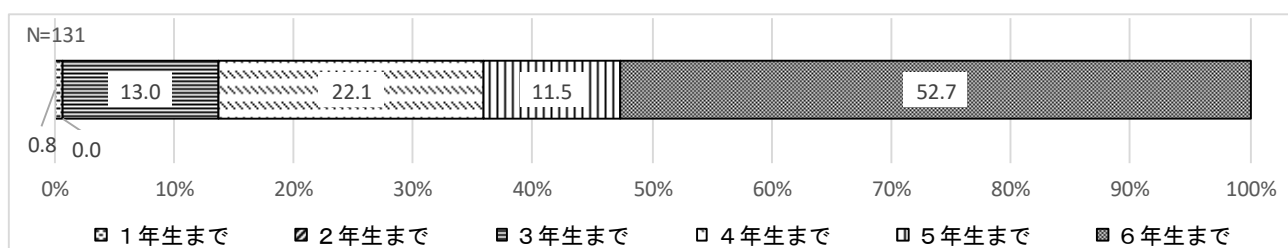
問 16-4 宛名のお子さんが夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に学童保育の利用希望はありますか。

- ・ 長期休暇期間中の学童保育の利用希望については、「利用を希望する」が 91.6%、「利用する必要はない」が 7.7%となっている。
- ・ 何年生まで利用を希望するかについては、「6年生まで」(52.7%) が最も多く、次いで「4年生まで」、「3年生まで」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用開始時間は、「8時」(62.6%) が最も多く、次いで「7時」、「9時」の順に多くなっている。
- ・ 希望利用終了時間は、「19時」(33.6%) が最も多く、次いで「18時」、「17時」の順に多くなっている。

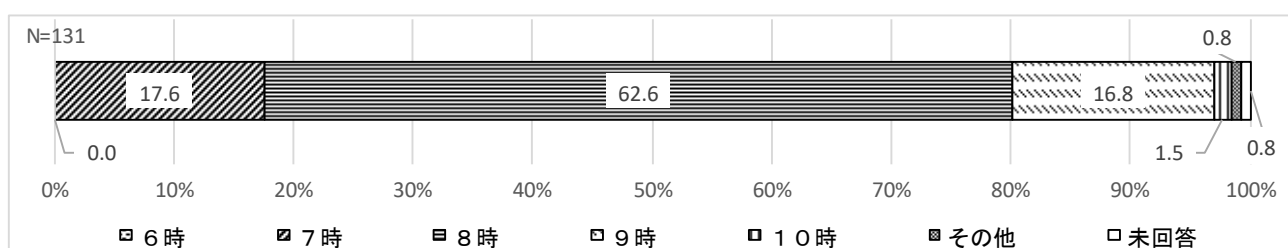
■長期休暇期間中の利用希望



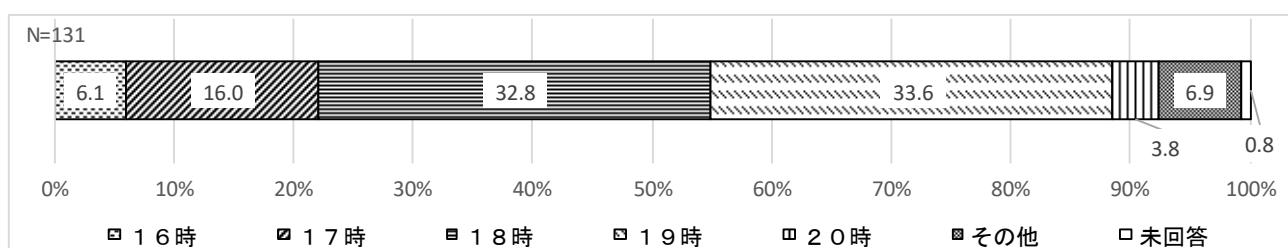
■利用を希望する学年



■希望利用開始時間

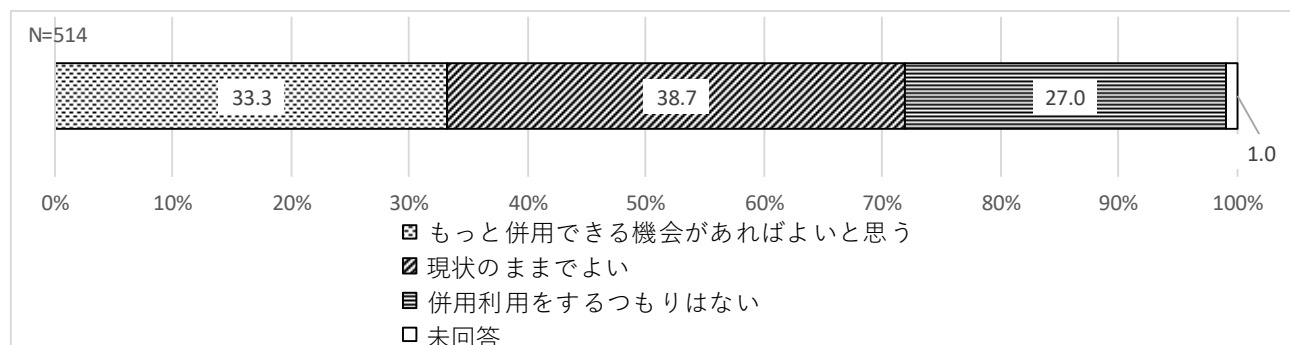


■希望利用終了時間



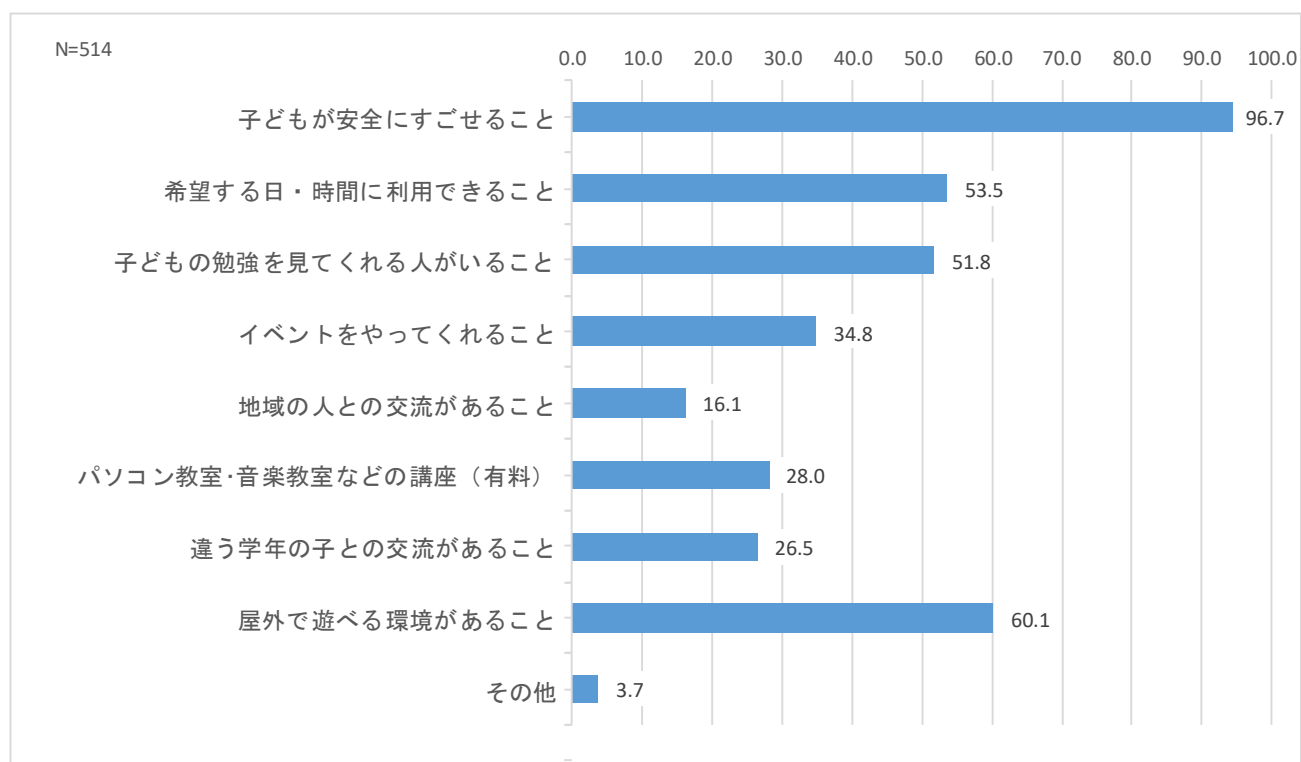
問 17 放課後子ども教室と学童保育の併用利用についてどう思いますか。

放課後子ども教室と学童保育の併用利用については、「現状のままでよい」(38.7%)が最も多く、次いで「もっと併用できる機会があればよいと思う」、「併用利用をするつもりはない」の順に多くなっている。



問 18 宛名のお子さんが放課後や夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に過ごす場所に望むことは何ですか。

子どもが放課後や夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に過ごす場所に望むことは、「子どもが安全にすごせること」(96.7%)が最も多く、次いで「屋外で遊べる環境があること」、「希望する日・時間に利用できること」の順に多くなっている。

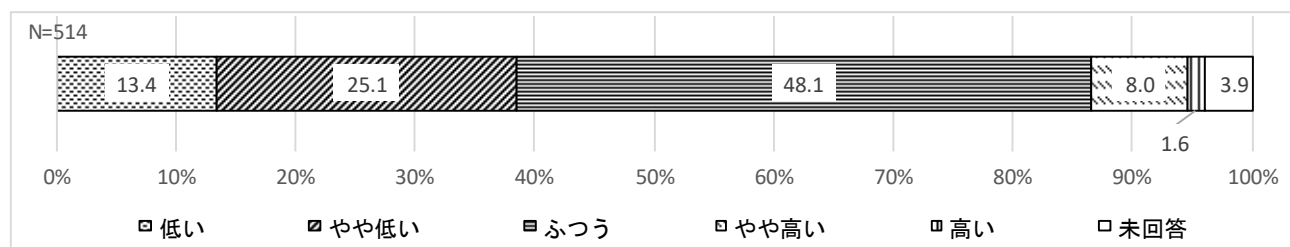


(7) 大網白里市の子育て環境や支援について

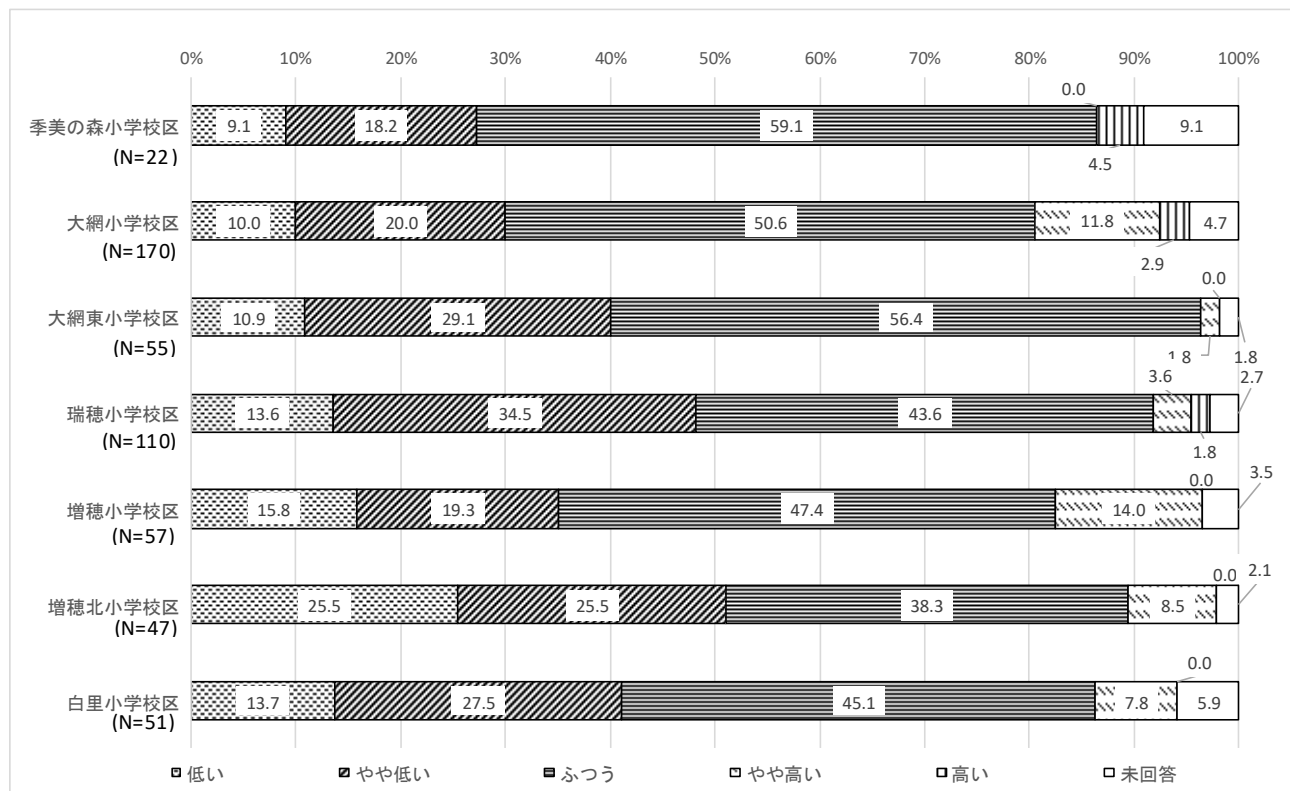
問 19 大網白里市における子育て環境や支援の満足度について、当てはまる番号ひとつに○をつけてください。

- ・ 本市における子育ての環境や支援への満足度については、全体では「ふつう」が48.1%で最も多く、『満足度が低い』（「満足度が低い」と「やや満足度が低い」の合計）は38.5%、『満足度が高い』（「満足度が高い」と「やや満足度が高い」の合計）は9.6%となっている。
- ・ 居住地域別にみると、「増穂北小学校区」で『満足度が低い』（51.0%）が最も多くなっており、「大網小学校区」で『満足度が高い』（14.7%）が最も多くなっている。

■全体



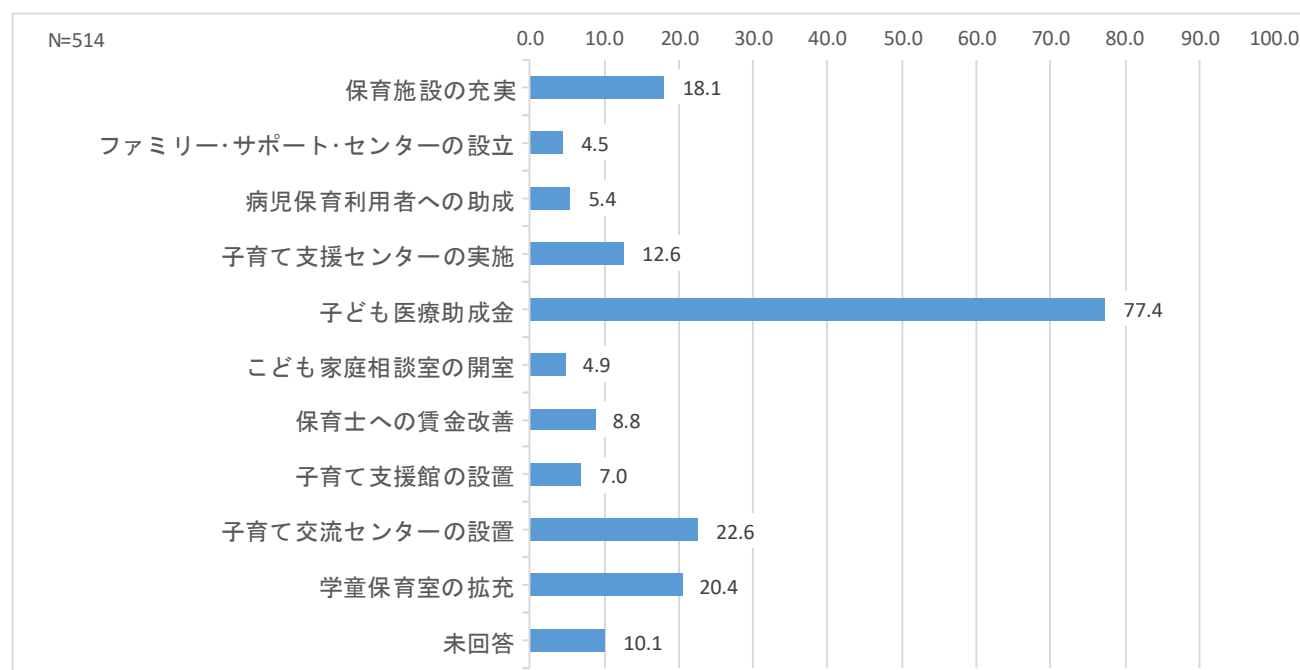
■居住地域別



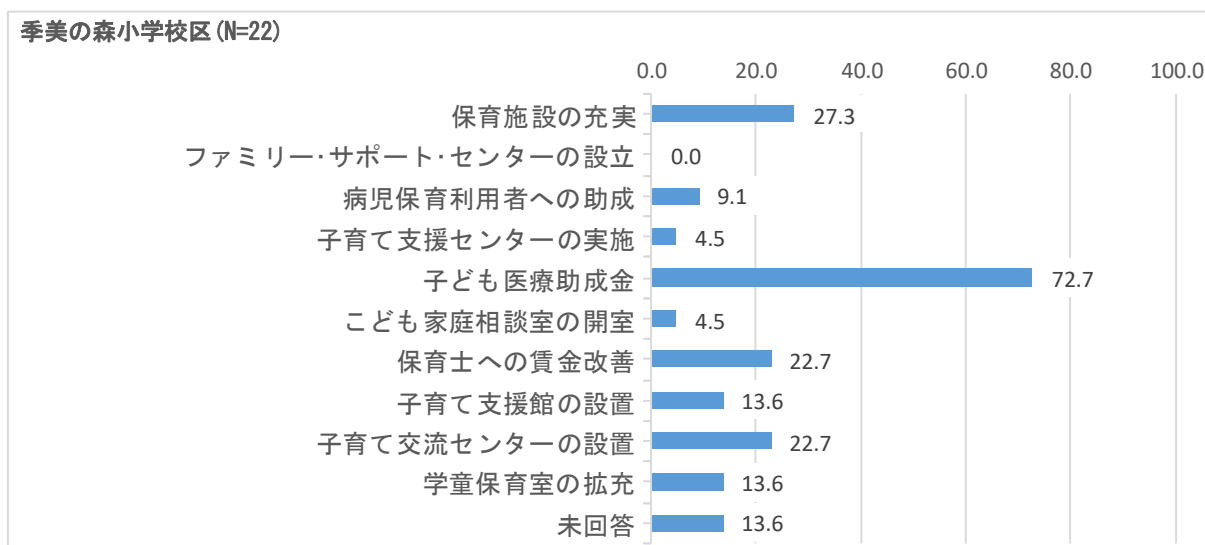
問 19-1 市が行っている子育て支援施策で、評価するものをお答えください。

- ・ 市の子育て支援施策で評価されているものについては、全体では「子ども医療助成金」(77.4%) が最も多く、次いで「子育て交流センターの設置」(22.6%)、「学童保育室の拡充」(20.4%) の順に多くなっている。
- ・ 居住地域別にみると、すべての地域で「こども医療助成金」が最も多くなっている。また、「子ども医療助成金」以外では、季美の森小学校区、瑞穂小学校区、増穂北小学校区、白里小学校区では「保育施設の充実」、大網小学校区では「子育て交流センターの設置」、大網東小学校区、増穂小学校区、白里小学校区では「学童保育室の充実」が次いで多くなっている。

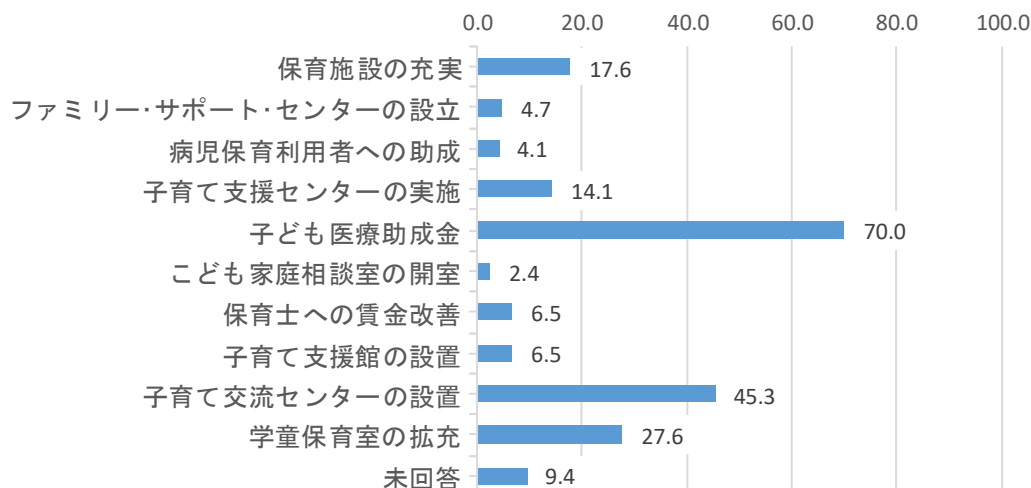
■全体



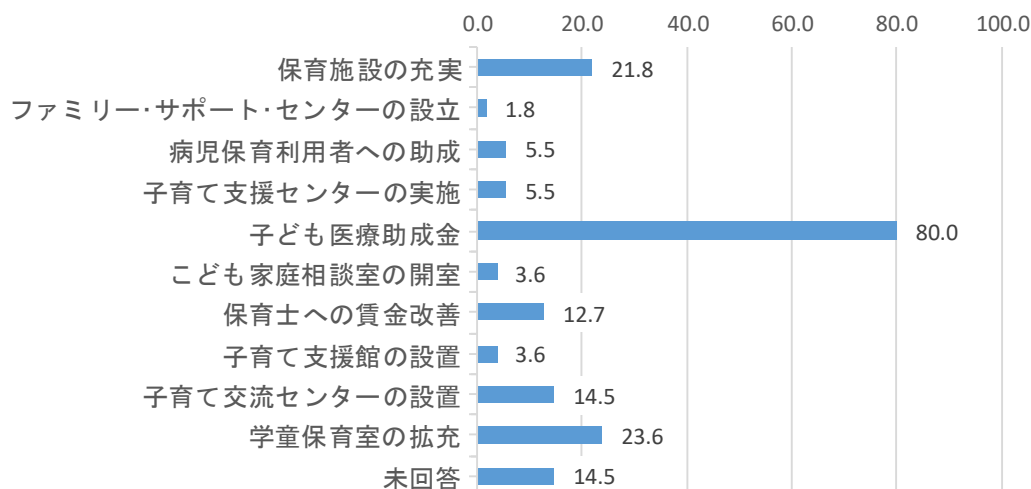
■居住地域別



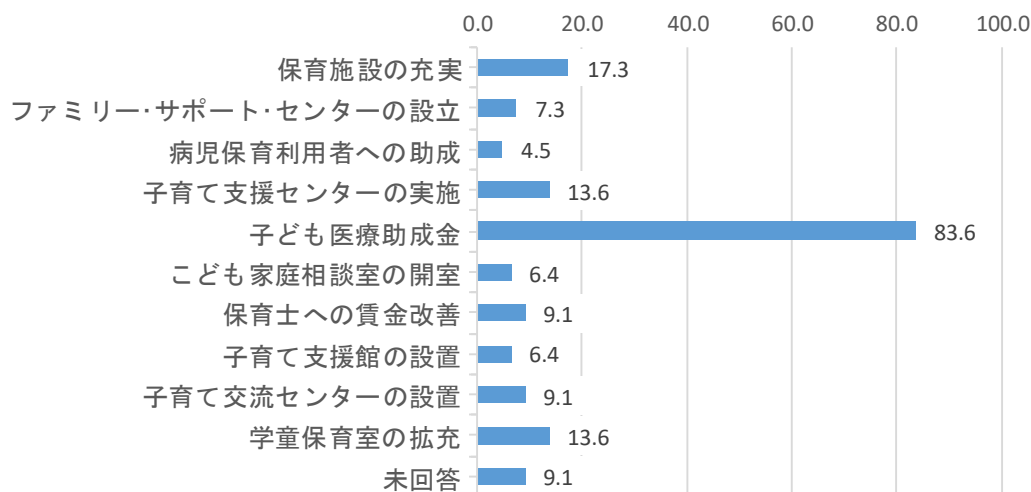
大網小学校区 (N=170)



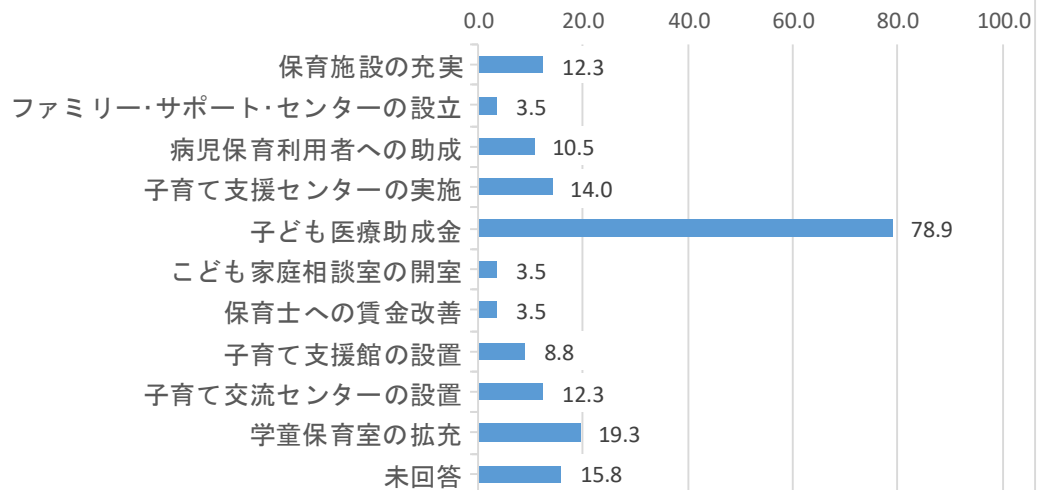
大網東小学校区 (N=55)



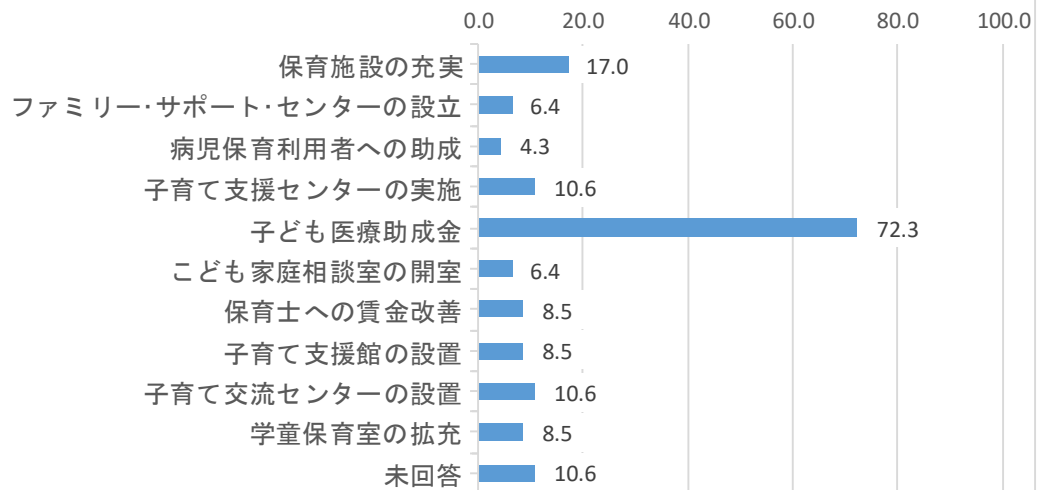
瑞穂小学校区 (N=110)



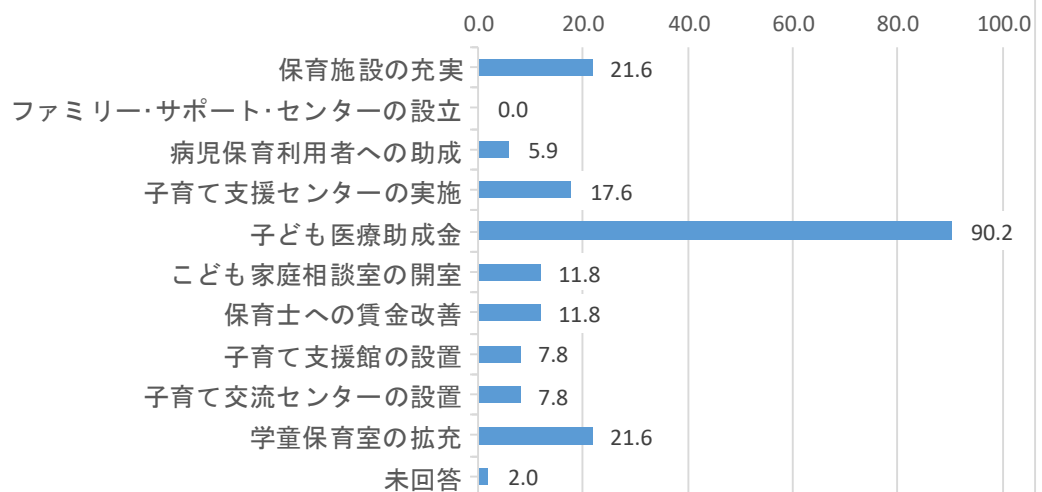
増穂小学校区 (N=57)



増穂北小学校区 (N=47)



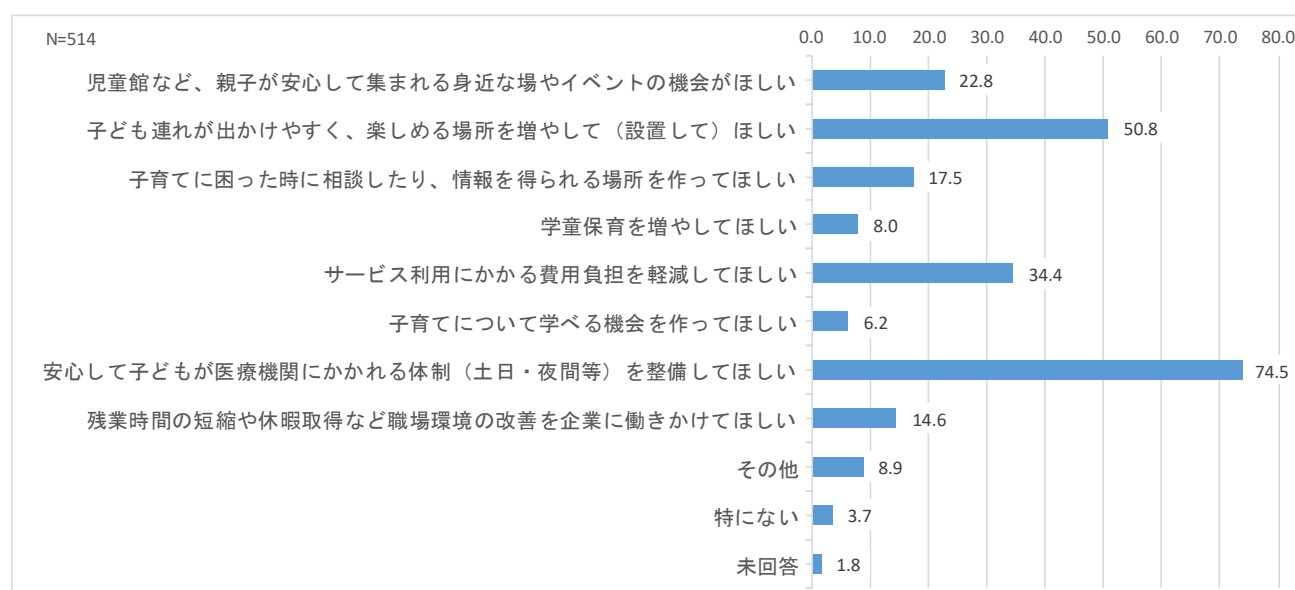
白里小学校区 (N=51)



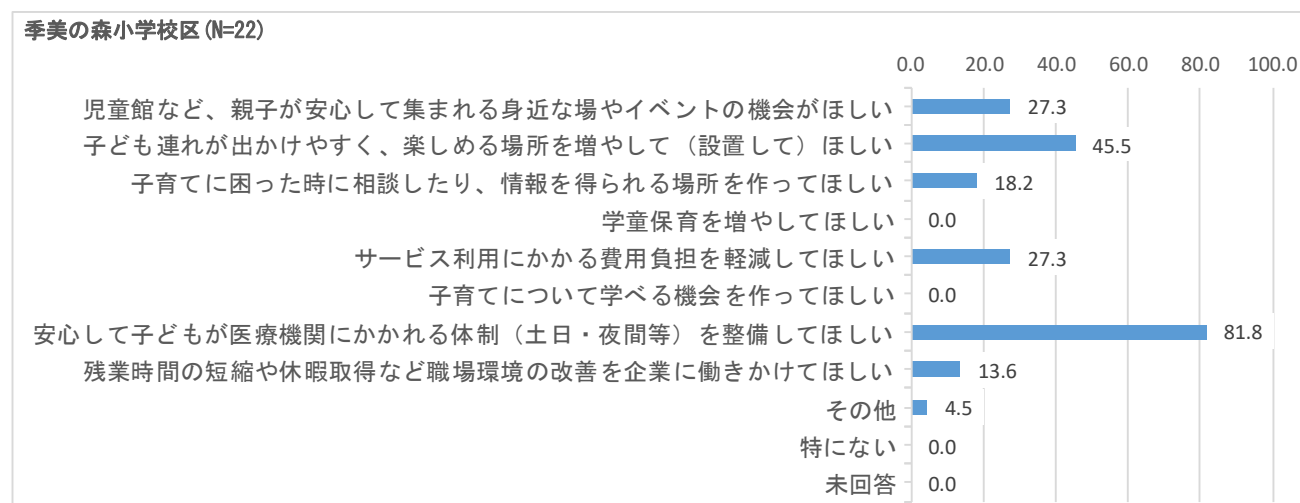
問 19-2 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。

- ・ 市に期待する子育て支援については、全体では「安心して子どもが医療機関にかかる体制(土日・夜間等)を整備してほしい」(74.5%)が最も多く、次いで「子ども連れが出かけやすく、楽しめる場所を増やして(設置して)ほしい」(50.8%)、「サービス利用にかかる費用負担を軽減してほしい」(34.4%)の順に多くなっている。
- ・ 居住地域別にみると、すべての地域で「安心して子どもが医療機関にかかる体制(土日・夜間等)を整備してほしい」が最も多く、次いで「子ども連れが出かけやすく、楽しめる場所を増やして(設置して)ほしい」が多くなっている。

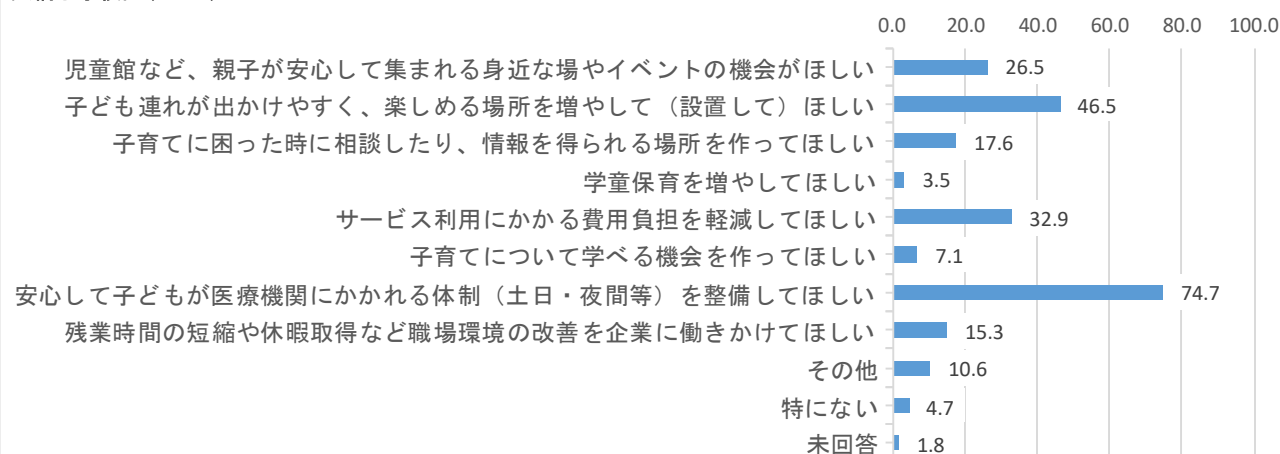
■全体



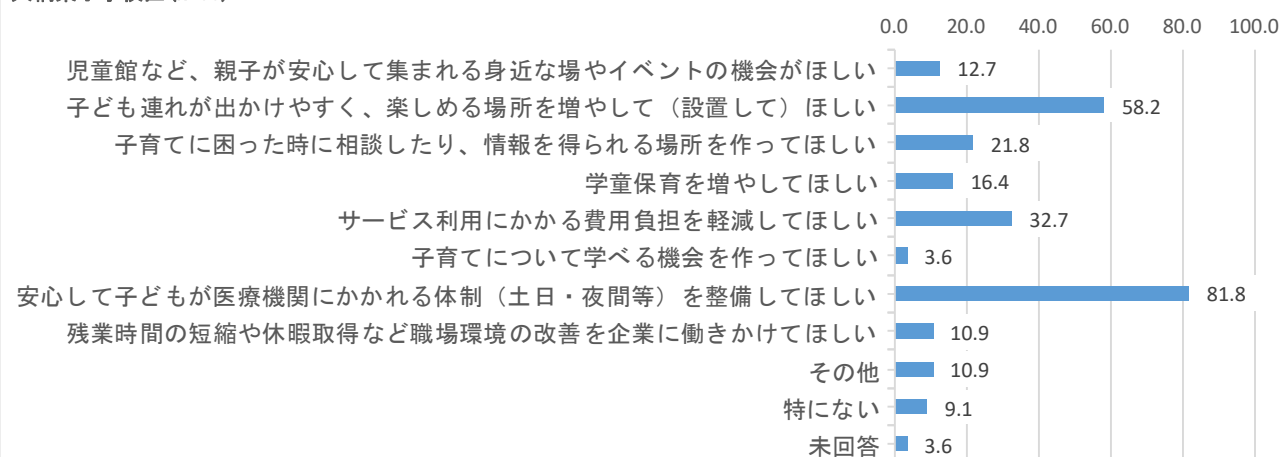
■居住地域別



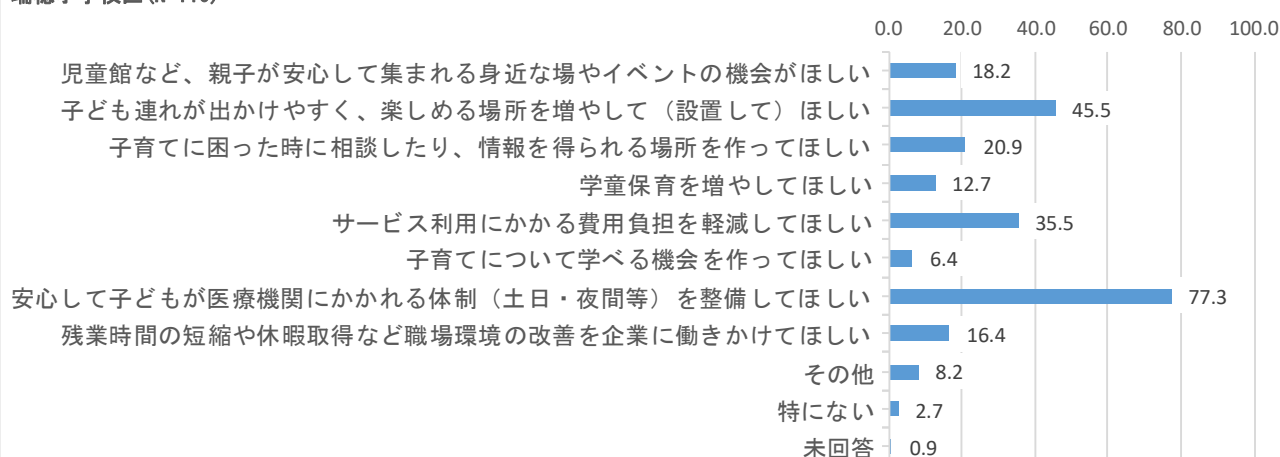
大網小学校区 (N=170)



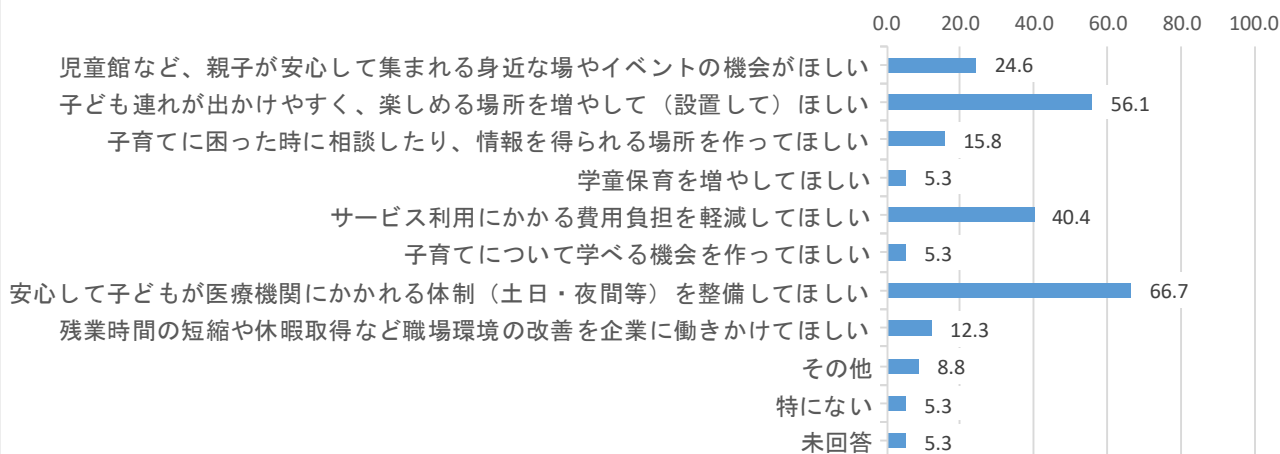
大網東小学校区 (N=55)



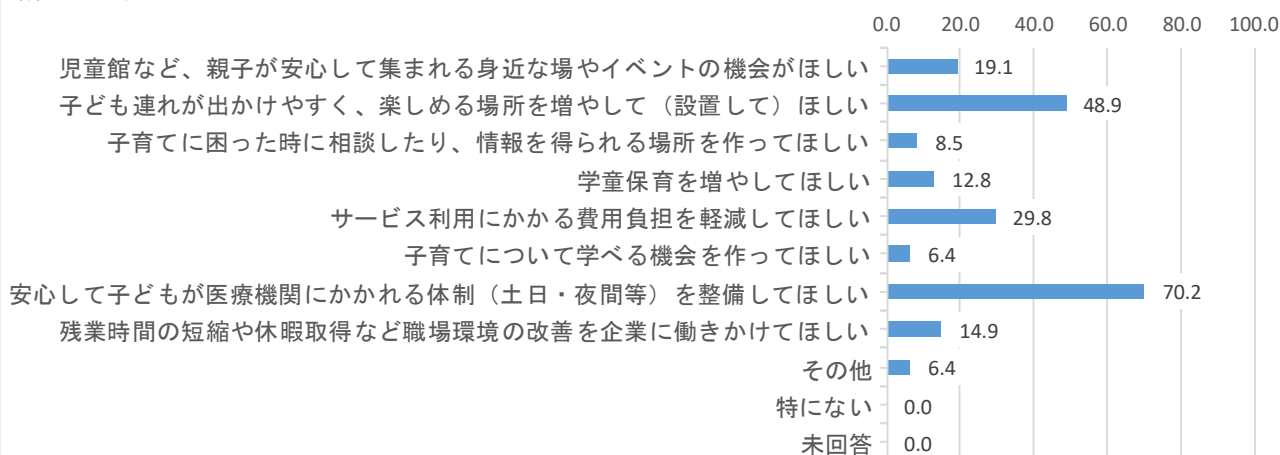
瑞穂小学校区 (N=110)



増穂小学校区 (N=57)



増穂北小学校区 (N=47)



白里小学校区 (N=51)

